

資料①

# 事 業 報 告 書

<令和4年度>

(自)令和4年 4月 1日 ~ (至)令和5年 3月 31日

社会福祉法人 正 和 会



## 目 次

I. 法人運営の総括	.....	1
II. 重点的に推進した事業等報告	.....	1
1. 理事会・評議員会の運営	.....	2
2. 安定的かつ継続的な財源確保の報告	.....	3
3. 経営計画推進本部の運営報告	.....	4
4. 職員就労意欲の向上と福利厚生の拡充の報告	.....	5
5. 人事財務本部の事業報告	.....	8
6. フードプロデュース本部の事業報告	.....	10
7. 機能訓練本部の事業報告	.....	17
III. やわらぎの里四施設の運営総括		
やわらぎの里清和台		
1. 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)	.....	1
2. 短期入所生活介護施設運営事業(ショートステイ)	.....	12
3. 通所介護施設運営事業(デイサービス)	.....	13
4. 医務室 医務状況	.....	18
5. 各委員会の活動報告	.....	20
やわらぎの里東谷		
1. 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)	.....	1
2. 短期入所生活介護施設運営事業(ショートステイ)	.....	10
3. 通所介護施設運営事業(デイサービス)	.....	13
4. 医務室 医務状況	.....	17
5. 各委員会の活動報告	.....	20
やわらぎの里ぶらす館		
1. 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)	.....	1
2. 短期入所生活介護施設運営事業(ショートステイ)	.....	7
3. 通所介護施設運営事業(デイサービス)	.....	9
4. 医務室 医務状況	.....	12
5. 各委員会の活動報告	.....	15
やわらぎの里西多田		
1. 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)	.....	1
2. 短期入所生活介護施設運営事業(ショートステイ)	.....	11
3. 通所介護施設運営事業(デイサービス)	.....	14
4. 医務室 医務状況	.....	18
5. 各委員会の活動報告	.....	21



# 令和4年度事業報告

## I. 法人運営の総括

平成15年に設立した『社会福祉法人 正和会』は設立から19年を経過し、本年度も地域福祉の向上に懸命に取り組んで参りました。

様々な課題に直面しながらも悉く推移できておりますのは、地域のご代表たる役員皆様の熱心なご参画、また、ご利用者様のみならず地域の皆様のご意見やご助言、そして、職員一人ひとりの不断の努力の賜物であるにつきまして、心より御礼申し上げます。

以下、令和4年度の法人全体としての事業運営の結果をご報告申し上げます。

## II. 重点的に推進した事業等の報告

### 1. 理事会・評議員会の運営

法人運営に関わる重要事項を審議、決定される理事会・評議員会の役割は極めて重要であり、日常の業務処理をはじめ一部の事項に関しては、理事長に専決を委ねていますが、理事会・評議員会が法人運営に関する責任と諮問機関として、多くの事項を審議決定して戴いております。

令和4年度におきましても、社会福祉法人としての責務である『公益性・透明性・永続性』を更に高め続けるために、理事・評議員各位の貴重なご意見やご助言を賜りました。

次項は、令和4年度における理事会、評議員会におけるご審議の実績でございます。

### ○令和4年度理事会・評議員会開催実績

☆第1回 令和4年6月4日開催の理事会において

議案第 1号	令和3年度事業報告書について	可決
議案第 2号	令和3年度決算報告書について	可決
議案第 3号	育児・介護休業等に関する規定の改定について	可決
議案第 4号	第1回評議員会の書面意思表示について	可決

☆第1回 令和4年6月19日開催の評議員会において

議案第 1号	令和3年度事業報告書について	可決
議案第 2号	令和3年度決算報告書について	可決
議案第 3号	育児・介護休業等に関する規定の改定について	可決

☆臨時 令和5年2月13日開催の理事会において

議案第 5号	社会福祉法人正和会 新事業について	可決
議案第 6号	社会福祉法人正和会 定款変更について	可決
議案第 7号	臨時評議員会の書面意思表示について	可決

\*臨時 令和5年2月27日開催の評議員会において

議案第 4号	社会福祉法人正和会 新事業について	可決
議案第 5号	社会福祉法人正和会 定款変更について	可決

\*第2回 令和5年3月4日開催の理事会において

議案第 8号	令和5年度事業計画書について	可決
議案第 9号	令和4年度補正予算書について	可決
議案第 10号	令和5年度当初予算書について	可決
議案第 11号	運転資金調達について	可決
議案第 12号	第2回評議員会の書面意思表示について	可決
報告 1号	固定資産購入について	報告

\*第2回 令和5年3月18日開催の評議員会において

議案第 6号	令和5年度事業計画書について	可決
議案第 7号	令和4年度補正予算書について	可決
議案第 8号	令和5年度当初予算書について	可決
議案第 9号	運転資金調達について	可決
報告 1号	固定資産購入について	報告

以上の計6回を開催させていただき、議案12件のご審議を賜り、いずれも可決承認致しましたことを改めて御礼申し上げます。

\*4年度の理事会及び評議員会に関しては、新型コロナウイルス感染対策の一環としてすべて書面意思表示にての議決とさせて頂きました。

## 2. 安定的かつ継続的な財源確保の報告

### (1) 稼 動 率 報 告

※ 令和2年～令和4年度の平均稼働率実績

〈清和台〉

2年度	特養：99.03 %	ショートステイ：82.05%	デイサービス：81.53 %
3年度	特養：98.81 %	ショートステイ：89.28%	デイサービス：79.55 %
4年度	特養：94.40 %	ショートステイ：93.17%	デイサービス：69.78 %

東 谷

2年度	特養：88.70 %	ショートステイ：59.62%	デイサービス：71.96 %
3年度	特養：98.61 %	ショートステイ：84.11%	デイサービス：77.68 %
4年度	特養：98.62 %	ショートステイ：84.75%	デイサービス：79.27 %

<ふらす館>

2年度 特養：97.32% ショートステイ：79.41% デイサービス：76.51%  
3年度 特養：98.26% ショートステイ：87.70% デイサービス：73.73%  
4年度 特養：94.55% ショートステイ：95.04% デイサービス：73.01%

〈西多田〉

2年度 特養：96.77 % ショートステイ：72.63% デイサービス：72.10 %  
3年度 特養：98.47 % ショートステイ：82.25% デイサービス：78.47 %  
4年度 特養：95.22 % ショートステイ：88.06% デイサービス：80.82 %

## (2) 新たな財源確保の報告

### ※ 新たな財源確保

上記稼働率の上昇への取り組みの他に、交付金や助成金の積極的な取得に取り組みます。

「介護職員待遇改善加算金」「介護職員等特定待遇改善加算金」

### 「ベースアップ等処遇改善加算金」

介護保険改正に伴い「介護職員処遇改善交付金」が廃止になった為、その代わりになるものです。

令和3年度取得実績 18,543万円 令和4年度取得見込 19,244万円

### 「その他の助成金」

当法人でも活用できる助成金は積極的に取り組みます。

・結核定期健康診断実施費補助制度	¥375,320
・雇用調整助成金	¥400,000
・EPA受入施設学習支援事業補助金	¥5,641,000
・新型コロナウイルス感染防止対策支援事業補助金	¥500,000
・介護事業者等サービス継続支援事業	¥14,368,000
・介護サービス事業所物価高騰対策支援金	¥16,045,000
・阪神馬主協会施設設備等助成金	¥2,490,000

助成金合計

Y39.819.320

### 3. 経営計画推進本部の運営報告

令和4年度の運営は、引き続き新型コロナウイルス禍との戦いの日々となりました。

「コロナ禍でもできること」、そして「コロナ禍だからこそできること」を合言葉に、ご年配の方々、障がいをお持ちの方々、お子様方、それぞれのご家族、地域の方々、ならびにスタッフが支え合い、誰ひとり欠けることなくすべての人の福祉を向上できるよう駆け上りがってまいりました。

コロナ禍の影響により、特養介護サービスをご利用頂けた総量は、昨年には遠く及ばない結果となり誠に遺憾でございますが、広報や訪問活動、質の向上により、4年度期末には著しい改善と、安定化を実現するに至っております。

一方、支出面においては、電気、ガスの高騰、コロナ対応のための定期換気による影響だけでも、昨年度比4館合計で約3,500万円/年の支出増となっております。

社会環境が厳しいなかでも、すべての人の福祉を更に向上できるよう、入りを図って出を制しながら、介護保険外サービスの構築や、社会貢献活動、新たな助成・補助金の獲得をおこない、令和5年度への飛躍につなげているところでございます。

また、IoE、AI技術への対応力を高めるため、Wi-Fi(無線LAN)非対応であった東谷、ふらす館の工事を完了させました。

あわせまして、眠りSCAN(ベッドに設置したセンサーにより体動や呼吸、心拍などを測定し、睡眠状態を把握するシステム)を導入し、ご入居者様の生活リズムの改善や健康状態の把握が可能となりました。これにより、ご入居者様の安全安心安楽の向上を図れるとともに、スタッフの心身負担軽減にも大きく寄与できました。

以上、ご入居者様・ご利用者様とご家族、地域や社会全体、そして私達スタッフ自身の福祉向上を目指し、

- ・3つの常在本部

常在本部①人事財務本部

常在本部②フードプロデュース本部

常在本部③機能訓練本部

(＊次頁以降の詳細報告をご参照ください。)

- ・3つの連携本部

入居連携本部、在宅連携本部、医療連携本部をもって4館の平準化

①ユニットケア、個別ケアの更なる推進

②稼働率安定に向けて、部署間の連携強化による施設力の強化

③様々な分野・人種の人財に対応した教育指導体制と業務マニュアル整備

④無駄のない経費支出や資金繰りなど、より健全な経営管理の確立

⑤「より安全で、よりおいしく」をテーマに食の提供

といった項目について特に、スタッフ全員の経験と知識を結集し、協議と実践を重ねてきた取り組みを、次頁以降で報告させていただきます。

#### 4. 職員就労意欲向上と福利厚生の拡充の報告

##### (1) 令和4年度の退職者数

清和台(本部含む)

	男子	女子	合計	平均在籍
令和2年度	5名	6名	11名	36.3ヶ月
令和3年度	5名	10名	15名	52.5ヶ月
令和4年度	5名	9名	14名	59.3ヶ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	2	引越し、妊娠	
3ヶ月～6ヶ月	0		
6ヶ月～1年	1	帰郷	
1年～2年	1	妊娠	
2年～3年	0		
3年以上	10	家庭の事情、年齢、同業種へ転職、他業種へ転職、自信喪失、結婚、気力喪失	
合計	14名	平均在籍期間	59.3ヶ月

東谷

	男子	女子	合計	平均在籍
令和2年度	6名	13名	19名	39.9ヶ月
令和3年度	4名	15名	19名	24.4ヶ月
令和4年度	6名	18名	24名	49.5ヶ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	3	業務を覚える事が出来ない、会社に対する拒否、職種不適合	
3ヶ月～6ヶ月	1	家庭の事情	
6ヶ月～1年	3	家庭の事情、自信喪失	
1年～2年	2	家庭の事情、体調不良	
2年～3年	3	家庭の事情、体調不良、帰国	
3年以上	12	体調不良、転職、職場環境、金銭面、帰国	
合計	24名	平均在籍期間	49.5ヶ月

## ふらす館

	男子	女子	合計	平均在籍
令和2年度	2名	13名	15名	51.6ヶ月
令和3年度	6名	22名	28名	48.1ヶ月
令和4年度	4名	14名	18名	37.8ヶ月

### 退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由
0ヶ月～3ヶ月	2	体調不良
3ヶ月～6ヶ月	2	帰郷、体調不良
6ヶ月～1年	3	身体的不調、転職
1年～2年	2	体調不良、本業が忙しい為
2年～3年	3	体調不良、帰郷
3年以上	6	家庭の事情、接遇面、体調不良、精神不良、本業が忙しい為、転職
合計	18名	平均在籍期間 37.8ヶ月

## 西多田

	男子	女子	合計	平均在籍
令和2年度	6名	21名	27名	28.3ヶ月
令和3年度	14名	21名	35名	33.8ヶ月
令和4年度	6名	18名	24名	37.6ヶ月

### 退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由
0ヶ月～3ヶ月	2	体力不足
3ヶ月～6ヶ月	3	持病悪化、環境に適さない事、体力的
6ヶ月～1年	3	転職、年齢、育児
1年～2年	4	家庭の事情、帰郷、本業が忙しい為
2年～3年	3	転職、金銭面、体調不良
3年以上	9	転職、持病の悪化、体調不良、結婚、年齢、持病の悪化
合計	24名	平均在籍期間 37.6ヶ月

退職者抑止策の令和4年度予算・実績について

既設の制度で本年度も継続した施策

教育、研修体制

・初任者研修資格取得補助

4年度予算	人数	金額
清和台	5	¥172,500
東 谷	5	¥172,500
ふらす館	5	¥172,500
西多田	5	¥172,500



4年度実績	人数	金額
清和台	0	¥0
東 谷	0	¥0
ふらす館	0	¥0
西多田	0	¥0

福利厚生

・職員への誕生日祝い(理事長のお祝いメッセージと商品券のプレゼント)

1人 ¥3,000

4年度予算	人数	金額
清和台	100	¥300,000
東 谷	100	¥300,000
ふらす館	100	¥300,000
西多田	100	¥300,000



4年度実績	人数	金額
清和台	124	¥372,000
東 谷	113	¥339,000
ふらす館	122	¥366,000
西多田	118	¥354,000

・ドーナツ定期便

4年度予算	人数	金額
清和台	100	¥180,000
東 谷	100	¥180,000
ふらす館	100	¥180,000
西多田	100	¥180,000



4年度実績	人数	金額
清和台	124	¥235,912
東 谷	113	¥226,137
ふらす館	122	¥222,630
西多田	118	¥237,048

・コミュニケーション費

4年度予算	人数	金額
清和台	100	¥700,000
東 谷	100	¥700,000
ふらす館	100	¥700,000
西多田	100	¥700,000



4年度実績	人数	金額
清和台	121	¥431,134
東 谷	113	¥279,525
ふらす館	122	¥208,925
西多田	118	¥113,470

職業病予防対策

・インフルエンザワクチン接種補助(ワクチン料3,000円の一部支給)

1人 ¥1,000

4年度予算	人数	金額
清和台	100	¥100,000
東 谷	100	¥100,000
ふらす館	100	¥100,000
西多田	100	¥100,000



4年度実績	人数	金額
清和台	110	¥110,000
東 谷	85	¥85,000
ふらす館	83	¥83,000
西多田	93	¥93,000

・健康診断

4年度予算	人数	金額
清和台	100	¥1,100,000
東 谷	100	¥1,100,000
ふらす館	100	¥1,100,000
西多田	100	¥1,100,000



4年度実績	人数	金額
清和台	124	¥1,377,528
東 谷	113	¥1,319,396
ふらす館	122	¥1,323,494
西多田	118	¥1,370,188

教育支援体制

・介護福祉士国家試験取得補助(受験料18,380円の全額支給)

1人 ¥18,380

4年度予算	人数	金額
清和台	5	¥91,900
東 谷	5	¥91,900
ふらす館	5	¥91,900
西多田	5	¥91,900



4年度実績	人数	金額
清和台	4	¥73,520
東 谷	7	¥128,660
ふらす館	0	¥0
西多田	2	¥36,760

## 令和4年度事業報告

### 人事財務本部

今年度も昨年度同様、職員各々がスキルアップを図ると共に、部署内での情報を共有して、しっかりとバックアップできる体制を整えるという観点から下記の3項目を重要課題として活動を行って参りました。

#### 1. 業務シェアと効率化

##### ①業務シェア

今年度も引き続き、昨年度より進めております各館施設担当と人事財務本部担当との業務のシェアに加えて、人事財務施設担当がどの施設でも業務がおこなえるような仕組み作りを行い、効率的な組織運営を進めてまいりました。

##### ②効率化

###### ・物品購入について

施設で物品購入をする際、価格は重要な点ですが、安価だけではなく、手間の掛からない方法を模索しています。

急がない物はカウネット、アスクル、たのめーる等を積極的に活用してまいりました。

それにより現金出納や買い物の手間が省け、また交通事故のリスクも減りました。

###### ・小口現金について

物品購入や少額の支払い等を現金払いから振込、カード払い、掛け払いにすることにより将来的に小口現金の額を少なくすることを目指し活動しています。

各施設で現金払いをしていた新聞購読等の支払いを口座振替に変更しました。

各施設で小口現金の使用量が減ってきているのを実感できています。

## 2. 収益確保

### ②助成金による収益確保

昨年度に引き続き助成金制度等を利用して、法人の収益確保に貢献できるように活動してまいりました。

#### 今年度獲得助成金

- ・特定求職者雇用開発助成金(高年齢者、母子家庭の母等)
- ・両立支援等助成金
- ・退院受入支援事業補助金
- ・介護事業者等サービス継続支援事業補助金
- ・健康管理支援事業補助金
- ・中央競馬馬主社会福祉財団助成金
- ・事業所物価高騰対策支援交付金

今年度も引き続き専任者を決めて活動してまいりました。

コロナ関連の助成金を中心に、昨年度よりも多くの助成金を獲得することができました。

引き続き、未獲得の助成金に関しては獲得できるように活動していくと共に、新たに出てくる助成金制度や廃止になる助成金制度もあるので、日頃から情報収集に心掛けてまいります。

## 3. 働きやすい職場環境作り

法人内の規程・規則等が変更になった場合や、給与関係・人事関係の法令が変更になった場合も、速やかに全スタッフに周知徹底するようにし、スタッフが不利になるような事が起こらないように進めてまいりました。

#### 令和4年度の主な変更点

##### 育児・介護休業等に関する規定の改定

育児・介護休業法の改正により令和4年4月1日以降に開始する

育児・介護休業から有期雇用労働者の取得要件が緩和されました。

それに伴い、育児・介護休業給付について変更しました。

また、施設内の第三者的存在として、あらゆる職種のスタッフが個別に疑問・質問を気軽に相談できる雰囲気作りを、更に進めています。

## フードプロデュース本部

### 令和4年度事業報告

法人の理念において、介護が必要な状態になつても、ごく普通の生活を営むことができる様に、「暮らしの継続」を大切にしています。

フードプロデュース本部では一人ひとりの尊厳を保ち、一日一日を積み重ね、暮らしと共に変化・進化していくことを、食事の場面からサポートしていく為に、個々の方に柔軟に対応できるスタイルで食事を提供しています。

食事を五感で味わって頂きたく、ユニット炊飯及び新調理方式を導入して、ユニットでの最終調理を行っております。また、食事形態の加工をユニットで行うことで、一律に食事を刻むのではなく、必要に応じてカットし、見た目からも美味しく食べて頂けるようになりました。コロナ禍の中においても、ユニットでの準備を通して、食事への関心を持ち続けて頂き、穏やかな安らぎのある暮らしを提案してきました。

栄養管理の面では、4施設での栄養ケアマネジメントを円滑に行い、ご利用者様、ご入居者様の栄養管理を行って参りました。

他職種との情報を綿密にすることにより、迅速にご利用者様・ご入居者様の一人一人の栄養状態や嗜好を把握した栄養ケア計画書を作成し、計画に沿った栄養管理を行うことができました。その結果として健康状態の維持、疾病予防、食事動作におけるADLの維持に繋げることができました。

また、兵庫県伊丹健康福祉事務所が中心となり運用をしている、高齢者の食を支える「栄養管理連携バス」の活用を継続しています。

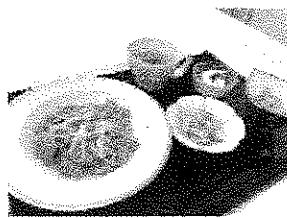
「栄養管理連携バス」は、病院への入退院、施設への入所、在宅療養となつた際に、適切な栄養管理・食生活サービスをスムーズに受けられるようとするが目的です。

その際の食支援をスムーズに行うため、各施設の嚥下調整食の形態とその呼称を共有するためのツールとして「食形態マップ」を作成・運用し、地域全体の病院、施設、在宅の情報をつなげることで、ご利用者様・ご入居者様にご負担をかけることなく、安定した食事提供につながっています。

また、季節感のあるメニューや新メニューの開発にも力を注ぎ、各地域の郷土料理やB級グルメの「ご当地メニュー」も楽しんで頂いております。

今年度のご当地メニューは以下のメニューを提供し喜んで頂きました。

4月 鹿児島県「春羹」



5月 佐賀県「魚飯」

岡山県「えびめし」

6月 岡山県「えびめし」

岡山県「えびめし」

7月 埼玉県「すったて」

岡山県「えびめし」

8月 岐阜県「鶏ちゃん焼き」

岡山県「えびめし」

9月 沖縄県「フーチャンブルー」

岡山県「えびめし」

10月 愛知県「味噌おでん」

岡山県「えびめし」

11月 長野県「ごぼとん丼」

岡山県「えびめし」

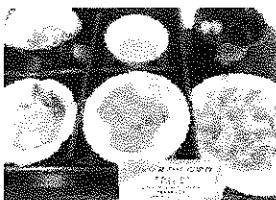
2月 山梨県「ほうとう」

山梨県「ほうとう」

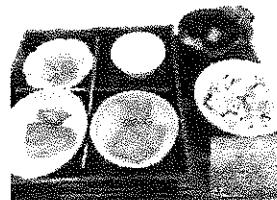
3月 神奈川県「サンマーメン」

山梨県「ほうとう」

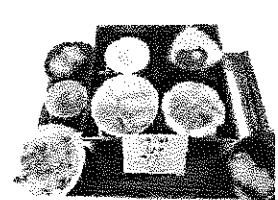
さらに、行事食を毎月提供し、それぞれの旬の食材を取り入れ、季節の風物詩の一つとして喜んで頂き、外出できない毎日の中で、楽しい変化を感じて頂ける様に工夫を凝らしてきました。



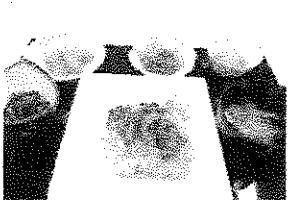
創始者の日行事食



七夕行事食



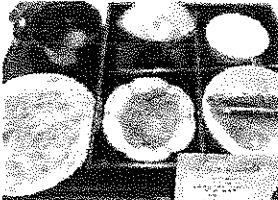
お盆行事食



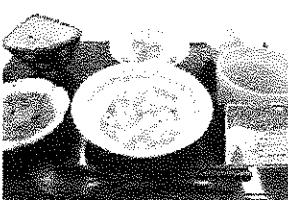
土用の丑 うなぎちらし



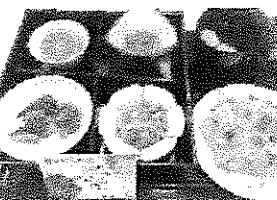
秋の味覚弁当



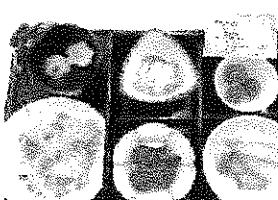
紅葉御膳



クリスマス行事食



節分行事食



ひなまつり行事食

美味しく皆様に喜んで頂ける食事を安定して提供する為に、4施設のノウハウを合わせ、PDCAサイクル、Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(計画)⇒ Act(改善)を繰り返し、業務の向上に努めてまいりました。

今後もご利用者様、ご入居者様に喜んで頂けるよう、スタッフ一丸となって、よりよい食事提供の為に、鋭意努力を重ねて行く所存です。

#### 〈清和台事業報告〉

ご利用者様、ご入居者様の適切な栄養管理が行えるように、多職種スタッフ(医務・介護スタッフ・ケアマネ・生活相談員・機能訓練)と日々のコミュニケーションを大切にし、お食事時の様子の確認、検査数値、体重測定の確認、サービス担当者会議に参加し多職種と情報を共有し、栄養ケア計画書の作成業務にあたりました。

日々の体重の増減に気を配り、体重に大きな増減が見られたご入庫者様には、他部署と集まりカンファレンスを行い、早めの対策を行うよう努めてまいりました。

夏祭りは、感染対策を行い一つのユニットごとに地域交流スペースに降りてきて頂き、ゲームやたこ焼きなどの屋台を楽しんでいただきました。

今後も、感染対策をしっかりと行いつつ、食事レクリエーションを行えるように、努めてまいります。



#### 〈東谷 事業報告〉

「暮らしの継続」を目指した、安心できる食事環境作りを心掛けてきました。コロナ禍であっても、食事の楽しみを味わっていただきたく、感染症対策を行った上で、季節に応じた食事レクレーションや餅つきを実施しました。



栄養マネジメント面では、一人一人ご入居者様と向き合い、嚥下状態や食事・水分摂取量、体重の増減について検討を行いました。

サービス担当者会議以外にも、日常的に多職種で情報交換を行い、迅速に対応できるようコミュニケーションを取りました。

ご利用者様・ご入居者様に寄り添い、お食事を楽しんで頂きながら栄養状態・健康状態の維持・向上を図れる様に、最善の支援を続けて参りました。

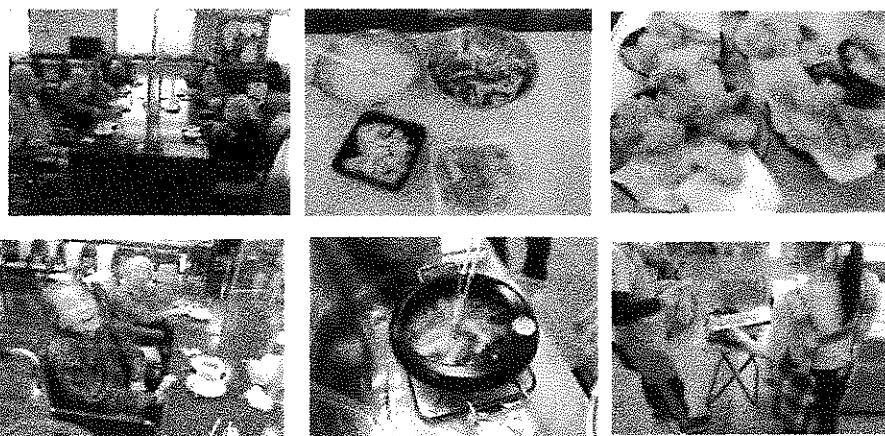
今後もよりよい支援ができるように、継続していく所存です。

### 〈ぷらす館〉

コロナ禍が続く中、ご利用者様及びご入居者様に四季を感じて頂けるように昨年度よりも様々な食事レクリエーションを実施する事が出来ました。

食材カットも含めて実施した、旬野菜の天ぷらや鍋料理は好評を頂きました。

また、特養のご入居者様に対して、喫茶店のレクリエーションを多職種共同で開催し、非日常的な雰囲気を楽しんで頂きました。



食物アレルギーの方にも安全に召し上がって頂くため、食材チェックの体制を見直し、誤配膳予防に最善を尽しました。

食材料費の高騰が続いているので、在庫状況の確認や期限表示のチェックを徹底し、適度な在庫を維持するよう努めました。

多職種(医務、ケアマネ、生活相談員、機能訓練、介護スタッフ)との連携を生かしてご利用者様、ご入居者様の栄養ケアマネジメントに携わる事が出来ました。

今後も個々の栄養状態や問題点を把握し、適切な栄養ケアを行っていきたいと思います。

#### 〈西多田〉

日々の多職種との連携、情報共有を大切にし、ご利用者様・ご入居者様、一人ひとりの食習慣や身体状況、その方に適した食事形態や嗜好等をできる限り配慮した食事提供に努めました。

ユニットでは炊飯や盛り付け等を行うことで、香りや音、食事の準備の姿などから、日常的な食事の風景、家庭での食事環境に近づけることを意識し、取り組んできました。

コロナ禍で外出や行事が制限されている中で、感染対策に留意しながら、ユニット毎に食事やおやつのレクリエーションを実施し、行事食やご当地メニューを提供することで、普段の食事とはひと味違う楽しみを感じて頂きました。



栄養ケアマネジメント面では、ご本人らしく生活ができる様に、体重の推移や検査値等を考慮しながら多職種と、協議・検討を行ってきました。

今後もご利用者様・ご入居者様一人ひとりに寄り添い、より満足いただけるよう、各部署と情報を共有していきたいと思います。

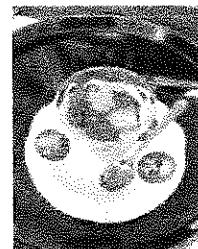
### 〈フードマネジメント事業〉

やわらぎの里各館で提供させていただいている「高齢者の皆様にとって安心で安全な美味しい食事」を地域の高齢者に、また将来的には様々な方に召し上がって頂き、やわらぎの里への安心感を更に高める一助となることを目的として「フードマネジメント事業」を行っています。

昨年度に引き続き、新調理方式で安定して安全な美味しい食事を提供し、薄味ではない美味しい減塩食、刻み食ではない安全なソフト食の開発にも協力してきました。

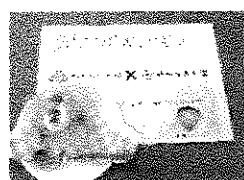
さらに、高齢者の健康を食を通じて提案する取り組みを行いました。

昨年度から取り組んでいる、転倒予防の為に地元のいちご農家・パティシエの方々と協力して作ったスイーツも引き続き提供しました。トッピングに桜などの季節を感じるアレンジを行い、毎回喜んで頂きました。



また、昨年に続きホテルパティシエとコラボし、免疫向上をテーマにしたスイーツを作りました。

甘酒をベースにし、乳酸菌や酢などを併せ、効果的な栄養素を組み合わせました。



新たに、老舗の和菓子屋さんと、健康に良いスーパーフードを取り入れた「おはぎ」を作りました。

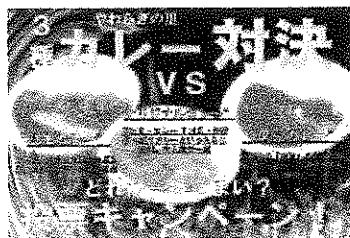
スーパーフードを取り入れることで、やわらかく仕上がり、「食べ易く、美味しい」と喜んで頂けました。



また、今年度は食事で楽しんで頂く企画に取り組みました。

まずは、人気の高い「カレー」で食べ比べ選手権を行いました。

3種類のカレーを食べ比べて頂き、投票によりナンバー1を決定しました。  
ナンバー1のカレーは毎月提供、他のカレーは隔月で提供し、いずれも「美味しい！」と喜んで頂いております。



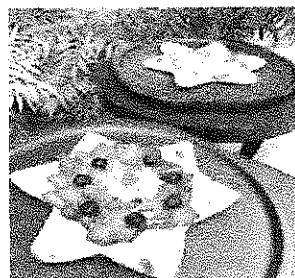
次に、在宅部門のスイーツに焦点を当て、話題のスイーツを取り寄せや、キッチンカーを呼んだり、幅広いジャンルの手作りスイーツにも挑戦しました。

秋には新米フェアを企画し、羽釜で炊いた産地の異なる新米を食べ比べて頂きました。

美味しく楽しく食べて頂く為に、これからも楽しい企画を考え、健康と美味しさを兼ね備えた食事の提供に向けて、鋭意努力を続けていく所存です。

令和4年度も、ご利用者様、ご入居者様の『おいしい！』とたくさんの笑顔を聞くことができました。

令和5年度も『目で楽しみ、味覚も楽しんでいただき感動を呼ぶ食事』をモットーに、人と向き合い、生活の質を高める食事の提供を目指します。



星型デザートピザ

以上

## ☆機能訓練本部

### 令和4年度事業報告

#### 令和4年度 運営指針

##### 健康的な、まち(地域)づくり

#### 令和4年度 運営総括

##### ■機能訓練本部の進路

機能訓練本部が発足して9年目となる令和4年度は、「健康的な、まち(地域)づくり」とする運営方針のもと、平成30年度の『地域を知り、支える人になる』とした目標が連續性のある事業計画として実行と成果に繋げることができています。平成30年から5カ年計画で進めてきた機能訓練本部のビジョンについても、最後の1年となりました。「地域」というキーワード、そして地域との交流も含めて、「地域との前向きな連携を求め」、地元の皆様と交流したり「施設と地域が一体」となれるように進めてきました。令和2年からのコロナ感染症等も経験し、私たちの働き方も大きく変化が生じました。多くの人々が制限や自粛、そして感染リスクに留意しながら生活する事になりましたが、少し時間が作れる分、今まで忙しくて中々できなかった事、そして誰かのために取り組む時間ができたと前向きに考えることも出来ました。辛い時間をただ過ごすのではなく、意義と意味のある時間にするためにも、施設単位で、そして個人単位で指導員の自主的・自律的な行動も確認する事ができ、各々のスキルアップと組織体としての成長にも繋がっています。令和4年度において、私たちが今出来る事を私たちのやり方と柔軟な創造によって、少しでも私たちにしか出来ない事をカタチにできるように進める事も出来ました。

##### ■川西市介護度改善インセンティブ事業への参加

高齢者の自立支援や重度化防止に資する質の高いサービスを提供している介護サービス事業所の取り組みを評価、支援することにより、川西市内の介護サービス事業所全体のサービス提供水準の向上を図り、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現をめざすことを目的として、同市が「介護度改善インセンティブ事業」を実施することとなりました。対象(評価)期間は、令和4年6月から令和4年12月までの6ヶ月になります。ご利用者様の自立支援・重度化防止に繋がるサービスの提供を事業所へ促すインセンティブとして、評価期間の中でADLの維持または改善の度合いが一定の水準を超えている事業所を評価するという意味では、この同市の事業もアウトカム評価における加算に類する取り組みと言えます。この事業への参加は、奨励金目的というよりも、これらの事業に参加する事が今後の施設運営等におけるイメージにも影響すると考えたからです。当然、これらの事業を進めるに当たっては、目的や趣旨として、ADLを高める為に事業所としての取り組みや施策、そして事業所のサービスに携わる全ての職種が少しでもご利用者様の機能回復や生活力の向上を目指せるようなケアを進めるべきですが、そこまでの周知と働き方の変更は当然難しいことも想定できるところでした。対象期間となる半年(6~12月)については、今までの変わらない働き方に加えて、各々のスタッフが頭の片隅にでも、この事業における事を頭にイメージしながら、業務に携わる事で十分であり、このことでケアにおける意識や行動が変わると考えたからです。参加した事業所は、同市のホームページで公表されることから、この事業に参加したとする実績は、潜在的顧客へのアピールと仕掛けになるはずです。機能訓練特化型ではない私たちのサービス形態であれば、ADLを「改善」させる事は、対象利用者の介護度やモチベーションにより難しくなります。そして、これらの働きかけと意識の変化が、ADLの「悪化」を最小限にして、ADLの「維持」を増やす、または「維持」できている割合を増やす取り組みがおこなえたことは、私たちの働きとして求められるサービス提供の水準を上回る事が出来たとも言えます。

### ■ファン率を増やす仕組み作りを想像する

本年度(令和4年度)については、デイサービスの利用率を改善することに力を注ぐことも専門職として、頭に入れながら業務に携わりました。そして、稼働率とする解釈ではなく、ファン率を増やす為に、『ご利用者を集める』のではなく、『ご利用者が集まる』仕組み作りも創造する事としました。その一つとして、ご利用者様やご入居者様へ驚き、喜び、楽しみ、感動を創造するための一つのツールとして近隣施設にはないリハビリ機器を導入するに至りました。高額なりハビリ機器となりましたが、オリジナリティある提案の一つとして、またこれら機器を使用する方々の「もう一度動ける可能性」を体験して頂けるツールとして積極的な活用に繋げる事としました。

※足こぎ車いす(COGY:コギー)の導入

### ■社会貢献活動

地域貢献活動の一つとして、様々なヒントや経験を得た「やわらぎの里 健康クラブ」ですが、このコロナ禍で人との交流や地域への私たちの関わり方も変化が生じました。介護サービスが一時的に利用できなくなる状況への臨機応変な対応、介護サービスと併用しながら連続性ある運動のサポート、コミュニティリハビリテーションの浸透と地域高齢者の健康寿命を鑑みた取り組みを母体となる施設サービスと連動、そしてマッチングさせながら、法人の既存事業における新規顧客獲得と稼働率の向上、そして独自のサービスモデルを構築することで他市にはないサービスのあり方を研究しました。施設で働く指導員が自らの専門性や知識、そして技術を活かして他事業所にはない「こんなこともしている」と自慢できるような、また遺り甲斐となるような働き方も合わせて想像しています。次年度より、介護事業と親和性の高い訪問事業をスタートさせることとしました。

※訪問型健康応援サービス オーダーメイドリハックス(自費における訪問施術)令和5年4月開始

### ■施設サービスにおける振り返り

特別養護老人ホームにおいて、ご入居者様とスタッフが共同生活をしながら1人1人の生活リズムにあった暮らしが過ごせるようにサポートする介護ケア(ユニットケア)が導入される中で、私たち専門職も「ユニット」を「地域」と捉えて、他者とのかかわりを通して、また生きがい(役割含む)を再獲得できるように、ビジョンを立てながら進めてきました。プライベートの時間を確保できるのは、ユニットケアの大きな強みです。しかし、結局のところ施設が決めたスケジュールに沿って動いている現状もあり、「より自由な生活」とは何かと考えさせられる期間となりました。責任感をもって判断しなければならない場面が多く、スタッフ1人の負担が大きいこともあり、責任のある仕事だからこそ、やりがいを感じられるはずが、感染における様々な制限や自粛等も影響し、生活する事、1日を過ごすこと自体が大変だったとも言えます。私たちが私たちだからできる創造として、「役割」「関係づくり」「健康づくり」「変わらない暮らし」「したいを見つける」等を事業計画のキーワードとして取り組んできました。5か年計画として、私たちができるユニットケアのかかわりについては、「一人一人のチャレンジしたいとする想い」には耳を傾けることができたと感じています。但し、支えるケアだけではなく、このような情勢だからこそ、「良くなるケア」も考えるべきではと、新たな課題を見つけることができました。また、通所介護(デイサービス)や短期入所生活介護(ショートステイ)では、利用状況も大きく変化するだけではなく、他者との交流機会や外出機会が減る事で施設サービス利用者の身体機能にも影響が出ることとなりました。心と体、そして健康と安心は、私たちだけで守れるものではなく、ご家族様の協力や理解、そしてご利用者様の想いが大切です。私たちが日々の暮らしに寄り添い「予防的」なアドバイスやきっかけづくりを続けながら、全ての方々が笑顔になっていたくためにも、暮らしの尊線に沿って活動できるような仕組み作りや仕掛けが必要なことも学びました。

## 令和4年度 施設報告

### やわらぎの里 清和台の事業報告

#### 1、特養/ショートステイ

ご入居者様一人ひとりの「なじみ」の中で安心してくつろげる空間を作ることを目指した取り組みとして、全ての指導員が各階ヘラウンド(挨拶周り)する回数を増やしました。ご入居者様と対話をする時間を増やしたことで、複数のご入居者様同士でコミュニケーションの場を作る仲介としての役割を担うことにもなり、ご入居者様同士の「輪」を増やす切っ掛け作りとなっています。また、施設リーダーとして、特養介護スタッフとのコミュニケーションを深められたことは大きな収穫でした。ご入居者様、介護スタッフともに「なじみ」のある空間作りとしての効果も実感する事ができました。施設における機能訓練指導員の体制が整ったことで、人材育成にも力を入れることができました。ご入居者様へ関わる際の意識向上を目的とした取り組みとしては、認知症や看取りに関する資料の回覧や定期的な研修も開催しました。自己研鑽や知識の向上としては、CT画像による画像診断の勉強会、シーティングやポジショニング(座り姿勢や臥床姿勢の調整)について、施設指導員全員での観察・検討・資料作りをおこなっています。これらの結果、各指導員の知識向上や倫理観の定着、各自の自信へと繋がったことで能力の底上げができたを感じています。来年度も安心して、くつろげる空間作りの構築を目指し、やるべきことをしっかりと行うといった基盤を固めるための取り組みを行ってまいります。

#### 2、デイサービス

「参加の達成」を創造することを目指して、知識と技術を向上させるために勉強会や話し合いの場を多く取り入れた1年でした。カンファレンス(申し送り)の方法を見直したことで、今までより多くのご利用者様の情報について共通理解が行えただけでなく、共通認識の総量が増えたことで、各ご利用者様の課題に対する相談に対して、解決方法や取り組むべき優先順位も考慮しながら進める案件もありました。各自の取り組みについて相談し合う事で刺激を受け、考え方や取り組み(アプローチ)の方法についてのヒントに気がつくケースもありました。指導員が自主的に資料を作成して、勉強会が開催できたことは収穫となりました。また、清和台施設のみでの導入となっていますが、COGY(足漕ぎ車椅子)を導入した運動効果として、乗車後には歩行時の足が出やすくなったり膝痛の緩和、息切れしやすいご利用者様に対して積極的な運動介入が行えた事等の利点により「参加の達成」としての後押しになりました。来年度は、“楽しみながらの運動”をキーワードに、気持ちも含めて前向きになれる機能訓練を目指して取り組んでいきます。

\*COGY(コギー)：ペダル付き車いすコギーは、自転車のように足でこぎ動かす車いすです。歩行が難しい方でも、どちらかの足が少しでも動かせれば、反射によって自分の両足でペダルをこぎ進むことができる可能性があります。

### やわらぎの里 東谷の事業報告

#### 1、特養/ショートステイ

新型コロナの感染対応や働き方の変化が続く中で、ご入居者様とのレクリエーションや身体を動かす機会を増やすことが難しい状況もありました。しかし、特養専従機能訓練指導員が毎日全員に声をかけて、それぞれのご入居者様の表情の確認や昔話を交えながら精神的な安定と安心を作り出す行動を担ってくれました。また、そのような中で日々、身体機能の評価や気持ちの変化を読み取るように、生活内に入り込んだ働き方も創造してくれました。各々のご入居者様に対しては、荷重分散のクッションの作成や車いすの調整、スタッフへは移乗・除圧のアドバイスも行っています。ショートステイでは、施設サービスを利用するだけではなく、レクリエーションが積極的に開催できることで、ご利用者様からも喜びの声もありました。在宅専従機能訓練指導員として、業務内で時間を作り、ご利用者様(特にロングショートの方)に声をかけるようにしましたが、運動を増やす機会の創出までには至りませんでした。

## 2、デイサービス

東谷施設では、機能訓練指導員が主体となり作成している「機能訓練新聞」を2ヶ月に1度作成する事を継続してきました。ご利用者様から新聞の事で質問を受けたり、「読んでいるよ」とのコメントもお聞きしています。新聞を読んで自宅で行える運動・脳トレを取り組んでいただけているご利用者様も少數ですがいらっしゃいます。但し、多くの方が新聞の内容を参考に出来ているのかまでの確認はできていない状況です。ご自宅に指導員が定期的に訪問した際に、ご本人様から「新聞に載っていた運動や脳トレをしないといけないなと思うけど、何をしたら良いのか?」、ご家族様からは、「新聞に書いてあるやん!」と言うエピソードも聞かれました。中々、実践していただくのは難しく感じる一方でご家族様も読んでいただけている事を嬉しく感じています。ご利用者様やご家族様と私たちが繋がる事の出来る一つのツールとして、この機能訓練新聞は活用していきたいと思います。

### やわらぎの里 ぶらす館の事業報告

#### 1、特養/ショートステイ

私たちや介護スタッフ、ご入居者様の異なる「時間」を共有することは、お互いが自然体で居るための「強制されない時間」を作る事につながります。私たちは、ひとり一人の時間を豊かにできるように、ご入居者様の身体状態やニーズの把握に努め、その情報を介護スタッフに伝える役割を担いました。その情報において課題や共有すべき情報があれば一緒に考え、それが専門的知識であればアドバイスを行い、ご入居者様が自然体で過ごせる「時間」を一緒に作っています。これは、「ご自宅で過ごす時間」をイメージしています。また、コロナ禍では制約される「時間」において、ご入居者様がご家族様と接することが難しく、不安な時期をお過ごしすることもありましたが、支援する側がご入居者様の状態を共にし、課題解決にあたることで、ご家族様の不安軽減の一助を担えたのではないかと思います。ご自宅とは違う施設において、今も昔も変わらない気持ちで生活を過ごして頂くことは難しいことですが、ご入居者様が日々自然体で笑って生活して頂けるように、来年度も努めたいと思っています。

#### 2、デイサービス

ご利用者様のことをより深く把握し、心身共に健康で、やりたいことが実現できる生活様式(スタイル)を目指しました。ご利用者様のバーソナリティや歴史、思っていることを知るために、コミュニケーションを深めることを意識して指導員と接する時間を大切にしました。そして、その情報を他指導員や介護スタッフと共有し、ご利用者様に対し同じ支援が出来るよう努めています。ご利用者様のバーソナリティを知ることが、その方により合った訓練の提供に繋がり、歴史や想いを知ることが更なる信頼関係の構築に繋がっています。信頼関係が出来ると、ご利用者様の心に秘めているニーズが聞き出しやすくなるため、ご本人様のやりたい事、やってみたい事を実現できる切っ掛けを作れたのではないかと感じています。今後も訓練や運動のみならず、コミュニケーションを大事にし、ご利用者様が毎日笑顔で過ごせるよう努めたいと思います。

## やわらぎの里 西多田の事業報告

### 1、特養/ショートステイ

昔(自宅での生活)も今(施設での生活)も変わらない生活を送っていただくにあたって、日常生活動作の一つでもある「移動」機能にフォーカスして、今期は取り組みを進めました。適切なサポートや時間、そして歩行介助のスキルや技術があれば、移動を『歩く』とした手段として目的地へ辿りつけるケースも多くあります。但し、特定の誰か(専門職のみ)が、補助すれば歩けるとしたのでは、本来のサポートではなくなります。普段は、「車椅子」を使用している方が『歩く』ことで、目線が変われば見える景色が変わります。景色が変われば、考え方や思考も変化します。リスクが高くなるから、また転倒が予測されることから安全面を優先した選択として、「車椅子」を使用する事もありますが、今も昔も変わらず“歩くことができる”とした身体機能における自己認識を持っていただく事こそ、明日への活力となり生きるために力になると感じることができました。ご入居者様やご家族様のご意向を伺い、可能な限り『歩行』の機会を設けることが、ご入居者様の自信にも繋がり、生活にもハリが出ることもあります。スタッフと連携して、生活の中(リビング→トイレ→自室)で、短い距離でも歩く機会を設けられるように取り組めたことは、本来の自立支援のカタチであり、私たちの役割と感じています。上半期及び下半期で1名のご入居者様が生活内で歩けるようになるとするチャレンジは、結果的に1名でしたが、これは大きな成果です。歩くことができるとした自信は、排泄動作や入浴動作、その他の立位を伴う動作の機能維持に繋がります。当該施設においては、他館に比べて平均介護度が0.2~0.5高くなります。当然、介護度が高くなれば日常生活動作で、何かの部分で全面的にサポートが必要な状況となります。現在、33%のご入居者様が移動様式として、自ら歩く(歩行補助含む)事が出来ています。また、當時、適切な歩行サポートがあれば歩くことができる方(普段は車いす使用)も、全体の7%となります。今できていることが継続してできるように、また少しの他職種共同のサポートで潜在的な歩行可能者を一人でも日常生活における歩行様式の獲得と繋げられるように支援したいと思います。

### 2、デイサービス

『毎日の嬉しいや楽しい』を一緒につくりたいとする思いや、「ご利用者様を喜ばせたい」と考える事で、指導員一人ひとりの行動にも変化が生まれています。訓練だけの関わりではなく、デイサービスでお過ごしいただく時間を共有する事、傍に寄り添う事、訓練以外でコミュニケーションをとる事は、ご利用者様にとって、「満足」ではなく「感動」を生み出すことができるエッセンスになると捉えています。例えば、ご来館時やご帰宅時におこなう「挨拶」は、ご利用者様に限らず幸せな気持ちにさせる効果があります。笑顔で挨拶をすることで、相手の気持ちを晴れやかにすることができます。また挨拶をすることで、まだ打ち解けていない方にも、少し指導員やスタッフとの距離がある方にも「あなたのことを知っていますよ」というアピールになり、相手の緊張もほぐすことができます。挨拶は大切なコミュニケーションの手段であり、挨拶をきっかけに会話をスタートすることができます。ラボール(信頼関係)が構築(形成)できれば、悩みやお困りごともお話して下さるようになり、これはご利用者様の「安心」から「満足」、そして「感動」に繋げることができます。また、『毎日の嬉しいや楽しい』を運動や体操を通して、一緒に作ることも私たちの使命ですが、まずは私たちセラピストが「楽しい」「一緒に楽しもう」とする思が必要です。リハビリや訓練(機能訓練)は、すぐに結果が出るものではなく、セラピストとしても、訓練を受けるご利用者様においても、根気や継続が必要です。だからこそ、「できなかったことができるようになった」瞬間の喜びは、「満足」ではなく「感動」となります。現在の身体レベルを向上させることは、正直なところ、難しいケースが多くあります。そう考えれば、身近な動作や行為において「出来る事」が「している事」に生活レベルでの変化へと繋げることができれば、「感動」を得る事ができるはずです。次年度においても、指導員各々の専門性やスキル、そして知識を活かしながら様々な視点から「健康」のカタチやアイデアを具現化できるように取り組んでいきたいと思います。



# やわらぎの里清和台

＜令和4年度＞

(自)令和4年4月1日～(至)令和5年3月31日



# やわらぎの里 清和台

## 介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉

### (1) 適時適切な入居計画の推進と確立

今年度は、5月頃まで順調に待機者も確保ができており、新しいご入居者様をお迎えしておりましたが、待機者の減少が続いた事から、待機者の確保に向けて、川西市全域に入居案内のチラシを新聞折り込みで配布し、川西市以外の病院や居宅介護事業所にも、電話連絡を定期的に実施することで、一定の待機者が確保できました。

まだまだ申し込み件数が安定していない状況である為、今後についても継続した営業活動の促進を行い、施設の知名度を向上させると共に、SNSなどを活用しての情報の配信を行い、施設の雰囲気や生活の内容をもっと知って頂き、選ばれる施設を目指していきます。

### (2) 行き届いた相談、生活援助等の実施

昨年度に引き続き、今年度も1年間を通して面会自粛要請期間となっていましたが、直接面会を継続的に実施し、数多くのご家族様がご訪問頂き、ご入居者様と対面で会話をされ安心してお帰りになる場面を作る事ができました。

また季節ごとにお写真を送付し、日々のご様子を郵送でお送りするなど、お会いできない期間が長くなっている現状を少しでも緩和できるよう対応してまいりました。

まだまだコロナ禍は継続していますが、こんな状況でもご入居者様とご家族様との懸け橋となるような生活援助と相談援助を実施して参ります。

来年度については、今以上にご入居者様とご家族様の距離を短くできるような対応を検討し実施して参ります。

### (3) ケアプラン等の策定及び実施・評価

昨年度から引き続き、今年度も、ケアプランの作成に向けて、細かなミニカンファレンスを実施してまいりました。

その都度、ご入居者様のご様子を現場職員がしっかりと把握し、状況に応じて、ミニカンファレンスを実施、多職種の連携を踏まえて、情報共有の場面を作るような動きを実施しております。

小さな気付きを大切に、各職種が集まり各職種ごとに、ご入居者様にとって何が必要なのかを出し合い、ケアプランに反映させるようにしています。

今後も継続的にミニカンファレンスを実施して、専門職が集まる場面を頻繁に行い、より良いケアプランとなるよう努めて参ります。

#### (4) ユニットケアの充実に向けて

今年度は、年間目標を自立支援の向上を目的に一年間実施をして参りました。

毎月各フロアにて、自立支援に向けて、見直しを実施しケアプランの変更をおこなっています。

取り組み内容としては、食事をどのようにしたらご自分で食べてもらえるのか、排泄介助では、オムツ交換の方を、どのようにすればトイレにて排泄が可能になるか、日々のレクリエーションでも、工作レクを考え少しでも手を使っていただけるようなレクを考えて実施しています。今後も継続して、お一人おひとりその方に応じて、残存機能を活用できる支援を検討してまいります。

#### (5) 潤いのある生活を実現するレクリエーション等の充実

今年度も、コロナ禍が継続していたこともあり、フロア単位での大規模なレクリエーションは実施することができなかつたものの、ユニットごとで、小規模なレクリエーションを考え実施して参りました。

外出についても、小集団で、人混みを避け、総合公園やドライブを実施し、施設の外に出て、気分転換ができるような取り組みも継続的に実施しており、施設の外に出かける事で、閉塞感の緩和につながったと感じています。

コロナ禍でもできる感染対策と日常生活の両立について、日々検討をしながら実施して参ります。

#### (6) 安全・安心の環境作り

今年度は残念ながら、施設で初めての新型コロナウイルスの蔓延を起こしてしまい、数多くのご入居者様やご家族様にご心配とご迷惑をおかけする結果となってしまいました。

今回の教訓をしっかりと反省し、今まで以上に感染対策の徹底と、職員教育を実施しご入居者様の安全と安心してお過ごし頂ける環境を作つて参ります。

令和5年1月に新型コロナの感染が終息した事で、すぐさま全職員対象に振り返りを実施。

反省点を踏まえて、研修の第一弾として職員全員にガウンテクニックの研修を実施  
感染者の対応方法の見直しを実施。

今後も継続した感染対策の研修を第二弾・第三弾と企画して実施して参ります。

## やわらぎの里 清和台 ご入居者様の概況報告

### 特別養護老人ホーム(令和5年3月末日現在)

年 載

男性	81.99歳
女性	87.41歳
全体	86.03歳

最高齢者	106歳6ヶ月
最低齢者	68歳3ヶ月

介護度

2階	3階	4階	全体
3.63	3.54	3.03	3.38

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人數	6	16	31	36	16	105
比率	5.7%	15.2%	29.5%	34.3%	15.2%	100%

### 介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	1	10	6	41	47	105
比率	0.9%	9.5%	5.7%	39.1%	44.8%	100%

保險者

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月5日	お花見
実施フロア	総合公園に外出、お花見をして頂く。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	2名
久しぶりの外出なのもあり、最後までお話が止まらず、外出できて良かったとともに喜ばれていました。桜をみて笑顔になっておられました。		
実施日	令和4年4月7日	お花見
実施フロア	総合公園に外出、お花見をして頂く。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	2名
久しぶりの外出なのもあり、外出できて良かったとともに喜ばれていました。桜をみて笑顔になっておられました。		
実施日	令和4年4月8日	お花見(ドライブ)
実施フロア	総合公園に外出、お花見をして頂く。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	2名
車窓からのお花見となつたが、車窓からの桜を見られ、「きれいやわ」などのとおっしゃられました。		
実施日	令和4年4月15日	たこ焼きを焼こう
実施フロア	たこ焼きを提供	
4階フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	37名
皆さんおいしそうに召し上がられました。		
実施日	令和4年4月18日	総合公園散歩
実施フロア	総合公園の散歩	
3階フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	2名
普段ベッドで横にならされている事が多いご入居者様が、散歩中笑顔で散歩されていました。もう1名の方も、ずっと笑顔でおしゃべりが止まらなかつた状態で、とても楽しんでおられた。		
実施日	令和4年5月18日	たこ焼きを作ろう
実施フロア	焼きたてのたこ焼きを食べて喜んでいただく。	
2階フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	28名
たこ焼きレクリエーションを心待ちにしておられる方が多く、本当に喜んで下さいました。		

実施日	令和4年5月20日	たけのこご飯を作って食べよう
実施フロア	ご入居者様に普段と違うご飯を召し上がって喜んでいただく。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 30名	
たけのこが柔らかく美味しかった。おかげがほしいと言われる方もおられた。皮むきもご入居者様に実施してもらい楽しそうに皮をむいておられた。		
実施日	令和4年5月25日	ケーキを召し上がっていただく
実施フロア	おやつにケーキを召し上がっていただく。	
特養3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
ケーキを目の前にすると、「今日は豪勢やね」「わあ、嬉しいわ」とおっしゃられている方もおられた。		
実施日	令和4年5月30日	お茶を楽しんでもらう
実施フロア	抹茶を召し上がっていただく。	
特養2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 6名	
おいしそうに召し上がっていただけた。		
実施日	令和4年6月10日	バラ公園へのお散歩
実施フロア	バラ公園での散歩	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 2名	
ご入居者様も喜んでおられ、いい気分転換となつたと考える。		
実施日	令和4年6月15日	たこ焼きを焼いて提供
実施フロア	たこ焼きを召し上がっていただく。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 40名	
おやつにたこ焼きを召し上がっていただき、美味しいぞうに召し上がっておられました。		
実施日	令和4年7月5日	七夕飾り
実施フロア	七夕飾りと一緒に作り飾りつけを行う。	
3階フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
外になかなか出れないでの、施設内でできる工作を行いました。短冊に願い事を書いて頂き、フロアに飾つてもらつた。		

実施日	令和4年7月13日	フルーチュを作つて食べる
実施フロア	特養3階	おやつの時間に普段と違う飲み物を飲んでいただく
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	全ご入居者様
皆さん残さず召し上がっていただけた。またご入居者様から「美味しい」と返事を頂く。		
実施日	令和4年7月27日	クレープを作つて食べよう
実施フロア	特養4階	クレープを作つて召し上がっていただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	全ご入居者様
全ご入居者様にクレープを召し上がっていただき、喜んで頂く。ソフト食対応の方にも、別メニューを作成して提供した。		
実施日	令和4年7月28日	カキ氷を食べよう
実施フロア	特養2階	かき氷を食べて頂き、夏を感じて頂く
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	8名
かき氷を作るとろから、楽しんでおられた。冷たくて残すご入居者様もあられたが、季節を感じていただけたと思う。		
実施日	令和4年8月24日	クレープを作つて食べよう
実施フロア	特養2階	普段召し上がれないおやつを召し上がっていただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	2階フロア全員
普段召し上がれないおやつを召し上がっていただき喜んでいただけた。		
実施日	令和4年8月28日	夏祭り
実施フロア	全フロア	夏祭りで、輪投げ・射的・千本引きなどのゲームを楽しんでいただき、おやつにたこ焼きとジュースを召し上がって頂く。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	入居者全員
全ご入居者様に参加してもらい、射的や千本引き・射的などを楽しんでおられた。おやつにたこ焼きを召し上がっていただき、美味しそうに召し上がられています。		
実施日	令和4年9月16日	花火をしよう
実施フロア	特養3階	夏を感じていただけるよう花火を見て頂く。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	8名
花火を見て、「綺麗やわ」と喜んでおられた。夜で少し肌寒かったが、ご入居者様には、上着をしっかりと来てもらっていた事で、寒いなどの訴えもなく楽しめていました。		

実施日	令和4年9月18日	敬老祝賀会
実施フロア	各ユニットで獅子舞を披露し、記念品をお渡しする。	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	全入居者様
各フロアのユニットを回り、獅子舞を実施、ご入居者様も喜んでおられた。記念品もお渡しし嬉しそうにされていました。		
実施日	令和4年9月30日	外出で猪名川総合公園に行く
実施フロア	外出し気分転換をおこなう	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	2名
久しぶりの外出で楽しまれていました。良い気分転換になったと思う。		
実施日	令和4年10月15日	秋の味覚の梨を召し上がっていただく
実施フロア	季節を感じて頂けるよう、季節のフルーツの梨を召し上がっていただく。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	全ご入居者様
季節のフルーツで梨を召し上がっていただいた。食べやすく、美味しいと召し上がられしていました。		
実施日	令和4年10月14日	外出で猪名川総合公園に行く
実施フロア	気分転換に外の空氣に触れてもらう。猪名川総合公園に外出。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	2名
久しぶりの外出で楽しまれています。良い気分転換になったと思う。		
実施日	令和4年10月17日	気分転換に外に出ましょう
実施フロア	猪名川総合公園に外出し、気分転換をしてもらう。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	2名
久しぶりの外出で楽しまれています。良い気分転換になったと思う。		
実施日	令和4年10月20日	気分転換に外に出ましょう
実施フロア	猪名川総合公園に外出し、気分転換をしてもらう。	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数	8名
天気も良く、「外の空氣や景色、雰囲気が気持ちが良い」と好評でした。		

実施日	令和4年10月21日	クレープを召し上がっていただく
実施フロア	普段召し上がれないおやつを召し上がっていただく	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	入居者様全員
普段召し上げれない、クレープを作り召し上がっていただいた。とても美味しいと好評でした。		
実施日	令和4年10月21日	秋の遠足
実施フロア	猪名川総合公園で散歩をする。	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	2名
外への外出も久しぶりにて、景色を楽しまれたり、施設で過ごされる笑顔とまたちがった一面をみることができ嬉しく感じました。		
実施日	令和4年10月20日	秋の遠足
実施フロア	公園で散歩しよう	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	9名
「外の風気持ちいいわ」と笑顔で散歩を楽しんで下さいました。外へ出ることがこんなにも喜んでいただけ職員も大変嬉しく思いました。		
実施日	令和4年10月22日	チーズケーキを作って食べる
実施フロア	チーズケーキを作って召し上がっていただく	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	7名
普段食べれないチーズケーキを作って召し上がっていただいた、美味しいと喜んでいただけた方もおられたが、甘さが控えめだったこともあり、不評のご入居者様もおられた。		
実施日	令和4年10月24日	猪名川総合公園に外出
実施フロア	猪名川総合公園で散歩をする。	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	6名
雨が降ったこともあり、ドライブでの外出となつたが、それでも、外出ができた事で、ご入居者様は、喜んでおられました。		
実施日	令和4年10月25日	猪名川総合公園に外出
実施フロア	猪名川総合公園で散歩をする。	
特養4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	5名
午前中は、散歩を楽しましたが、午後は、公園について写真撮影した後に、雨が降ってきたため、急遽散歩をあきらめ、ドライブを楽しんで頂いた。		

実施日	令和4年11月11日	たこ焼きを作つて食べる
実施フロア	特養4階	たこ焼きを作つて召し上がっていただく
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	おやつにたこ焼きを焼いて、召し上がっていただいた。美味しいと大変好評でした。	参加人数 入居者様全員
実施日	令和5年1月13日	クリスマス会
実施フロア	特養2階	クリスマス会を行う
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	12月に実施予定であったクリスマス会であったが、コロナで実施ができず、遅れてのクリスマス会を実施、写真撮影とプレゼントの配布を実施。プレゼントにすごく喜んでいただけた。	参加人数 入居者全員
実施日	令和5年2月2日	新年会
実施フロア	各フロア	新年会を行い、新年のお祝いを行った。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	今年は、新型コロナで1月1日に新年会ができなかつたが、少し遅れての新年会を開催した。駄菓子などのおやつを何種類か選んでいただき、召し上がって頂くイベントを実施。とても喜んでいただけた。	参加人数 入居者全員
実施日	令和5年2月3日	節分の豆まき
実施フロア	特養3階	季節を感じていただけるよう、節分の豆まきをして頂く。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	久しぶりに大きな声をだして楽しまれていました。	参加人数 全入居者様
実施日	令和5年3月2日	甘酒を召し上がっていただく
実施フロア	特養3階	甘酒を召し上がっていただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	美味しい甘酒を召し上がっていただいた、温かくておいしいと皆さん喜ばれていました。	参加人数 入居者様全員
実施日	令和5年3月30日	春の遠足
実施フロア	特養4階	春の遠足を実施、総合公園に散歩に出かける。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	久しぶりに外出ができるとても楽しまれていました。	参加人数 9名



## 入居計画委員会 総括 資料

### ①入居待機者数(令和5年3月31日現在)

計 89名の待機者の内訳…平均要介護 3.3

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2	16	33	29	9

### ②月別入退居者数

令和3年度

月	入居	退居	譲り去	月別入居率
4月	3	0	0	98.76%
		0	0	
5月	0	0	0	100.00%
		0	0	
6月	2	3	0	99.73%
		3	0	
7月	1	1	1	99.24%
		2	0	
8月	1	2	0	98.80%
		2	0	
9月	4	2	0	99.00%
		2	0	
10月	4	2	3	98.86%
		5	0	
11月	3	2	1	98.21%
		3	0	
12月	2	0	3	97.16%
		3	0	
1月	5	2	1	97.45%
		3	0	
2月	3	1	2	98.47%
		3	0	
3月	2	2	1	98.74%
		3	0	
計	30	29	0	
月平均	2.5	2.40	0	98.70%

令和4年度

月	入居	退居	譲り去	月別入居率
4月	4	3	3	97.70%
		6	0	
5月	3	0	1	97.18%
		1	0	
6月	1	2	0	98.24%
		2	0	
7月	0	1	0	96.80%
		1	0	
8月	0	5	1	93.58%
		6	0	
9月	1	2	0	91.27%
		2	0	
10月	6	2	1	92.90%
		3	0	
11月	3	1	1	92.67%
		2	0	
12月	4	1	1	95.13%
		2	0	
1月	3	5	1	93.52%
		6	0	
2月	0	3	0	91.04%
		3	0	
3月	7	1	0	92.82%
		1	0	
計	32	35	0	
月平均	2.7	2.69	0	94.40%

## (2) 短期入所生活介護施設運営事業<ショートステイ>

### 事業報告

R4年度12月には感染対策を行っていたにも関わらず、不十分な点があった為、2Fフロアでコロナ感染者が蔓延し、ショートステイを2週間に渡って完全閉鎖する事となりました。閉鎖する事でご家族様、居宅様には多大なるご迷惑をかける形となりましたが、日頃の関係性からか逆に施設や職員を心配する温かいお言葉を聞くこともできました。今回の事を踏まえ、感染対策に対する日々の心掛けを忘れることなく、手指消毒、換気、適度な距離感、より一層意識を高く持って、安全なショートステイ運営に努められればと思います。

### 相談業務及び援助

コロナ禍のなか、担当者会議なども書面での意見照会などの場面が増え、ご自宅でのご利用者様の表情、ご家族様の表情などが見えにくくなっているため、利用中、些細なことでも気になる事があれば、電話連絡を行い、今まで以上にコミュニケーションを図るよう心掛け、話しやすい関係性を築くことが出来たと思います。

### 稼働率の安定

一年を通して稼働を安定させることが出来たと思います。

急な問い合わせなどにも柔軟に対応し、また、定期利用に繋がるよう、特に新規利用からの次の問合せに関しては、なるべくお断りすることがないよう努め、定期利用を増やすことを目標に一年間やってきたことが、結果、数字として形にすることが出来たと思います。

### 健康管理

日々の健康観察やご様子から初動の段階で気付きを踏まえて、主治医に相談しご家族様や居宅のケアマネジャーに報告、ご自宅での様子の確認を行いながら、安全に過ごす事ができるよう努めてまいりましたが、ご高齢者のご様子の観察は非常に難しく、急に心肺停止で救急搬送となる事例や、ご利用中に食事量の低下で状態が悪化され、主治医に来訪いただき点滴加療を実施する事例などが発生した、振り返りを大切に、次に繋げられるよう努めるとともに、きめ細やかな状況確認と医療との連携を図って参ります。

### レクリエーション・機能訓練

感染対策の最中、以前と比べると「楽しみの提供」の形は変わってきていると思いますが、ご利用者様の笑顔に繋げられるよう、また、要介護状態になっても出来ることを探し、ご本人様にもご家族様にも自信になるような楽しみを職員一同情報共有しながら提供できたと思います。

### (3)通所介護事業施設運営事業<デイサービス>

#### 事業目標

令和4年度も、引き続き新型コロナウイルスの感染対策を実施中ではありましたが、夏に、ご利用者様、職員間で感染が蔓延するという事態になりました。事業所内で感染者が増えているという事、今集団で過ごす事のリスクの高さを、全てのご家族様・ご利用者様にご説明し、それでもご利用頂ける方々のみを受け入れましたが、その月は大きく稼働率を落とす事となりました。その後、通常営業に戻せたものの、一度大きく落とした稼働率の回復は難しく、加えて入院、入所、ご逝去となりご利用が中止となるご利用者様も多く、令和5年1月には60%台まで稼働率を落とす事となりました。年間を通して稼働率が低迷する結果となり、計画していた目標に対して反省点の多い一年でもありました。

#### 稼働率の安定

上記でも述べたように、稼働率が低迷する1年となりました。春先から伸び悩んでいた稼働率を、夏には、ご利用者様、職員間での新型コロナウイルス蔓延さらに大きく落としてしまい、体調不良が続くご利用者様や、入院、入所、ご逝去が重なり、稼働率低下に拍車がかかりました。デイサービス体験のご依頼も春先から少ない状況で、ご新規に繋ぐこともままならない時期が続きました。デイサービスの現場職員は、行事やレク、開わりにおいて、質を落とす事無く頑張ってくれていました。その点を、どのように外部のケアマネジャー様、ご家族様に、目で見て分かって頂けるように、アピールポイントとなる写真を載せたチラシを作成していました。加えて、現在お取引のあるケアマネジャー様が在籍する事業所への営業や、お取引のない事業所へ足を運び、営業により「デイサービスやわらぎの里清和台」の認知度を上げる取り組みを始めました。今年に入り反応が見られ新規の契約が伸びています。次年度も出来る事はすべて実施し、ひとつでも多くの新規のご依頼を頂く事を目標に頑張ってまいります。

#### 健康管理

体温、血圧、脈拍、体重測定、皮膚状態の観察などの、介護職と医療職の連携も、毎年の積み重ねで、今年度も問題なく実施出来ておりました。

#### レクリエーション

今年度も、静レク・動レク・食レクという3つのレクリエーションを主軸に、1年を通して実施する事ができました。毎月月初のお赤飯、炊き込みご飯、ご当地おやつ等、コロナ禍で外出のレクリエーションが出来ないため、「食」に関するレクリエーションを充実させる事が出来ました。

#### サービスの質の向上

退職した職員の補充ができず、派遣職員を採用することで、人員不足を乗り切っていますが、その対応も長くは続けれられないため、直接雇用に切り替えるか、もしくは求人を出して直接雇用出来る職員を採用して、人員の安定を図りたいと考えております。

○デイサービスご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月4日・5日	お花見弁当
実施フロア	職員でお弁当を盛り付けご利用者様に提供。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 21名、23名 彩りがキレイ。春らしいと、喜んで頂け楽しそうなご様子が伺えた。	
実施日	令和4年5月4日・5日	端午の節句
実施フロア	ゲーム・鯉のぼり作りを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 22名、21名 作品の兜を見て可愛いね、等お声が聞けた。 複数のゲームも出来て楽しかったとお声を頂けた。	
実施日	令和4年5月20日・21日	ショコラブリュレ
実施フロア	スタッフが作るが、最後のラグドシャをご利用者様に碎いて乗せてもらう。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 24名、22名 甘すぎず美味しかったと、いつも残す方が完食していた。	
実施日	令和4年6月6日・7日	フルーツサンド
実施フロア	ご利用者様にトッピングして頂き召し上がって頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 22名、22名 美味しかった、もっと食べたかったとお声があつた。	
実施日	令和4年6月17日・18日	焼きそば
実施フロア	職員が調理し、屋台で運び雰囲気を味わっていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 23名、23名 屋台で持ってきてもらうのが良かった。美味しかったとお声が聞けた。	
実施日	令和4年7月6日・7日	七夕行事
実施フロア	ゲーム、作品作りやクイズを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数 20名、22名 作品作りを楽しんだり、クイズの答えに驚いたり、笑つたりと盛り上がられた。	

実施日	令和4年7月15日・16日	クリームあんみつ
実施フロア	あんみつ等素材を分けておき、トッピングして頂き、召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	23名 24名
		美味しかった、また食べたいとお声が聞けた。
実施日	令和4年8月22日・23日	かき氷アイス乗せ
実施フロア	職員で準備し、召し上がって頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	20名 24名
		冷たくて美味しいかったと喜んで頂けた。
実施日	令和4年8月12日・13日	納涼祭
実施フロア	的当てや輪投げ・ゲームなどを実施。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	20名 26名
		ゲームやたこ焼きなど、コロナ禍でも炭坑節や、納涼祭を楽しんで頂けた。
実施日	令和4年9月7日・8日	白玉フルーツポンチ
実施フロア	職員が素材を用意し、ご利用者様でトッピングして頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	18名 25名
		さっぱりして美味しいフルーツポンチが食べれたと喜んで頂けた。
実施日	令和4年9月19日・20日	敬老会
実施フロア	獅子舞やスタッフの出し物を楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	27名 21名
		敬老会に感動したご利用者様が代表してスタッフに対してお礼の言葉をくださった。
実施日	令和4年10月12日・13日	運動会
実施フロア	各種ゲームを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	16名 28名
		勝負事になるとご利用者様も熱されていました。

実施日	令和4年10月21日・22日	パンバイキング
実施フロア	職員で用意し、バイキング形式で選んでいただく	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	20名 23名
		色々なパンがあり、美味しかったと喜んで頂けた。
実施日	令和4年11月9日・10日	さつまいも蒸しパン
実施フロア	素材を準備しご利用者様でトッピングして頂く	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	16名 24名
		手作り感がいっぱいと美味しかったと感想を頂けた。
実施日	令和4年11月21日～26日	紅葉ドライブ
実施フロア	コロナ禍の為下車なしで紅葉ドライブを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	21日9名 22日11名 23日10名 24日9名 25日10名 26日5名
		下車無しだったがドライブを楽しんで頂けた。
実施日	令和4年12月24日・26日	クリスマス会
実施フロア	ゲームやスタッフの出し物を楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	24名 24名
		ハンドベルやbingoゲーム、プレゼントなど、楽しんで頂けた。
実施日	令和5年1月4日・5日	新春会
実施フロア	獅子舞演舞や、ゲームを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	19名 20名
		獅子舞が迫力あり、ゲームも楽しかったとお声を頂けた。
実施日	令和5年1月20日・21日	コロコロあんこ餅
実施フロア	丸めて頂いたり、盛り付けをして楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用者様の声	参加人数	17名 21名
		美味しく、見た目も味も良かつたと喜んでおられた。

実施日	令和5年2月6日・7日	節分
実施フロア	豆まきゲームなどを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 24名 19名		
豆まきの時などご利用者様も白熱され楽しんでおられた。		
実施日	令和5年 2月22日・23日	バレンタインケーキ
実施フロア	職員が素材を準備し、トッピングして頂く。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 18名 24名		
盛り付けも楽しく、美味しかったとのお声を頂けた。		
実施日	令和5年3月3日・4日	ひな祭り
実施フロア	お抹茶や和菓子、ゲームを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 22名 22名		
お抹茶やゲーム、楽しかったとお声を頂けた。		
実施日	令和5年3月13日・14日	ガトーショコラ
実施フロア	職員が素材を準備し、トッピングして頂く。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 24名 24名		
普段おやつを残す方が、完食してくださる。		
実施日		
実施フロア		
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 名 名		
実施日		
実施フロア		
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 名 名		

やわらぎの里 清和台 医務室

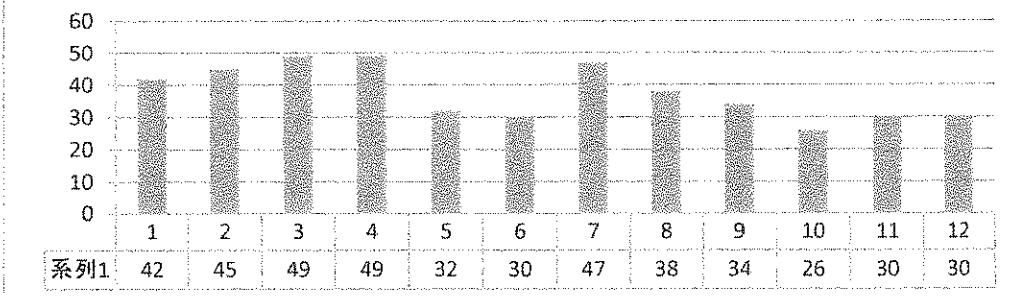
令和4年度 総括

医療状況

月別受診件数

受診件数	
4月	42
5月	45
6月	49
7月	49
8月	32
9月	30
10月	47
11月	38
12月	34
1月	26
2月	30
3月	30
合計	452

### 受診件数(452)

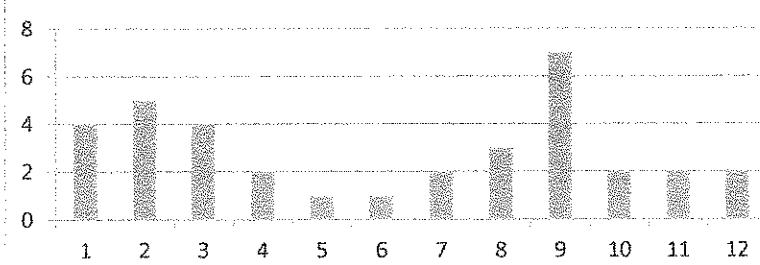


月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃瘻交換	その他
4月	0	14	4	7	0	7	2	4	2	0	2
5月	0	10	6	5	1	8	4	5	1	0	5
6月	0	15	4	10	1	6	0	4	3	0	6
7月	2	13	10	4	0	9	1	5	3	0	2
8月	2	6	2	6	1	2	0	5	1	1	6
9月	0	9	3	4	0	2	0	4	6	0	2
10月	0	17	5	6	3	1	1	5	5	0	4
11月	0	12	6	4	1	3	1	4	4	0	3
12月	0	11	6	5	1	2	1	4	4	0	0
1月	3	3	5	2	2	1	1	4	2	0	3
2月	1	4	6	6	1	2	2	3	2	0	3
3月	0	4	3	5	1	0	2	4	5	1	5
合計	8	118	60	64	12	43	15	51	38	2	41

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	4
5月	5
6月	4
7月	2
8月	1
9月	1
10月	2
11月	3
12月	7
1月	2
2月	2
3月	2
合計	35

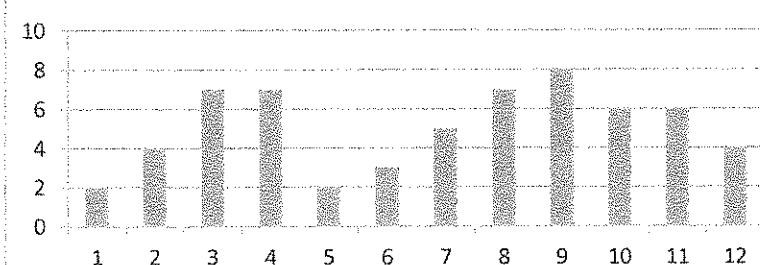
### 救急搬送件数(35)



救急搬送内訳	件数
誤嚥	0
熱発	11
吐血／喀血	0
転倒(骨折・外傷)	1
脳梗塞	1
呼吸、意識不良	15
痙攣	0
心肺停止	2
低血糖	0
嘔吐、下痢	2
腹痛	1
他	2

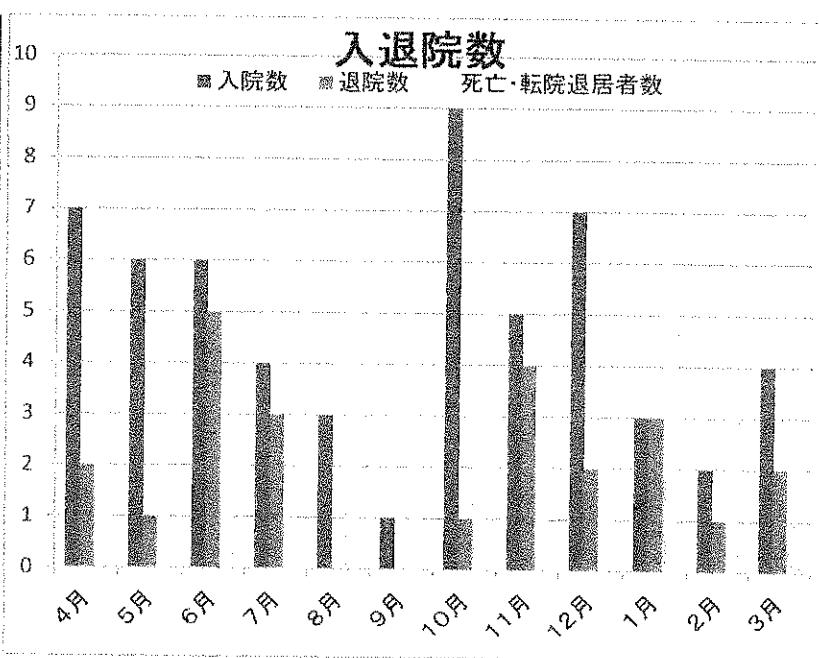
オンコール件数	
4月	2
5月	4
6月	7
7月	7
8月	2
9月	3
10月	5
11月	7
12月	8
1月	6
2月	6
3月	4
合計	61

### オンコール件数(61)



オンコール件数内訳	件数
転倒	15
薬関係	3
熱発	15
その他	28
合計	61

	入院数	退院数	死亡・転院退居
4月	7	2	6
5月	6	1	1
6月	6	5	2
7月	4	3	1
8月	3	0	6
9月	1	0	3
10月	9	1	3
11月	5	4	2
12月	7	2	2
1月	3	3	6
2月	2	1	3
3月	4	2	1
合計	57	24	36



医療処置対象者	
胃瘻	1
尿バルーン	3
インスリン	2
在宅酸素	0

医療状況の前年度との比

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
受診	527	592	586	569	548	622	462	518	452
オンコール	74	152	140	151	116	83	95	145	61
救急搬送	36	47	39	54	56	55	35	39	35
入院	63	74	70	92	99	75	52	67	57
退院	40	51	47	67	57	45	26	44	24
退居	21	31	22	30	41	38	26	27	35
心肺停止	2	1	2	3	2	1	2	1	2
診療情報提供書	115	130	110	150	148	144	115	119	95
歯科往診(口腔診査) (治療)		291	174 127	186 94	169 111	145 141	110 131	223 164	412 113

1. 1年間の医療状況の表より

・受診件数の減少は、バルーン使用者のトラブルによる泌尿器科受診の減少によるところが大きな要因で、バルーンカテーテル留置者の水分摂取強化やマルキング施行などトラブル回避の策が功を奏しています。また、転倒に伴う外傷による外科受診も減っています。

夜間転倒のオンコールも減っており、転倒からの骨折入院も減っています。

ADLに合わせて居室レイアウト変更や歩行器使用に切り替えるなど転倒リスクを減らす対策を行っています。

反対に脳外科受診数の増加は、認知症の定期受診によるもので心療内科と合わせて専門科でのフォローをきめ細かく行う必要のある認知症の方が多くいらっしゃいます。また認知症の周辺症状の悪化により薬剤調整のための人院など、認知症のさまざまな症状に適切に向き合う為増加しております。

・誤嚥性肺炎で入院された方は、昨年の20名から12名に減少しています。

歯科医による口腔検査・歯科衛生士による定期口腔ケアを受ける方が増えてきており、口腔内の清潔を保つことや、「誤嚥性肺炎について」「口腔ケアの必要性について」の資料研修を実施したことにより誤嚥性肺炎を併発される方が減ったと考えられます。

・摂食不良で入院された方は10名で昨年と大差ではなく、入院後摂食障害により退居となっています。

食事形態見直し・栄養補助食品の活用など対策をこまめに行いながら出来る限りの対応を行いました。

・オンコールの件数は、転倒が減ったことによることと、血圧変動に伴う個別対応を行っていた方の退居により減少が見られます。

・対象数に大きな変動はないもののバルーンカテーテル留置やインスリン注射などの医療ニーズにも対応しています。

上記の考察を踏まえ、次年度についても、医療ニーズの高いご入居者様へのアプローチをしっかりと実施し、より安心して生活頂ける体制を整えて参ります。

## R4年度 感染対策委員会 総括（清和台）

### 今年度の感染症発生状況

・新型コロナウイルス感染	:ご入居者様36名 職員39名 職員家族41名
・新型コロナウイルス濃厚接触認定者	:職員32名 職員家族94名
・インフルエンザ	:職員1名 職員家族5名
・ノロウイルス	: ご入居者様 職員 職員家族 なし

### コロナワクチン接種率(職員)

1回目 97.2% (142名/146名)	2回目 98%(144/147)	3回目 96%(147/153)
4回目 84.1% (122/145)	2価型	77.7%(108/139)

平成31年度から3年以上にわたりコロナウイルス感染対策を行ってきましたが、今年度は初めて施設内でのクラスター発生を経験することとなりました。

第8波のピークを迎えた12月、フロア職員の感染から職員5名・ご入居者様6名への感染拡大となり、時を同じく他フロアでも職員の感染から、それぞれ職員3名・ご入居者様9名、職員16名・入居者様21名へのクラスターとなり、6名のご入居者様がコロナ肺炎により入院されました。感染されたご入居者様で軽症の方は、入院することは出来ず施設内で治療を行う事となり、感染者と非感染者の両方の身体介護を行うことになりました。コロナウイルス発生当初から続けていたアルコール消毒液による随時消毒、常時換気に加え、衛生区域・非衛生区域のゾーニングから各フロアの通勤ルートが重ならないように出入り口の仕分け、職員の出勤時の抗原検査、標準の感染予防とそのためのゴミ箱設置、使い捨て食器の使用、全ご入居者様の居室対応を行いましたが、最初の職員の陽性判明翌日からご入居者様・職員が発症し始め次々と感染者が増えていく状況で感染力の強さを目の当たりにする事となりました。感染した職員は10日間自宅療養となり、同時期に各フロアで発生となつたことで、3フロア共に職員不足のため対応が後手に回ってしまい、結局完全終息までは1ヶ月を要する事態となつたことは反省点として、今後の対策に繋げていかなければならぬと思います。感染者の拡大は、職員による媒介の可能性も高いため、クラスター終息後に介護職員・機能訓練士・清掃職員などご入居者様と直接関わる職員のガウンテクニックの実地指導を行い、ご入居者様と自分自身を守る対策が出来ていたのか振り返り、今後の感染対策への意識付けを行いました。

5月からコロナウイルス感染は5類相当となり、正常な日常が戻ってくる兆しがあります。高齢者施設においては、まだ気を抜くことは出来ません。コロナ感染者の増加が見られている中、上記にあるとおりコロナワクチン接種率は徐々に低下しており、職員個々の健康管理・感染対策への意識を高め、知識構築・スキル向上につながる研修を継続的に行っていく必要があると感じています。

次年度も手洗いチェックによる正しい手洗い方法や感染症テストなども継続的に実施すると共に、職員の感染対策の意識向上に努めるため、今年度の教訓をもとに、新たな研修方法を考え実施して参ります。

## 事故報告及び出来事報告(R4年4月～R5年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打撲・捻挫・脱臼	受診	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4	1	10
	経過観察	4	7	4	4	2	4	2	1	6	3	3	5	45
切傷・擦過傷	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	6
異食・誤嚥	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	6
やけど	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の外傷	受診	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
食中毒	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症・結核の伝染	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフの読書不鮮明	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬・服薬忘れ	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	2	1	0	3	0	0	3	3	0	2	2	16
その他(外傷なし)	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	2	3	1	2	0	0	4	0	2	1	1	1	17
発生後、受診総数		1	0	1	2	0	3	1	2	0	1	4	1	16
発生後、経過観察総数		7	14	7	8	6	4	6	6	11	4	9	11	93
計														0

令和4年4月～令和5年3月までに発生した件の誤薬・与薬忘れについて

- ①誤薬・与薬忘れ 16件
- ②骨折事故 3件

### 総括

今年度も事故の内容の振り返り、対策の再検討を実施。昨年度と比較すると事故件数も減少となっている。継続した事例検討や、話し合える場面を持てた事で、日々の危険予測につながっているのではないかと考えています。

各職員が、施設内で起こりえる事故を理解して日々の業務に対応する事で、少しでもご入居者様・ご利用者様の大きなケガにつながらないよう取り組んでいきたいと考えています。

次年度についても、引き続いての事例検討や、毎月の事故内容の確認と対策防止の再検討を実施して参ります。

## 身体拘束防止委員会 総括

今年度も目標である「身体拘束0」を継続して達成できております。

身体拘束ゼロを継続できていることから、今年度は、接遇面について再度見直しを一年間の目標として実施して参りました。

日々の中で、小さな気づきを大切に、身だしなみや、ご入居者様・ご利用者様への接し方など、細かな気配りを大切に、基本に立ち返り毎月確認と教育を実施。

コロナ禍で集まつての研修は実施できませんでしたが、レポート形式で研修を実施し接遇について、改めて振り返る機会となったと考えます。

今後も定期的な振り返りを実施して、身体拘束だけでなく接遇面についても教育を実施して参ります。

令和4年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベッドに脚による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンによる拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柵の固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抑制ベルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つなぎ服着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



# やわらぎの里東谷

＜令和4年度＞

(自)令和4年4月1日～(至)令和5年3月31日



# やわらぎの里 東谷

## 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)

### (1) ユニットケアの充実

ユニットケア型施設として、ご入居者様がご自宅で営む『ごく普通の生活』を継続していただけるようにサービスの提供に努めました。

ご入居者様それぞれの生活習慣や嗜好を尊重し、今までと変わりのない暮らしженが出来るようにすると共に、ご入居者様がご自身の役割や存在意識を見出し、生きがいを感じていただく事ができる様に支援してまいりました。また、コロナ禍におけるイベントについてもユニットごとに個性を持ってお一人おひとりのご入居者様に寄り添うようなサービスの提供に努めました。

### (2) 入居生活率の維持

(1)誤嚥性肺炎の予防の取り組みとしては、

- ①食事形態や水分のトロミ等の見直しを適切なタイミングで行うこと。
- ②口腔ケアの方法についての見直し、を目標としました。

①は状態変化のタイミングでの報連相に加えて、サービス担当者会議の場も活用し、課題として明確になる前に、専門職同士の情報共有の中で早期に気付いて対応出来たことも多く、一定の効果が得られたと考えています。  
②に関しては、現状把握(義歯の有無、残歯、ケアの手段等)の内容、方法を検討している段階です。

(2)コロナ禍で直接面会や退院前のカンファレンスなどがほとんど無い中、医療機関の地域医療連携室と密接に連携を図り、退院後に想定されるリスクの確認や再入院の予防策案を検討してまいりました。

また、ご家族様とも密に連絡を取り、小さな異変でも早期の受診を検討するなど不要な入院を予防する施策を実施いたしました。

(3)老人保健施設や居宅介護支援事業所と更なる連携を図り、退院の情報から面談、居室の準備、契約を早期に行い、ご家族様が少しでも早く安心して生活設計を行い得るように支援してまいりました。

### (3) コロナ禍だからこそできるレクリエーションの提供

新型コロナウイルスが猛威を振るい、ご入居者様、職員に陽性者がいる中でもご入居者様に生きがいを持って生活を送っていただく為に、月例で開催している行事計画運営委員会における「特養全体としてのレクリエーションの提供」だけでなく「ご入居者様が暮らされるフロア独自のレクリエーション」の取り組みを推奨しご入居者様の意向に沿った外部からのお取り寄せの提供などフロアごとの楽しみの提供を行いました。

### (4) 接遇マナー向上への取り組みの継続

日々、ご入居者様と接する際には介護職員としての知識や技術だけでなく、「気持ち」をもってご入居者様へサービスの提供に努めてまいりました。思いやりの気持ちを言葉や態度で表現できなければ、どれだけ素晴らしい技術も『快護』にはなりえないとの考えを持って、ご入居者様が不安や悲しみ、怒りなどを感じてしまわれる事にならないように、ご入居者様お一人おひとりの気持ちに寄り添うケアの提供に努めました。また、接遇マナーの向上の為に月例で開催している研修等を通じて職員全員が接遇マナーの重要性を認識できる様、努めました。

### (5) リスクマネジメントの強化への取り組み

日々の介護の中で残念ながら起きる介護事故に対して事故件数だけで評価するのではなく、防げる事故か、防げない事故かを明確にし、事故の質を評価した上で再発防止への取り組みを進めてまいりました。事例検討や個々のカンファレンス等を通して、スタッフ一人ひとりが事故を分析し、予防する事が出来る様に努めました。

# やわらぎの里 東谷 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和5年3月末日現在)

年 齢

男性	77.29歳
女性	83.97歳
全体	82.53歳

最高齢者	103歳
最低齢者	69歳

介 護 度

2階	3階	4階	全体
3.37	3.08	3.30	3.23

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	19	37	25	12	97
比率	4.1%	19.6%	38.1%	25.8%	12.4%	100%

介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	2	7	4	28	56	97
比率	2.1%	7.2%	4.1%	28.9%	57.7%	100%

保険者

川西市	55人	56.7%	奈良市	2人	2.1%
能勢町	4人	4.1%	大阪市	3人	3.1%
猪名川町	21人	21.6%	枚方市	1人	1.0%
豊能町	2人	2.1%	丹波篠山市	1人	1.0%
伊丹市	1人	1.0%	神戸市	2人	2.1%
芦屋市	1人	1.0%			
大和郡山市	1人	1.0%			
三田市	2人	2.1%	合計	97人	100%
富田林市	1人	1.0%			

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月9日	おやつレク
実施フロア	ドーナツにクリームといちごをトッピングして提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
いちごと生クリームが食欲をそそり、少々ボリュームがありましたが、皆様ペロッと平らげておられました。		
実施日	令和4年5月11日	おやつレク
実施フロア	施設の当日のおやつ(どら焼き、黒ゴマプリン)に生クリームとフルーツをトッピングして提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 17名	
普段のおやつがワンランクアップし、皆様「美味しいね」と喜んでくださいました。		
実施日	令和4年5月27日	おやつレク
実施フロア	ユニットのスタッフが、ご入居者様のご希望を伺い市販のおやつ(プリンなどのスイーツ)を購入し提供しました。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
皆様、普段食べたことのないおやつを召し上がられ、満足気な表情をされていました。数種類の中から好きなものを選んでいただくのも「楽しかった」と仰られていました。		
実施日	令和4年5月28日	おやつレク
実施フロア	ユニットのスタッフが、ご入居者様のご希望を伺い市販のおやつ(プリンなどのスイーツ)を購入し提供	
3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
皆様、普段食べたことのないおやつを召し上がられ、満足気な表情をされていました。数種類の中から好きなものを選んでいただくのも「楽しかった」と仰られていました。		
実施日	令和4年6月17日	おやつレク
実施フロア	手作りのオレンジゼリーの上に生クリームとカットオレンジを飾りでトッピングし提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
この時期にぴったりな見た目にも涼やかなデザートで、皆様口どけの良いゼリーと生のオレンジを堪能されていました。		
実施日	令和4年6月18日	おやつレク
実施フロア	アイスクリームにチョコソースをトッピングして提供しました。	
4階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
普段中々食べる機会の少ないバニラアイスクリームにチョコレートソースのトッピング。黄金の組み合わせで皆様「冷たくて美味しいわ」と好評でした。		

実施日	令和4年6月23日	おやつレク
実施フロア	6月の和菓子『水無月』を一から手作りし提供しました。	
4階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
季節を感じられる目にも涼しげな和菓子で皆様に好評いただきました。		
実施日	令和4年6月25日	おやつレク
実施フロア	ユニットのスタッフが、ご入居者様のご希望を伺い市販のおやつ(プリンなどのスイーツ)を購入し提供しました。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
皆様、普段食べたことのないおやつを召し上がり、ご好評いただきました。数種類の中から好きなものを選べて「嬉しかった」と仰られていました。		
実施日	令和4年6月28日	おやつレク
実施フロア	ユニットのスタッフが、ご入居者様のご希望を伺い市販のおやつ(プリンなどのスイーツ)を購入し提供しました。	
3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
皆様、普段食べたことのないおやつを召し上がり、満足気な表情をされていました。数種類の中から好きなものを選んでいただくのも「楽しかった」と仰られていました。		
実施日	令和4年7月18日	おやつレク
実施フロア	かき氷を作って、お好みのシロップで召し上がっていただきました。	
4階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
好みのシロップをご入居者様に選んでいただき、召し上がっていただきました。やはり宇治金時が一番人気でした。昔を懐かしんで召し上がっておられる方もいました。		
実施日	令和4年7月20日	おやつレク
実施フロア	市販のういろうを購入し、提供しました。	
4階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
皆様、「昔食べたことがある」と仰られ喜ばれていました。		
実施日	令和4年7月21日	おやつレク
実施フロア	アイスクリームにフルーツをトッピングし提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
アイスクリームを数種類の中から選んでいただき、「どれにしようかな」と楽しみながら迷っていました。桃とメロンのトッピングも豪華で色味も可愛く「きれいねえ」と喜ばれていました。		

実施日	令和4年10月22日	和菓子
実施フロア	猪名川町の和菓子専門店「うませ」の練りきりと水ようかんを提供しました。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 100名	
暦に合わせて作られた目にも楽しい和菓子を召し上がっていただき、「栗やね。紅葉やねきれいな色やね。」と皆様喜んでくださいました。		
実施日	令和4年10月25日	ハロウィンパーティー
実施フロア	ハロウィンモチーフのケーキとプリンを購入し、ソフトリンクと共に提供しました。	
4階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
ハロウィンのコスチュームを着た職員が紙芝居を行い、見た目に楽しいハロウィンのケーキとプリンを召し上がっていただき、皆様とても喜ばれていました。		
実施日	令和4年12月16日	出前のお弁当を楽しむ。
実施フロア	音羽寿司のお弁当数種類の中から、ご入居者様に好きなものを選んでいただき昼食時に提供	
4階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
天ぷらや和風ハンバーグ、煮魚など好みのおかずが沢山入った豪華弁当を召し上がり、大変好評をいただきました。		
実施日	令和4年12月16日	クリスマスパーティー
実施フロア	職員による紙芝居とクリスマスソングの合唱を行った後、ケーキやプリンを提供しました。	
4階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
歌がお好きな方が多いユニットなので、皆様クリスマスソングと一緒に歌ってくださいました。クリスマスモチーフのケーキやプリンはとても可愛く、「可愛い！甘くて美味しいわ」と喜んでくださいました。		
実施日	令和4年12月23日	クリスマスパーティー
実施フロア	職員と一緒にクリスマスソングを合唱し、ケーキを提供しました。	
4階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
毎日歌を唄ってくださるご入居者様が多いユニットなので、クリスマスソングの合唱は大変盛り上がりました。季節感のあるおやつで皆様大変喜ばれていました。		
実施日	令和4年12月23日	クリスマス会
実施フロア	各ユニットでサンタの服を着た職員がご入居者様にクリスマスプレゼントをお届けし、おやつにケーキとジュースを提供しました。	
3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 40名	
自らサンタのコスチュームを着たいと名乗り出てくださるご入居者様もおられ、記念撮影をするなど大変楽しんでくださいました。		

実施日	令和4年12月24日	クリスマス会
実施フロア	bingo大会を行い、プレゼントをお渡しする。おやつにクリスマスケーキを提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 20名
「bingo！」と仰られ、景品を手にし、喜んでおられる方もおられました。職員のサンタのコスチュームをご覧になり「可愛らしいな」と仰られていました。		
実施日	令和5年1月1日	お屠蘇
実施フロア	2階、4階はコロナ感染対応中にて3階フロアのみ実施。	
3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 40名
新年のご挨拶と共に、皆様にお正月の季節を感じていただくことができました。		
実施日	令和5年1月18日	もちつき
実施フロア	日本の伝統行事の雰囲気を観て感じていただきました。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 100名
マイクを持ち「よいしょ！」と掛け声をかけてくださったり、杵をふるってくださったりと大きな声や笑顔が溢れる楽しいひとときを過ごされていました。		
実施日	令和5年2月3日	節分行事
実施フロア	各フロアで職員が鬼に扮装し、ご入居者様が豆に見立てた紙玉を鬼に向かって投げられ鬼退治をしてくださいました。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 100名
普段物静かな方も、ここぞとばかりに「鬼はそとー」と勢いよく鬼役の職員に玉を投げつけ、皆様大興奮のイベントとなりました。節分にちなんだ鬼の和菓子も「かわいいー」と大好評でした。		

実施日	令和5年2月14日	おやつレク
実施フロア	バレンタインデーにちなみ、施設のチョコレートのおやつに生クリームとチョコスプレーをトッピングして提供しました。	
4階ABユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無) 参加人数 20名 カラフルなチョコスプレーのトッピングをご覧になられて「かわいいな…」と喜んでくださいました。	
実施日	令和5年2月25日	おやつレク
実施フロア	手作りのホットチョコレートを提供しました。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数 16名	
寒い季節のほっとするおやつで喜んでくださいました。		
実施日	令和5年3月31日	おやつレク
実施フロア	施設のおやつに生クリームといちごをトッピングして提供し、春の訪れを感じていただく。	
2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)	参加人数 16名	
生クリームといちごは間違いないしの組み合わせて、甘酸っぱいいちごと生クリームでいつものおやつもワンランクアップし、皆様あつという間に平らげておられました。		

# 入居計画委員会 総括 資料

## ①入居待機者数(令和5年3月31日現在)

計 107名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
8	15	47	29	9

## ②月別入退居者数

令和4年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	2	1	1	99.70%
		2		
5月	1	0	2	99.03%
		2		
6月	2	2	1	99.00%
		3		
7月	3	1	1	99.06%
		2		
8月	1	1	0	99.48%
		1		
9月	4	2	1	99.17%
		3		
10月	0	2	0	99.74%
		2		
11月	4	4	2	97.50%
		6		
12月	5	1	1	97.61%
		2		
1月	2	5	0	98.74%
		5		
2月	3	3	0	96.32%
		3		
3月	6	3	2	98.06%
		5		
計	33	36		
年平均	2.75	1.75		98.62%

令和3年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	3	1	0	97.16%
		1		
5月	3	0	0	98.70%
		0		
6月	0	0	0	100.00%
		0		
7月	1	1	0	100.10%
		1		
8月	2	4	0	99.50%
		4		
9月	4	3	3	94.50%
		6		
10月	6	4	1	93.80%
		5		
11月	6	1	2	98.60%
		3		
12月	2	3	2	99.40%
		5		
1月	4	1	1	98.06%
		2		
2月	4	1	2	99.36%
		3		
3月	2	1	1	99.77%
		2		
計	37	32		
年平均	3.08	2.66		98.24%

## 短期入所生活介護施設運営事業（ショートステイ）

### 総括

#### (1) 個別ケアの充実と在宅生活の継続

ご利用者様の意向や生活環境を踏まえ、住み慣れたご自宅にできるだけ近い環境を確保し、生活習慣や生活リズムを把握したうえで、ご利用者様の意思を尊重した個別ケアに取り組みました。現在のコロナ禍の中で、ご利用者様・ご家族様の精神的・身体的負担を軽減し、ご利用者様が自宅で長く過ごせるだけでなく、少しでも自立した生活を送れるようなサービスの提供に努めさせていただきました。

#### (2) 生活相談

ご利用者様及びご家族様の意向と状況把握に努め、介護を含めた日常生活全般にわたる相談に応じ、必要に応じてご家族様の意向と異なる提案も含め、ご入所者様及びご家族様に安心で充実した在宅生活の継続をしていただけるように支援させていただきました。

#### (3) 多職種の連携強化

ご利用者様、ご家族様の個々のニーズに応じたサービスを提供できるよう、介護スタッフ、看護スタッフ、機能訓練指導員、管理栄養士、生活相談員等の多職種が共同してご利用者様の在宅生活の継続を考えられる様に努め、また、ご友人や近隣の方も含めたインフォーマルなサービスとも必要に応じ連携し支援やケアの提供を行いました。

#### (4) 在宅生活を安心して継続できるサービスの提供

ご利用者様の個別性を尊重し、ご意向や生活環境に沿った支援を行いました。入浴時や排泄時は、ご利用者様の尊厳に配慮しながら清潔の維持を図ると共に、全身の疾患確認、必要に応じ在宅で安全に排泄や入浴を行えるように提案、訓練等を行いました。ご利用者様の健康状態については観察・把握し、異常の早期発見・対応し、緊急時はご家族様及び主治医との連携による迅速且つ、最善の対応に努めました。

#### (5) 職員の資質向上

コロナ禍では職員の研修受講も困難な状況ではありましたが、毎月実施している施設内研修にはシフトを調整しながら参加し個々のスキルアップが行えたと思います。そして、職員の持っている技能・知識を共有し、毎日のサービスの質の向上を目指し、介護技術に関しては、一人ひとり独自の介助方法ではなく根拠に基づいた基本的な介助方法と知識の習得を図り、ご利用者様お一人おひとりのケアの統一から安定した安全な介助を目指しました。

認知症の方などへの対応に関しては病気への理解を深め、どのようなお声掛けや対応が適切なのかをフロア会議などの話し合いの場も活用し、全体の接遇面の向上にもつなげることができました。

○ショートステイご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月29日	食レク(おやつ:春の和菓子&お抹茶)
実施プロア	春の季節に合わせて、「牡丹」の和菓子を提供しました。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 17名	
「綺麗で食べるのもったいないわね」等と味覚だけでなく視覚でも楽しんで頂きました。お抹茶についても「苦いけど美味しい」とすぐに完食されていました。		
実施日	令和4年5月14日	食レク (おやつ:プリン・アラモード)
実施プロア	少しずつ暑さも出て来た中、涼を感じて頂きました。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 17名	
・「今日何の日?」「珍しいね」と反応は良く、普段食欲のない方も完食されており好評でした。		
実施日	令和4年7月26日	食レク(おやつ:バニラ&チョコアイス)
実施プロア	夏の訪れをアイスで感じ、味覚や視覚でも、楽しんで頂きました。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 16名	
「歯に沁みるけどやめられない」と時間を掛けて完食される方、提供後すぐに完食される方もおられ、おかげの声も挙がり好評でした。		
実施日	令和4年9月18日	『敬老の日』のお祝い
実施プロア	ご利用者様のご長寿のお祝いとコロナ終息を願い、ご利用者様お一人おひとりにプレゼントをお渡しました。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 20名	
今年度も感染対策に配慮した形となりましたが、皆様「長く元気に生きられるように…」と抱負を述べておられました。		
実施日	令和4年10月26日	昼食に出前のお弁当を召し上がる。
実施プロア	秋の訪れを味覚で感じ、味わって頂きました。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 16名	
「こんなにたくさん食べられて幸せ」と仰られる方もおり、普段食事を残し気味の方も完食される等好評でした。		
実施日	令和4年11月23日	食レク(おやつ:フルーツのショートケーキ)
実施プロア	甘い物を食べることにより身も心もリフレッシュ、リラックスして頂く。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 18名	
配膳を行い、お召し上がりになられる前は「こんな大きなケーキ食べられるかな?」と仰られる方もすぐに完食されていました。		

実施日	令和4年12月21日	クリスマス会
実施フロア		クリスマスという行事で季節を感じて楽しんで頂きました。
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 18名
コロナ感染対策中ということもあり、大勢でのゲームやレクは行えず、ご利用者様がくじを引いてプレゼントを選んで頂きました。「こんな大きいの貰っていいの?」と欲しい物の争奪戦になりました。		
実施日	令和5年2月26日	食レク(おやつ:チョコケーキ&プリン)
実施フロア		甘い物を食べることにより身も心もリフレッシュ、リラックスして頂きました。(普通食の方はケーキを、キザミ形態の方はプリンを提供。)
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 19名
「普段甘いものは食べないけど今日は特別ね」とご利用者様全員完食されていました。		
実施日	令和5年3月27日	食レク(おやつ:フルーチェ)
実施フロア		フロア内で作った手作りのものを実際に召し上がって頂きました。(フルーツも添えて。)
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 16名
「懐かしいわね。家に帰ったら孫にでも作ってあげようかしら」と皆様完食、好評でした。		

## 通所介護運営事業(デイサービス)

### 総括

#### (1) 在宅生活の継続

コロナ禍の中で外出の機会が極端に少なく、いつまでこの状況が続くのか不明な中で、楽しみの創出や社会交流の場の提供、運動機会の増加を行う場としてのデイサービスをご利用いただけるように努めました。ご利用者様・ご家族様にとってコロナ禍の為の機会損失を少しでも補填できるようなサービスの提供と併せてご家族様の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。ご利用者様が自宅で長く過ごせるだけでなく、少しでも自立した生活を送れるようなサービスの提供を心がけました。

#### (2) 生活相談

ご利用者様及びご家族様のご意向と状況把握に努め、介護を含めた日常生活全般にわたる相談に応じてまいりました。必要に応じてご家族様の意向と異なる提案も含め、ご利用者様及びご家族様に安心で充実した在宅生活の継続をしていただけるように計画し支援致しました。

#### (3) 機能訓練

専任の機能訓練指導員により、ご利用者様お一人おひとりの日常動作の把握と残存機能の活用による生活の質の改善の為に目標の設定を行ない、その実現に向けて多職種協働で機能訓練計画を作成し訓練を行ないました。

#### (4) 在宅生活を安心して行えるサービスの提供

ご利用者様の個別性を尊重し、ご意向や生活環境に沿った支援を行ないました。

入浴時や排泄時は、ご利用者様の尊厳に配慮しながら清潔の維持を図ると共に、全身の疾患確認を行いました。必要に応じてご自宅で安全に排泄や入浴を行えるように提案、訓練等を行いました。

ご利用者様の健康状態を観察・把握し、異常の早期発見・対応、緊急時はご家族様及び主治医との連携による迅速且つ、最善の対応に努めました。

#### (5) 職員の資質向上

コロナ禍の中で以前と同じ環境での研修は難しいため、それらに代わる機会を作り、個々のスタッフの持っている技能・知識を共有し毎日のサービスの質の向上を目指し、また、研修に限らず、日々の業務の中で生じる疑問や提案をスキルアップの機会ととらえ、勉強会を実施し、より多くのスタッフの資質向上に努めました。

○デイサービスご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月15日	やわらぎ3分クッキング(桜餅)
実施フロア		ご利用者様の目の前で手作りしました。季節を感じていただけるお菓子でした。
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数24名
		皆様、「美味しいよ」と喜んでくださいました。連絡帳にもご家族様から「美味しかったと言っていました」とか「お米で桜餅ができるんですね」とコメントをいただきました。
実施日	令和4年5月18.19日	フラワーアレンジメント
実施フロア		小さいカップにオアシスを準備し切り花でアレンジメントしていただきました。皆様お花は大好きです。
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数49名
		男性も、女性も皆様一生懸命考え、真剣な表情で生けておられました。 生け終わったお花を観ながら「きれいね～」「可愛いね～」と笑顔で喜んでいただきました。 男性のご利用者様をお送りした時、奥様が「お父さん、ありがとう！」と、とても嬉しそうなご様子でした。
実施日	令和4年5月21日	ティータイム
実施フロア		屋外で体操をしたり、お茶とお菓子を召し上がっていただいたりしました。職員が趣向を凝らし、今回はハワイアン風でした。
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数25名
		皆様、外気に触れながら、いつもと違うシチュエーションで気持ちよさそうな表情で体を動かしておられました。「ホールケーキが大きかったけど美味しいくて全部食べてしまふたわ～」と喜んでくださいました。「天気がもっと良かつたらね」というお声も聴かれました。
実施日	令和4年6月20日	コンサート喫茶
実施フロア		お笑いのライブ映像をご覧になりながら、お茶とお菓子を召し上がりました。
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数名 24名
		皆様、静かにライブビデオをご覧になられていましたが、終わった後で「面白かった～」と笑顔で仰ってくださいました。シュークリームのおやつも「大きいね、美味しいよ」と喜んでくださいました。
実施日	令和4年7月12日	やわらぎ3分クッキング(ぶどうと牛乳の寒天ゼリー)
実施フロア		ご利用者様にご覧いただきながら季節感あふれるデザートを手作りしました。
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数21名
		おやつとしてお出しすると「綺麗～、美味しいよ！」と笑顔で仰っていました。 ほとんどの方は「美味しいよー」と仰いましたが、中には「白いところ(牛乳の部分)が味気なかった」というお声も聴かれました。

実施日	令和4年8月 19日(金) 20日(土)	夏祭り
実施フロア	バターゴルフ・射的・金魚すくいを楽しんいただき、ゲームが終わった方から、おやつとしてかき氷を召し上がっていただきました。最後に千本引きを実施しました。	デイサービス
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 19日(金):26名 20日(土):	
	バターゴルフや射的に、一生懸命になって楽しまれる姿がとても良かったです。皆様がいつもと違う時間を過ごされ、違う表情を見せていただける機会になり良かったと思います。	
	今回は、慣れていないスタッフが多かったので、1日目は少しバタバタしましたが、2日目は改善できましたと思います。動き方の打ち合わせを、もう少ししっかりしておくべきだと痛感しました。	
実施日	令和4年8月 24日(水)	水羊羹
実施フロア	たこ焼き器で水ようかんを作りました。	デイサービス
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 23名	
	たこ焼き器で作った丸い水ようかんが「可愛らしい」「あんこの甘味が効いて、美味しい」と好評でした。	
	ご家族様からも、「家で作ってみます」と連絡帳にメッセージをいただきました。	
実施日	令和4年10月27日(木)	コンサート喫茶
実施フロア	4~50年前のお笑いコントのDVD鑑賞をされ、お茶とお菓子を楽しんでいただきました。	デイサービス
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 24名+体験1名	
	皆様、こらえきれずにクスクスと笑う声が聞こえ、後半には大笑いをされていました。鑑賞後は「あ~面白かった」「当時はゆっくり見れなかつたわ、忙しくて」「今でも通用する面白さね」「またこういう笑えるものをお願いします」という嬉しいお声をいただきました。	
	ご自宅でもお話しあさったようで、「楽しかったようです」と複数のご家族様が連絡帳に書いてくださいました。	
実施日	令和4年11月24日(木)	運動会
実施フロア	毎年恒例の運動会です。	デイサービス
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 29名	
	皆様 笑顔で積極的に参加され、応援合戦でも大きな声が出て楽しんでいたご様子でした。	
	ご自宅でも話題にされた様子で、ご家族様からもお礼のメッセージをいただきました。	
実施日	令和4年12月19日	クリスマス会
実施フロア	今年も再流行の「まづけんサンバ」などを取り入れたクリスマス会でした。	デイサービス
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数 29名	
	音楽に合わせて手拍子をされたり、クリスマスソングを奏でるハンドベルに合わせて合唱されたり、大いに楽しんでいただきました。	

実施日	令和5年1月12日	初釜
実施フロア	新年初めての行事「初釜」を猪名川町・うませの和菓子とともに楽しんでいただきました。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 19名
新年のおこそかな雰囲気を皆さま楽しんでおられるご様子でした。 職員の和服姿も喜ばれていました。		
実施日	令和5年1月17日	餅つき大会
実施フロア	元気な掛け声とともに杵をふるっていただきました。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 24名
大きな掛け声や笑顔とともに、男性職員が中心となって威勢のいい餅つきとなりました。ついたお餅の入ったぜんざいをおいしそうに召し上がっておられました。		
実施日	令和5年3月30日	お好み焼き
実施フロア	東谷名物の鉄板を使った本格的お好み焼きを召し上がっていただきました。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 26名
「とても美味しかった！」「またお願ひします。お疲れ様です。」…など喜びの声をいただきました。 ご家族様も「あんなに立派な鉄板があったんですね。父が喜んでました。」と仰って下さいました。 Facebookをご覧になられたようです。		

やわらぎの里 東谷(医務室)

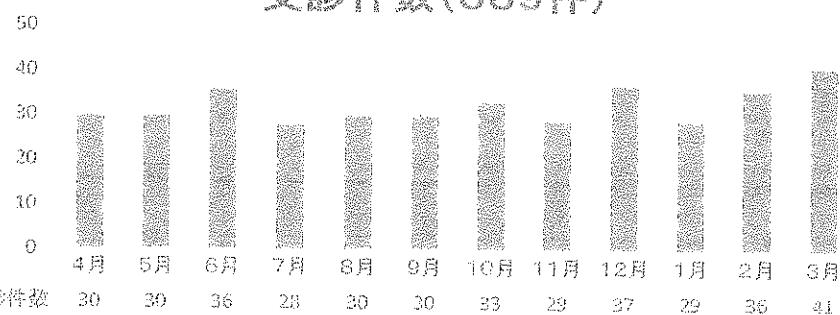
令和4年度 総括

医療状況

月別受診件数

受診件数	
4月	30
5月	30
6月	36
7月	28
8月	30
9月	30
10月	33
11月	29
12月	37
1月	29
2月	36
3月	41
合計	389

受診件数(389件)

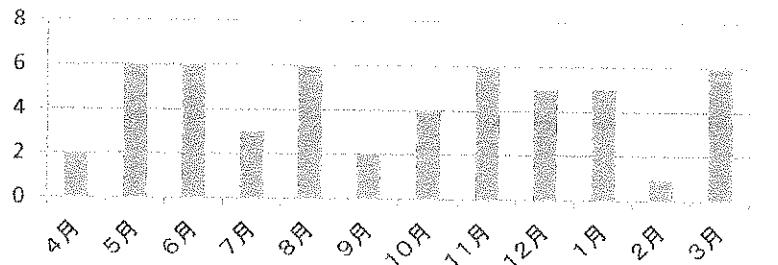


月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃腸交換	その他
4月	1	8	7	11	1	1	1	0	0	0	0
5月	3	10	5	8	2	0	1	0	0	1	0
6月	3	11	3	10	2	2	1	1	2	0	0
7月	0	7	4	11	1	0	1	1	1	0	1
8月	1	17	1	8	0	0	1	0	1	0	0
9月	1	10	7	9	1	0	1	0	1	0	0
10月	2	13	2	12	1	1	1	0	0	0	1
11月	1	12	2	8	2	0	2	2	0	1	0
12月	2	18	4	9	2	0	1	0	1	0	0
1月	0	13	4	9	0	0	1	1	1	0	0
2月	0	17	5	9	2	1	2	0	0	0	0
3月	0	18	5	12	2	1	3	0	0	0	0
合計	14	154	49	116	16	6	16	5	7	2	2

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	2
5月	6
6月	6
7月	3
8月	6
9月	2
10月	4
11月	6
12月	5
1月	5
2月	1
3月	6
合計	52

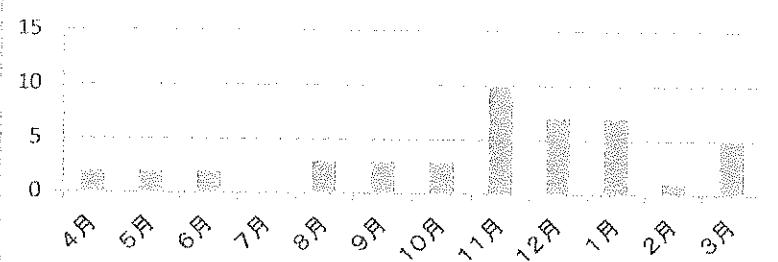
救急搬送件数 52件



救急搬送内訳	
熱発	6
転倒(骨 折・外傷)	5
心・脳血 管系	11
呼吸、意 識不良	28
心肺停止	1
バルン閉塞	0
腰痛	0
嘔吐、下痢	1

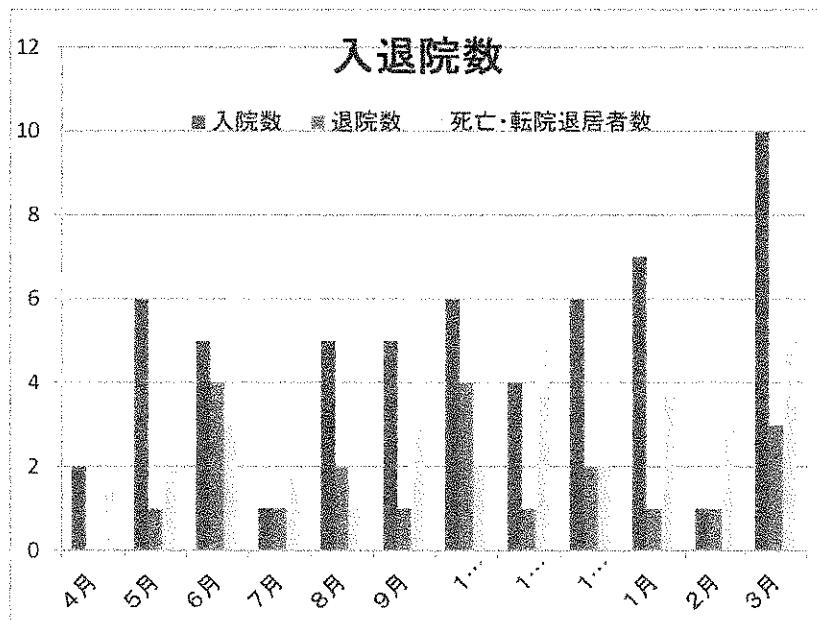
オンコール件数	
4月	2
5月	2
6月	2
7月	0
8月	3
9月	3
10月	3
11月	10
12月	7
1月	7
2月	1
3月	5
合計	45

オンコール件数 45件



オンコール件数内訳	
転倒	10
薬関係	6
熱発	8
その他	21
合計	45

	入院数	退院数	死亡・転院退居
4月	2	0	2
5月	6	1	2
6月	5	4	3
7月	1	1	2
8月	5	2	1
9月	5	1	3
10月	6	4	2
11月	4	1	6
12月	6	2	2
1月	7	1	4
2月	1	1	3
3月	10	3	5
合計	58	21	35



医療処置対象者	
胃瘻	1
尿バルーン	4
インスリン	0

医療状況 前年度・今年度の比

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診	501	435	377	480	389
オンコール	51	35	33	44	45
入院	65	73	53	69	58
退院	41	45	29	40	21
退居	20	35	21	31	35
心肺停止	0	0	0	0	1
診療情報提供書	91	100	76	112	82
歯科往診件数	170	190	218	300	286

### <総括>

#### 1. 受診件数について

内科受診はR3年度219件、今年度154件とやや減少しています。泌尿器科受診がR3年度93件、今年度116件と増加しています。バルンカテーテルを挿入されたご入居者様が増加しているわけではなく同数4名にもかかわらず受診件数が増えています。それはカテーテルが詰まりやすかつたり抜けてしまったりとバルントラブルが多く、緊急受診が増加した為と考えます。

歯科受診がR3年度39件、今年度6件と減少しています。義歯調整等歯科の往診医で対応が可能であった為外部受診の必要がなかったからと考えます。整形受診はR3年度66件、今年度49件とやや減少傾向ではありますが、突然の予期せぬ転倒や転落による打撲や骨折、また偽痛風等痛みや関節部位の熱感腫脹で受診が多いと思います。

総受診件数はR3年度480件、今年度は389件と全体的に減少傾向でした。

#### 2. 救急搬送について

救急搬送はR3年度は28件、今年度は52件と増加しています。デイサービス5件、ショートステイ8件、特養39件でした。今年度は特に新型コロナウィルス感染が蔓延し、あちこちで大きなクラスターが発生していました。受診が必要で病院に問い合わせても断られること多く、病院内に大きなクラスターが発生していると、まして受け入れが困難な状況であったのは事実です。受診する病院先をあちこち問い合わせて探すのですが断られ、救急搬送に頼らないと仕方がないことがあります。件数が増えたと思います。

当施設では、新型コロナウィルス感染者3名を救急搬送しました。  
内訳としては、やはりSP02の低下、意識レベルの低下が28件と半分をしめ、一刻を争う状態であった事  
又、冬場の1月～2月の間に脳梗塞発症が4件あり、すぐに救急搬送の必要がありました。嘱託医より  
水分不足を指摘され、水分強化に取り組んだ結果、その後はありませんでした。  
ショートステイ、デイサービスの救急搬送がR3年度8件、今年度13件と増加傾向です。医療依存の高い  
ご利用者様が訪問医療や訪問看護、介護を利用しながら家庭で生活をされており、急変する可能性は  
常にありますと頭にいれし、異常の早期発見に努め、早め早めの対応に心がけていきたいと思います。

### 3. オンコールについて

R3年度44件、今年度45件と変わりはありませんでした。昨年度と同様に、介護スタッフの退職、新入職  
が重なって多くあり、新しく夜勤についた職員もいて、少し心配な事や判断に迷ったことがあって、相談の  
オンコールがあると思います。日中は穏やかに過ごされているても、急に夕方～睡前にかけ不安や不眠を  
訴えられ、動きが活発になりゴソゴソ、ウロウロするご入居者様が多くを占めます。やはり転倒転落は10件  
と多く、夕食後や睡前の内服薬が服用できなかったり、落薬しているのを発見したり、服薬関係も6件と  
多くありました。

### 3. 入退院数、ご退居について

入院件数はR3年度69件、今年度58件、退院件数はR3年度40件、今年度21件、ご退居数R3年度31件  
今年度35件。退院件数が半分程度に減少しています。当施設にご入居されている方は、もともと沢山の  
既往症を持っておられます。日々の生活の中で、基礎疾患が悪化しないように健康の維持、管理に  
努めていますが、一度体調を崩してしまうと、高齢でもあり、回復に時間がかかります。入院期間が長く  
なるとADLの低下、筋力の低下、意欲の減退、認知機能の低下等悪循環がおこり、療養型病院に移られ  
たり、ご逝去されたりと、なかなか施設に戻ってくることが難しい事例がたくさんあります。  
毎日毎日の状態観察を怠ることなく、日々注意深く観察し、異常の早期発見に努めます。又定期受診や  
定期採血等情報を嘱託医と共有し異常を発見するよう努めます。

### 4. 感染症発症について

インフルエンザ予防接種はR4年10月～11月にかけ、ご入居者様と職員の希望者に接種しました。  
新型コロナワクチンは4回目 R4年7月13日～8月3日、5回目 R4年12月5日～12月28日  
6回目 R5年5月22日～6月14日 ご入居者様と職員の希望者に接種しました。  
新型コロナ感染者は 2FフロアでR4年8月 ご入居者様5名 職員6名 3Fフロアご入居者様3名  
職員4名 4FフロアでR4年12月 ご入居者様1名 職員2名 発症がありました。

## 感染対策委員会 総括

- (1) インフルエンザ予防接種はR4年10月～11月にかけ、ご入居者様と職員に施行しました。インフルエンザ発症者はありませんでした。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止策について
- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止策については、法人全体で情報を共有し変更があれば、適宜法人感染対策委員会より発信があり、法人全体で取り組んでいきました。
  - ② 厚生労働省や行政等の情報は速やかに発信し情報を共有しました。
  - ③ R4年 5月 他施設にてご入居様と職員にコロナ感染者多数あり。その報告を受け、R4年5月13日より、全介護職員に個人用防護服の着脱の手順を指導。介護職員に実際に施行してもらい、それを看護師と介護主任が確認し、10日間で終了しました。
  - ④ 新型コロナウイルスワクチン予防接種を施行しました。  
4回目 R4年7月13日～8月3日 5回目 R4年12月5日～12月28日  
ご入居者様と職員の希望者に接種
  - ⑤ 新型コロナウイルス感染者発症 R4年8月 2F ご入居者様5名、職員6名  
R4年8月 3F ご入居者様3名、職員4名  
R4年12月 4F ご入居者様1名、職員2名  
法人共通の新型コロナウイルス感染対策マニュアルに従い、東谷独自のコロナウイルス感染対応を文章化し、職員全員と共有しました。発症者や濃厚接触者が分かった時点で行動に移せるよう、初動対応に力をいれました。結果、約1か月程度で全面解除となりました。
  - ⑥ R4年 10月 2, 3Fの感染対策が終了した時に、東谷のコロナウイルス感染対応について振り返りをして良かった点、悪かった点を話し合いました。悪かった点を見直し、新しい物にして、再び情報を共有しました。  
R4年12月4Fの感染対策に活かすことが出来、最小限で感染を食い止められたと思います。
  - ⑦ R5年2月 他施設でもコロナウイルス感染者が多数あり、クラスターが発生していると医務連携本部会議で情報が入りました。保健所より、感染認定看護師の立ち入り検査があったと聞き、指定事項の情報を共有、東谷の感染対応の参考にし、訂正しました。

\* 今後も法人全体で情報を共有し、感染対策に取り組んでいきます。

## 事故報告及び出来事報告(R4年4月～R5年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診		1		1	1	1		1		1	2	8	
	経過観察												0	
打撲・捻挫・脱臼	受診	1	2	3			1	1	1		2			11
	経過観察	1		6	2	2	2	3	2	5	6	1	2	32
切傷・擦過傷	受診													0
	経過観察	3		1	5	2		1	3	1			1	17
異食・誤嚥	受診													0
	経過観察													0
やけど	受診													0
	経過観察					1								1
その他の外傷	受診		1											1
	経過観察			1	2		1		3		1			8
食中毒	受診													0
	経過観察													0
感染症・結核の伝播	受診													0
	経過観察													0
その他外傷(跌落、転倒等)	受診													0
	経過観察													0
誤嚥・服薬忘れ	受診													0
	経過観察	2	2	4	2	2	2	7	6	3	4	4	6	44
その他(外傷なし)	受診		1			2								3
	経過観察	10	11	7	9	5	8	10	11	6	11	9	8	105
発生数、受診総数		1	5	3	1	3	2	1	2	0	2	1	2	23
発生数、経過観察数		16	13	19	21	11	13	21	25	15	21	15	17	207
計		17	18	22	22	14	15	22	27	15	23	16	19	230

次年度に向けて

4年度の事故総件数は230件と昨年度比101%と増加傾向にあり、うち受診を伴う事故が23件発生しました。

個々のご利用者様の日常生活の中で起こりうる、あらゆるリスクを詳細に把握し適切に対処する取り組みを行ってまいります。

毎月開催している事故・身体拘束委員会や研修委員会が主体となり、危険予知トレーニングなどの危険発見活動や安全な介助動作の研修などを定期的に実施いたします。

意識をもって介助にあたることができるように取り組んでまいります。

## 身体拘束防止委員会 総括

身体拘束を安易に事故防止対策として正当化することなく、すべての職員が「身体拘束はしない」という強い気持ちでケアの方法の改善や環境整備、創意工夫を実施できるよう努めてまいります。

次年度も引き続き、委員会活動や施設内研修で身体拘束の弊害や危険性などについて学びの機会を作つてまいります。

令和4年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベッド欄による拘束												
ミトンによる拘束												
柵の固定												
抑制ベルト												
つなぎ服着用												
総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



# やわらぎの里ふらす館

＜令和4年度＞

(自)令和4年4月1日～(至)令和5年3月31日



## やわらぎの里 ぶらす館

### 介護老人福祉施設運営事業<特別養護老人ホーム>

#### (1) 適時適切な入居相談、又、計画の推進一報告:入居検討委員会

令和4年度は新規ご入居者様39名、ご退居者様41名となり、月平均稼働率94.53%という結果でした。昨年度は例年ないほどやむを得ない理由での退去者数がでてしまい、またコロナ禍もあったことからスムーズな入居へのご案内が難しく、稼働率の低下につながりました。また、令和4年度の新規申込者は59名となり、一昨年度より16件減りました。

申込者を増やす取り組みとして、川西市内だけでなく、近隣市町の病院、老健、居宅介護支援事業所等に申込書やパンフレットを郵送、挨拶回りなど広域的な活動を行いました。また、退院後に自宅へ帰ることが困難な方がぶらす館を選んでいただけるように、病院の相談員と密に連携を図り、迅速、丁寧に入居相談を行いました。

#### (2) 行き届いた相談、生活援助等の実施一報告:生活相談担当

令和4年度においても新型コロナウイルスの影響を受け面会等の制限を行っていましたが、前年度より制限を緩和し、パーテーションを挟んでの直接面会とオンラインでの面会に切り替えました。久々にご入居者様とご家族様が直接会うことができるようになつたことだけでなく、ご家族様と直接顔を合わせて近況の報告や相談を行えるようになったため、より詳細な連絡、情報共有ができます。

また、ブログやSNSを開始したことで、多くの方に施設内で行った行事や普段の様子を発信することができ大変好評なお声を頂いています。

世間では制限の緩和が予想される中、今後もご入居者様とご家族様と密に信頼関係を築けるよう努めます。

#### (3) ケアプラン等の策定及び実施・評価一報告:ケアマネジメント担当

今年度は「その方らしさ」のあるケアプランに近づけるため、サービス担当者会議の際に、多職種で本人様の現有能力を確認し、「本人様」にご担当頂けるサービス内容を検討、ケアプランに取り入れました。

しかしながら、不十分な部分もありますので、当館の全ご入居者様のケアプランがそう成るよう、引き続き日々の情報収集や様子観察に努めます。

次年度もご入居者様の心身の変化に合わせた個別性のあるケアプランを策定して参ります。

#### (4) 質の高い介護サービスの提供一報告:特養介護担当

当館がかねてから課題としている人員面については、昨年度と同様、EPAや特定技能の方、介護未経験の方など幅広い方が入職して頂き、確保しております。離職率も少なく経過しております。研修につきましては、基本的な研修等も含め見直しも行いつつ、ユニットリーダー研修やコーチング研修などの外部研修なども活用し、ユニットケアに向けたより質の高いサービスを提供していく取り組みをしました。

コロナ禍の中で、ご入居者様の感染、職員の感染があり、職員数は一時的に減少傾向の時期もありました。予測以上に大変な状況でしたが、現場職員、他職種と協力をを行い、介護サービスの質を下げず、感染対策をすることができました。今年度、各フロアのリーダー級が目標をたて、率先してくれたことが基になっているものも多く、それぞれのスタッフの意識や質が向上し、一人で抱えこまないチームケアを実践できた結果でもあると評価しております。今後もご入居者様の安心と安全を今まで以上にご提供できるようより質の高いケアの実現に尽力していきます。

(5) 潤いのある生活を実現するレクリエーション等の充実

令和4年度においてもコロナ禍という事もあり感染拡大防止対策を実施しており、昨年度と同様、施設全体でのレクリエーションは実施を見送ってまいりました。しかしながら、ユニットのご入居者様のことをわかっている職員がユニット単位で計画を行うことでユニットのニーズにあったレクリエーションが実施できました。

日々の小さなレクリエーションも気軽に継続出来るようレクリエーションの創出を委員会が中心になって行い、情報共有も行う事によってレクリエーションに対する知識を深めています。今後とも、感染対策も考えつつ、ご入居者様に楽しんでもらえるよう委員会にて、よりよい行事方法を考えていきます。

# やわらぎの里 ぷらす館 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和5年3月末日現在)

## 年 齢

男性	85.87歳
女性	88.68歳
全体	87.97歳

最高齢者	102歳
最低齢者	71歳

## 介 護 度

2階	3階	4階	全体
3.37	3.37	3.20	3.28

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	5	11	40	25	11	92
比率	5.4%	12.0%	43.5%	27.2%	12.0%	100.0%

## 介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	1	8	9	35	39	92
比率	1.1%	8.7%	9.8%	38.0%	42.4%	100.0%

## 保険者

川西市	57人	62.0%	神戸市	2人	2.2%
能勢町	3人	3.3%	龜岡市	1人	1.1%
猪名川町	11人	12.0%	名古屋市	1人	1.1%
豊能町	3人	3.3%	香美町	1人	1.1%
伊丹市	1人	1.1%	大山崎町	1人	1.1%
宝塚市	3人	3.3%	茨木市	1人	1.1%
池田市	1人	1.1%			
豊中市	2人	2.2%			
大阪市	2人	2.2%			
堺市	1人	1.1%			
西宮市	1人	1.1%			
			合計	92人	100.0%

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月2日、5日	食レク(甘酒)
実施フロア	オヤツと一緒に甘酒(ノンアルコール)を提供を行う。	
特養2階C・Dユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	20名
みんなで飲むと美味しいわなどの声が聞けており楽しまれていた。		
実施日	令和4年4月14日	食レク(ケーキ作り)
実施フロア	オヤツにみんなでデコレーションを行い、召し上がって頂く。	
特養3階Cユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	10名
ご入居者様に盛り付けして頂く際に、私はこれが大好きなど話されており、笑顔多くみられていた。その後は母の日のプレゼントとして色紙に写真を貼りプレゼントを行った。大変喜ばれている姿みられていきました。		
実施日	令和4年6月6日	食レク(パフェ作り)
実施フロア	みんなでパフェを作る。	
特養3階Dユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	10 名
焼きたての生地に皆様でトッピングしてもらい食べてもらつた。美味しい、楽しいなどの声が多くみられていきました。		
実施日	令和4年6月19日	歌レクと食レク
実施フロア	感染対策を行いながらみんなで歌を歌い、その後ケーキを食べて頂く。	
特養4階各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	40 名
お互いに距離をあけながら歌を歌つた。皆様、歌が大好きな様子で気持ちよかったですなどの声が聞かれた。		
実施日	令和4年7月13日	親睦会
実施フロア	ゲームやオヤツバイキングを楽しんでもらう。	
特養3階Bユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	10 名
みんなで距離をあけながらではあるが、ゲームを楽しむ姿みられていた。いい交流になっていた。		
実施日	令和4年8月8日	夏祭り
実施フロア	屋台や盆踊りを楽しんでい頂く。	
特養4階各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )	参加人数	40 名
屋台も色々準備することにより、祭りの雰囲気を味わってもらえた。盆踊りもユニット毎にわけて実施し、多くのご入居者様に参加をして頂くことができた。		

実施日	令和4年度8月14日、18日、23日	夏祭り
実施フロア	屋台や盆踊りを楽しんで頂く。	
特養3階各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 40 名	
屋台も色々準備することにより、祭りの雰囲気を味わってもらえた。盆踊りもユニット毎にわけて実施し、多くのご入居者様に参加をして頂くことができた。		
実施日	令和4年度8月26日	夏祭り
実施フロア	屋台や盆踊りを楽しんで頂く。	
特養2階各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20 名	
盆踊りもユニット毎にわけて実施し、多くのご入居者様に参加をして頂くことができた。たこ焼きなどの屋台も色々準備することにより、祭りの雰囲気を味わってもらえた。		
実施日	令和4年9月27日	敬老祝賀会
実施フロア	敬老のお祝いに各ユニットを回り記念品の授与、獅子舞の披露を行う。各ユニット毎にゲームも行う。	
特養各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 95 名	
職員と一緒に掛け声を出されたり、手を叩かれたりなどしてたくさんの方が笑顔で参加されていました。		
実施日	令和4年10月25日	食レク(どら焼き)
実施フロア	どら焼きをみんなで作り、召し上がって頂いた。	
特養3階Bユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 10 名	
出来立てで美味しいなど笑顔が多くみられた。		
実施日	令和4年10月27日	運動会
実施フロア	玉入れや輪投げなどを一緒に使う。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20 名	
みんな熱心に運動会に参加してくれていました。運動会後はミックスジュースを作り、みんなで飲みました。		
実施日	令和5年3月6日	ひな祭り
実施フロア	浴衣に着替えて歌を歌ったり、ケーキを食べる。	
特養2階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 10 名	
職員が浴衣になつたのとユニットを春の季節が感じられるように工夫したので、皆様花見感覚で楽しめていて笑顔みられていた。		

## 入居計画委員会 総括 資料

### ①入居待機者数(令和5年3月31日現在)

計 82名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3	9	38	28	4

### ②月別入退居者数

令和3年度

月	入居	退居	軽逝去	月別入居率
4月	1	1	1	99.27%
		2		
5月	3	2	3	97.84%
		5		
6月	4	1	0	97.50%
		1		
7月	2	0	2	99.16%
		2		
8月	1	0	2	98.32%
		2		
9月	3	1	0	98.90%
		1		
10月	2	2	2	98.35%
		4		
11月	5	4	1	98.00%
		5		
12月	2	1	1	99.10%
		2		
1月	3	1	1	98.10%
		2		
2月	1	0	3	97.32%
		3		
3月	2	3	2	96.97%
		5		
計	29	34		
年平均	2.4	2.8		98.24%

令和4年度

月	入居	退居	軽逝去	月別入居率
4月	5	2	1	95.10%
		3		
5月	3	2	1	96.13%
		3		
6月	4	0	1	97.90%
		1		
7月	3	2	3	98.81%
		5		
8月	2	2	4	95.97%
		6		
9月	3	3	1	92.60%
		4		
10月	6	2	1	93.13%
		3		
11月	2	1	1	94.67%
		2		
12月	2	1	5	93.71%
		6		
1月	2	1	1	91.42%
		2		
2月	4	1	2	92.89%
		3		
3月	3	3	0	92.00%
		3		
計	39	41		
年平均	3.3	3.4		94.52%

## 短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉

### (1) サービス全般に関して

前年度と同様コロナ禍で制限のある中の生活となりました。ご利用者様・ご家族様にもご協力いただきながら、感染症対策を徹底してきましたが、ショートステイ内でコロナ陽性者が発生したことで一定期間ご利用をお断りすることとなりました。このことがきっかけで、より一層感染症対策の大切さを実感し、現在の感染症対策に繋げることができます。

その他には、これまで通りご家族様の介護負担の軽減や、施設入所が決まるまでの間ご利用を希望される方も多く、困った時に相談していただける存在でありたいと考えています。

長年当館ショートステイをご利用いただいている方のご状態の変化もあり、変化に合わせて介護方法を見直してまいりました。ご利用者様・ご家族様が少しでも安心してご利用いただけるよう、今後も支援させていただきます。

### (2) ご利用者様・ご家族様に寄り添ったサービスの提供

病院や老健退所後に、すぐに自宅に戻ることはできず、ショートステイを希望される方のご依頼を多くいただきました。コロナ禍でご本人様と面談ができず、情報がしっかりと取れずにご利用となるケースもあり、不安に感じることもありました。しかしご本人様やご家族様に不安を感じさせぬよう、来館後の体調管理やご様子について、多職種で連携をとりながら情報共有に努めてまいりました。通常とは異なる場合でも、安心してご利用いただくことを第一に考え取り組んでこれたと思います。

### (3) 質の高いサービスの提供

「初めてのショートステイはぶらす館を紹介したい」とケアマネジャー様からご依頼をいただきました。ご自宅以外の環境に戸惑われることが多いショートステイですが、少しでも居心地よく安心して過ごしていただけるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいます。ご利用者様だけでなく、ご家族様も不安に感じられることがある中で、ご自宅での介護方法や今後の生活についてのお話を積極的にお聴きし、ご家族様の不安の解消に繋がるよう、努めてまいりました。今後はコロナによる制限が緩和されていきますが、これまで通りご利用者様・ご家族様に寄り添った支援ができるよう取り組んでいきます。

○ショートステイご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年6月9日	食レク 焼きそばとおにぎり
実施フロア	ショートステイ	お楽しみメニューをご提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 21 名
		調理途中から「良い匂いがする!」「お腹空いたわ」とのお声が多く、とても喜んでいただけました。
実施日	令和4年8月3日	食レク かき氷
実施フロア	ショートステイ	夏の雰囲気・季節の変化を楽しんでいただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 19名
		かき氷のご提供時に「久しぶりにこんなに美味しい物食べたわ」と喜ばれる方もおられ、大好評でした。
実施日	令和4年10月26日	秋祭り
実施フロア	ショートステイ	秋の雰囲気・季節の変化を楽しんでいただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 18 名
		金魚すくいや千本引き等のゲームに熱中される方も多くいらっしゃいました。たこ焼きのご提供では、おかげわりをご希望される方もおられ、好評でした。
実施日	令和4年11月28日	食レク 炊き込みご飯とお味噌汁
実施フロア	ショートステイ	秋の味覚を楽しんでいただく
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 21 名
		普段とは違うお味噌汁に喜んでくださいり、好評でした。
実施日	令和4年12月23日	クリスマス会
実施フロア	ショートステイ	クリスマスの雰囲気を楽しんでいただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 20 名
		風船ゲームやプレゼントをかけたゲームを実施し、ご利用者様同士で応援される方もおられ、とても盛り上がりました。
実施日		
実施フロア	ショートステイ	
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 )		参加人数 名

## 通所介護運営事業(デイサービス)

### (1) ぷらす館の特色を生かし、ご利用者様々に合わせたサービスの提供を目指す。

令和4年度は8月に初のコロナの感染者がスタッフとご利用者様の間でありましたが、重篤に陥る方も無く終息することができました。その後もご利用者様やスタッフからコロナ感染の連絡はちらほらとありましたが初回の感染も踏まえ感染予防の徹底を行ない、大きな広がりになることを防ぐことができました。その中でサービスの提供を行なってきましたが、介護技術や知識についてまだまだスタッフのレベルが一定しているとは言い難く、現状、サービスの質についてはまだまだ改善・向上すべき点が多くあると感じています。ご利用者様については、長くご利用いただいた方の利用中止が相次ぐ等新旧の入れ替わりが多く、新たなご利用者様も多くお迎えする中で満足感を感じてもらえるように情報共有をスタッフ間で小まめに行い、個々の対応をしっかりと行えるよう努めました。

### (2) 機能訓練について

令和4年度はご利用者様の入れ替わりが特に多かった為、機能訓練だけでなくご利用中の介助方法等についても機能訓練指導員と話し合いを重ね、その方にあつた適切な対応ができるよう努めました。また、コロナ禍が続き、自宅で過ごすことが多くなっているご利用者様の身体状況に注意を払い、ご家族様等からの情報収集とその共有にも努め、変化に合わせて機能訓練も適切に行えるように協力体制を整えることに尽力しました。コロナ感染者も数名おられ、療養中に身体機能が低下された方も一部おられましたが、機能訓練指導員と話し合い、機能訓練だけでなく介助方法やレクリエーション活動も状態に合わせて対応していくように努め、結果著しい改善が見られ、ご家族様の不安の解消にも繋げることができました。

### (3) 心と体にご満足いただけるお食事の提供

最近は特にお食事に高評価をいただくことが多くなり、「美味しかった」というお声もよく聞かれれるようになりましたが、お食事内容やご利用者様の食事の様子を見て、またご利用者様のご意見にも耳を傾け、気になる点等があればすぐに関係職種との連絡相談を行ない、問題なくお食事を提供できるように心掛けました。また嚥下や摂取状態を見ながら食事形態等をご家族様やスタッフと相談し、安全に安心してお食事していただくように取り組みました。  
少しずつおやつ作り等のレクリエーションも再開し、食べることの楽しみや喜びを感じていただく機会を増やすことにも尽力しました。

(4) レクリエーションの目的を考え、内容の充実を図る。

昨年度よりコロナ感染予防を行ないつつ少しずつレクリエーションの幅を広げ、ご利用者様がご自分の好きなレクリエーションを選んで楽しめる場作りに取り組むことで、活動の場を多く提供できるように努めています。また、最近は認知症の周辺症状に悩むご利用者様も多く、今まで提供していたレクリエーションからご利用者様の状態に合わせた内容を検討することで、安心して活動に参加できる環境作りにも努めました。

(5) 同法人各施設との連携について

令和4年度もコロナ禍により連携が取り難い状況ではありましたが、必要時は電話等で連絡相談を行ない、迅速な問題解決に努めました。また、法人内施設を併用されているご利用者様については情報交換を密に行い、同じ対応・サービスの提供ができるように取り組みました。

○ディサービスご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月19日	ケーキバイキング	23名			
実施プロア ディサービス	お花見ドライブがコロナ感染予防の為中止になった代わりに美味しいスイーツを楽しんで頂きました。					
ご利用者様の声						
色々とどりのスイーツにご利用者様から歓声が沸き、皆様楽しそうに会話されながら甘味を楽しめました。						
実施日	令和4年7月5日	食レク チーズケーキ作り	20名			
実施プロア ディサービス	甘いおやつ作りを楽しんでいただきました。					
ご利用者様の声						
生地作り等ご利用者様に参加していただきました。オープンから漂う甘い香りにそわそわされ、「美味しい」ととても喜んでいただけました。						
実施日	令和4年12月24日	クリスマス会	23名			
実施プロア ディサービス	スタッフのハンドベルやクリスマスの歌、bingoゲームを楽しんでいただきました。					
ご利用者様の声						
クリスマスの歌やbingoゲーム等を楽しんでいただき、クリスマスの雰囲気を味わっていただきました。スタッフのハンドベルに合わせてクリスマスソングを口ずさまれる方もおられ、とても楽しんで頂きました。						
実施日	令和5年1月4日・5日	新春会	39名			
実施プロア ディサービス	新しい年の始まりを甘酒や福笑いゲーム等でお祝いしました。					
ご利用者様の声						
甘酒がとても好評でした。始めは知らないとおっしゃられていた方も周囲の方の様子を見て口を開かれ、「美味しい」と喜ばれていました。						
実施日	令和5年3月29日～4月4日	お花見ドライブ	40名			
実施プロア ディサービス	久しぶりのお花見ドライブを楽しんで頂きました。					
ご利用者様の声						
3年ぶりにお花見ドライブを企画しましたが、車窓からも満開の桜がよく見え、皆様の嬉しそうな笑顔と歓声が多く聞こえました。「また桜が見れてよかったです」と会話も弾んでいました。						
実施日	令和5年3月15日	食レク プラウニー作り	17名			
実施プロア ディサービス	ホワイトデイにちなみ、甘いチョコレート菓子作りを楽しんで頂きました。					
ご利用者様の声						
数人の女性のご利用者様にお手伝いしていただきましたが、チョコレートを溶かしたり生地を混ぜたりと楽しそうにお菓子作りに参加していました。出来上がったお菓子も好評で、「美味しい」と皆様完食されていました。						

やわらぎの里・ぷらす館（医務室）

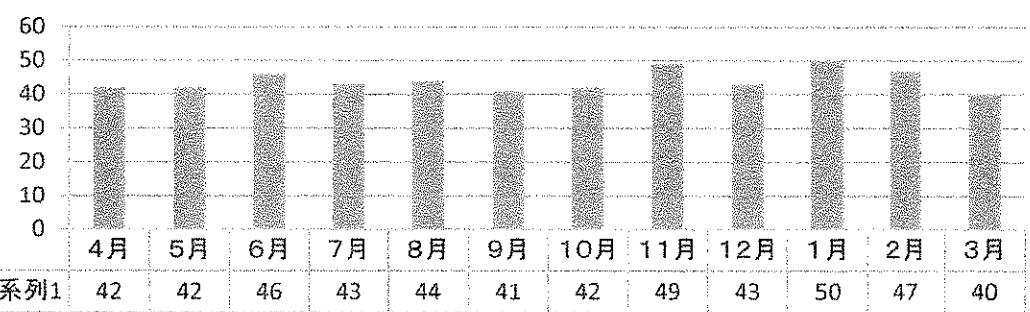
令和4年度 総括

医療状況

月別受診件数

	受診件数
4月	42
5月	42
6月	46
7月	43
8月	44
9月	41
10月	42
11月	49
12月	43
1月	50
2月	47
3月	40
合計	529

受診件数(529件)

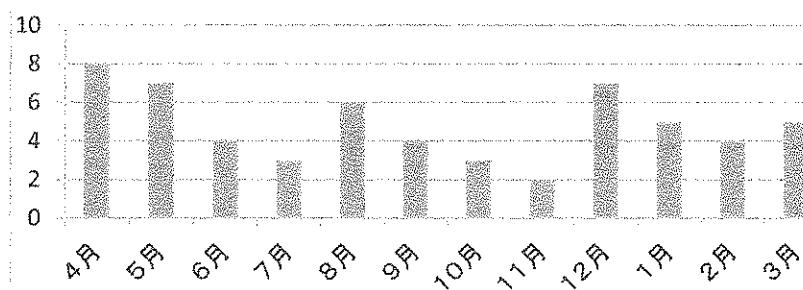


月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃腸交換	その他
4月	1	17	5	2	5	3	1	4	2	1	1
5月	1	12	12	3	8	1	1	2	1	0	1
6月	3	13	7	3	6	3	3	6	1	0	1
7月	3	14	9	5	3	2	3	2	0	1	1
8月	5	9	10	6	6	1	1	3	2	0	1
9月	1	15	5	6	4	2	1	3	2	1	1
10月	0	9	3	9	7	1	1	6	3	1	2
11月	5	10	11	9	5	4	0	4	1	0	0
12月	1	15	11	4	3	1	2	4	0	0	2
1月	7	16	6	1	6	4	5	4	1	0	0
2月	0	22	4	2	6	5	3	5	0	0	0
3月	0	18	6	1	3	5	0	3	3	1	0
合計	27	170	89	51	62	32	21	46	16	5	10

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

	救急搬送件数
4月	8
5月	7
6月	4
7月	3
8月	6
9月	4
10月	3
11月	2
12月	7
1月	5
2月	4
3月	5
合計	58

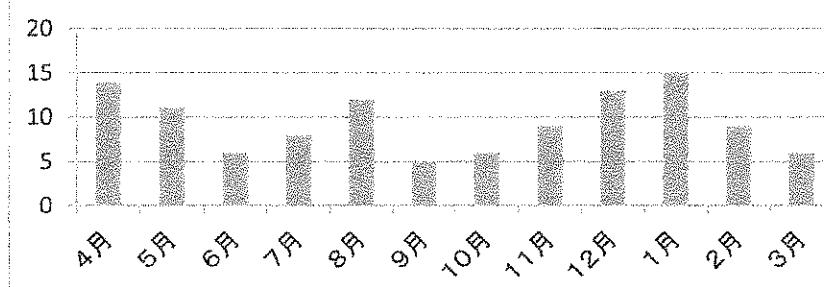
救急搬送件数 58件



救急搬送内訳	件数
熱発	13
転倒(骨折・外傷)	7
酸素濃度低下	12
呼吸、意識不良	11
心肺停止	3
嘔吐	4
その他	8
合計	58

	オンコール件数
4月	14
5月	11
6月	6
7月	8
8月	12
9月	5
10月	6
11月	9
12月	13
1月	15
2月	9
3月	6
合計	114

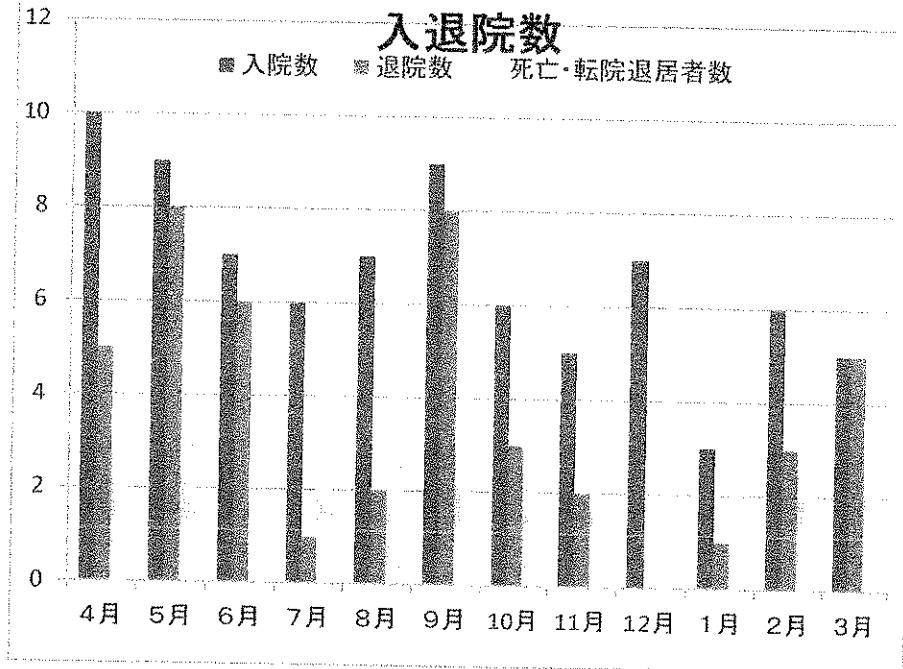
オンコール件数 114件



オンコール件数内訳	件数
転倒	38
薬関係	23
熱発	20
嘔吐	8
バルーン抜去	4
その他	21
合計	114

	入院数	退院数	死亡・転院退居
4月	10	5	3
5月	9	8	3
6月	7	6	1
7月	6	1	5
8月	7	2	6
9月	9	8	4
10月	6	3	3
11月	5	2	2
12月	7	0	6
1月	3	1	2
2月	6	3	3
3月	5	5	3
合計	80	44	41

医療処置対象者	
胃瘻	2
尿バルーン	1
在宅酸素	0
インスリン	2
人工肛門	2



### 医療状況 前年度・今年度の比

	令和3年度	令和4年度
受診	505	529
オンコール	113	114
入院	76	80
退院	48	44
退居	33	41
心肺停止	3	3
診療情報提供書	134	130
歯科往診件数	170	253

### <総括>

#### 1. 受診件数について

昨年度の受診総数より24件の増加を認め、受診科では例年通り内科が圧倒的に多くありました。

昨年に続きコロナウイルス感染症の影響から発熱の際など積極的に受診で対応した事も増加の原因と考えられます。又、受診科での件数を比較してみると整形外科の受診が昨年度より25件の増加がありました。転倒による骨折での定期受診も増加の原因と考えます。更に認知症によりコントロールでの心療内科への受診も7件の増加を認めました。

#### 2. 救急搬送について

昨年度より1件増加でした。内訳は昨年同様で発熱や酸素飽和度の低下による要請で今回は脳梗塞や一過性の意識消失等での救急要請が昨年度より6件の増加を認めました。搬送先としては前半は他市への搬送もありましたが後半には病院も安定してきたのか近隣での受け入れがスムーズだったようを感じました。又、最近では特養だけでなくショートステイご利用者様のロング利用が増え利用中の搬送が4件ありました。早期対応により病院へ繋げることは出来ていたと思われます。

### 3. オンコールについて

昨年度に比べ1件増加でした。内容的には昨年度と同様で転倒、発熱によるもので殆んど変わりありませんでした。受診件数でも報告の通り心療内科の頓服薬服用確認の内容もあり昨年度より15件多くありました。

他、嘔吐やバルン自己抜去等の内容もありました。オンコール体制でも22時以降の内容も含め人居主任から医務側への情報共有が出来て対応もスムーズに出来ていると思われます。

### 4. 入退院数・ご退居について

昨年度に比べ入院は4件、退院は4件の減少で退居(転院・死亡を含む)は5件の増加となりました。

昨年中はコロナ感染もあり2名の方が直接の原因でなくとも入院後にご逝去の事もありました。

更に、ご家族様の諸事情により他施設への移動等も2件ありました。

以前と比較すると高齢が原因ばかりでなく、既往の疾患の悪化により入居しても数か月で入院になったり、その為に医療ニーズが高くなり退居となるケースが多くありました。

### 5. 感染症発生について

この数年はコロナウイルス感染症などの感染対策として手洗い、マスクの着用と基本的なところでの対応や日々の健康観察にはご入居者様、職員共に十分気を付けていたにも関わらず8月・12月は特養、翌1月にはショートステイからの感染がありました。原因は職員からの持ち込みと思われました。

一人の感染者からの感染力を思い知られ、長くて1カ月程の隔離対応、そこに対応する介護職員を始め其々の部署の協力もあり乗り越えることができたと思います。コロナウイルスだけでなく様々な感染症の発生が防げるよう今後も対応して行けたらと考えます。

### 6. 人員などその他

昨年、デイサービスで欠員があり、昨年6月に入職者がありましたが諸事情により8カ月で退職。その後は他施設からの応援を頼きながら対応しています。又、5月より入職者がある予定で少しでも長く勤務頂けるように周囲と協力して行きたいと思います。

何よりもコロナ禍、そして発症者があつても対応にあたった看護職が発症することなく勤務できたことはとても有難い事だと感じています。其々の部署と協力してご入居者様、ご利用者様に安心・安全な医療が提供できるように努めて行きたいと思います。

## 感染対策委員会 総括

- (1) 感染対策委員会として年4回(2月・5月・8月・11月)実施しています。令和4年度はコロナ感染に伴い会議 자체の開催が難しい事もありました。しかし、多くある感染症の中でコロナウイルス感染症については周囲の情報を気にしながら、高齢者施設で日々、感染が広がりやすい状況にある事を認識し、感染被害をいかに最小限で食い止めることが出来るかを念頭に対応してきました。その一つとして感染症の「感染源を持ちこまない」「持ち込ませない」「広げない」を基本とし感染防止に努めました。
- (2) 施設内での職員への感染対策の取り組みとして「手洗い」「マスクの着用」は元より定期的な換気と職員同士、ご入居者様同士の関わり方で「3密」にならないよう心がけるよう声掛けを行いました。更に職員の感染予防に対する意識の向上と再確認目的で「標準予防策アンケート」の実施や年2回「手洗いチェック」を使用し手洗いの再確認を行いました。他4施設対象での「感染症に負けないカラダつくりについての意識調査」を行う事で職員がどのように感じているか等を知ることが出来て良かったと思います。
- (3) 新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種状況については体調面による接種不可を除いてはご入居者様、職員へ声掛けし接種して頂きました。インフルエンザの感染はありませんでしたが、8月、12月に特養よりコロナ感染者があり又翌1月にはショートステイよりコロナ感染者がありました。8月には2ユニットの感染者だけで2週間ほどの感染隔離対応で落ち着きましたが12月にはフロア全体からの感染者があり1カ月ほどの隔離対応でした。中でも感染者には軽症で認知症もあり居室対応が難しく徘徊をされる方も多くいた為、感染拡大に至ったとも思われます。職員の感染も8名程ありました。感染対応にあたってはゾーニングから居室対応に必要なゴミ箱、ポータブルトイレの設置、食事の提供の仕方、エプロンやマスクの補充など色々の部署が協力して対応できたのはとてもよかったです。今回ショートステイではご家族様の環境的な問題から退所が難しく在宅医だけでなく嘱託医の協力もあり内服薬の処方から発生届など処理する事が出来ました。今後も引き続き感染症についてはそれぞれが周囲の状況に关心を持ち感染対策が行えるように声掛けして行きたいと思います。
- (4) 病欠表の提出により職員だけでなく職員家族の体調不良からも感染症に対する施設内への持ち込みを防ぐきっかけになったり、早期の対応に繋げられたと感じます。又家族内での体調不良だけでなく周囲の感染情報の報告もあり職員の感染症に対する意識付けが出来ているのも感じました。感染症対応については不明な点があれば日々の業務の中で早期に情報共有が出来、適切な対応が出来るように今後も務めていきたいと思います。

## 事故報告及び出来事報告(R4年4月～R5年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診		1	1		1		1	1				1	6
	経過観察												0	
打撲・捻挫・脱臼	受診					1							1	2
	経過観察	4		2		1				2	4	1	6	20
切傷・擦過傷	受診	1		1							1			3
	経過観察	2			1	2			1			2		8
異食・誤嚥	受診												0	
	経過観察												0	
やけど	受診												0	
	経過観察												0	
その他の外傷	受診												0	
	経過観察												0	
食中毒	受診												0	
	経過観察												0	
感染症・結核の伝染	受診												0	
	経過観察												0	
マタニティ・法育違反、不祥事	受診												0	
	経過観察												0	
誤薬・眼薬忘れ	受診												0	
	経過観察	1	1		1		1	2		1	1	3	1	12
その他(外傷なし)	受診		1				1							2
	経過観察	1	4	3	1	1	1	3	2	5	1	3	2	27
発生後、受診総数		1	2	2	0	2	1	1	1	0	1	0	2	13
発生後、経過観察総数		8	5	5	3	4	2	5	3	8	6	9	9	67
計		9	7	7	3	6	3	6	4	8	7	9	11	80

### 総括

昨年度に多くあった服薬に関する事故は研修も重ね、ダブルチェックも引き続き行うこと、大幅に減少致しました。しかしながら、昨年度に続き骨折に繋がる事故が数件発生してしまい、中には脳疾患による転倒で骨折された方もいましたが防ぐことができませんでした。事故が発生した時には多職種合同で事故カンファレンスや事故予防策、再発防止策の評価を行なっています。事故防止委員会を中心に全職員対象で介護統一や介助方法の研修、指導を行う必要があります。事故防止委員会を中心として研修を行った事もあり事故件数そのものも大幅に減る結果となりましたので引き続き、委員会を中心に研修を重ね安全に過ごして頂けるように努めています。

## 身体拘束防止委員会 総括

令和4年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベッド欄による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミトンによる拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柵の固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抑制ベルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つなぎ服着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 総括

昨年度と同様、委員会が中心となって役割を果たすことができ、身体拘束を全く行わないケアを実現できています。

委員会中心に定期的な研修を考え実施してきました。ご入居者様らしさの追及と、都度の改善を実施することができました。

今年度も柵のアセスメントや言葉による拘束「スピーチロック」を撲滅すべく、言葉遣いや呼び名に関するアンケートを実施し、どうあるべきかを各職員自身が熟考して気づきが得られる仕掛けを施しました。その結果、日々の業務の中でスタッフ同士がお互いに注意しあいやすい環境になり、言葉遣いの更なる適正化と質向上が顕著に見られました。

やわらぎの里 西多田

＜令和4年度＞

(自)令和4年4月1日～(至)令和5年3月31日



# やわらぎの里 西多田

## 介護老人福祉施設運営事業(特別養護老人ホーム)

### 1 ご入居者様のその方らしい生活の継続

- (1) 令和4年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を受けながらの一年となり、ご入居者様、ご家族様におきましては様々な面での制限された生活となっていました。その中でも施設で提供できることは何か?を常に考え感染対策に留意したレクリエーション、少しでも刺激のある生活の提供に取り組んでまいりました。昨年度より取り組んでまいりました法人としての看取りケアにおいては西多田で最期の時をお過ごしいただいた方も数名おられ、ご家族様から感謝のお言葉もいただきました。施設での看取りを希望されるご家族様からの声もありますので、そのご希望に柔軟に添えるように各部署連携していきます。看取り対応を経験したスタッフも一定数増えてまいりましたので経験から学ばせていただいた上で改善点や良かった点を共有し次の方に活かせるように看取り委員会を中心にスタッフ一丸となって取り組んで参ります。
- (2) 今年度も外出の自粛、ご家族様の面会の制限、ボランティアの受け入れ停止、施設全体での行事の中止等、ご入居者様には様々な制限を受けながらの生活となっていました。その中でもブロック長、ユニットリーダーを中心に「今できること」を考え、活気や笑顔を引き出せるようレクリエーションを計画し実行してまいりました。食レクを中心に特養主任による定期的なカフェは楽しみにしておられるご入居者様も多く好評でした。出前寿司の提供は普段、食事摂取量の少ない方の食欲や活気を引き出すこととなり改めて「食」の大切さを感じることとなりました。ご家族様には面会制限の最中においても閉ざされた施設生活にならないようにとブログの更新、西多田メール、電話連絡を小まめに行うことで安心していただけるように努めました。来年度は面会の緩和も予測されますので、その際には施設に任せていてよかったですと感じていただけるように今後も努力して参ります。

### 2 組織力の強化

今年度は目標としていた、各ブロックにそれぞれブロック長を配置し、2ユニットを統括できる体制創りのためフロア移動も含めた組織改定を行いました。各ブロック長においては配属した当初は戸惑いもあったと思いますがそれぞれの能力を発揮すべく、各スタッフと相談しながら業務を遂行してくれました。成果としては、コロナのクラスター感染が発生した際、ブロック長が中心となりリーダーシップをとってくれたことにより、管理者の指示を円滑に現場に落とし込むことができたことでスムーズな終息に繋げることも出来ました。来年度はブロック長によつても個々の能力や業務量の差がありますので全体的な介護力の底上げができるように外部研修等を取り入れながら内部研修も担える人材育成にも取り組んでまいります。

### 3 身体拘束廃止と虐待防止及び法令遵守

昨年度に引き続き身体拘束ゼロの実現に向けて取り組みを進めていますが、現状は身体拘束3要件(切迫性、非代替性、一時性)を満たすと判断された数名のご入居者様についてはご本人様、ご家族様の同意のもと必要最低限の範囲で実施している状況です。身体拘束という行為がご入居者様のQOL(生活の質)を著しく損ない、精神的及び身体的機能を低下させるため容易に実施してはならないという共通認識を施設全体として有していますが、未だ解除が実現していません。来年度も定期的なカンファレンスを実施し観察と見守り等の工夫を進めながら、身体拘束ゼロを実現するための取り組みを継続します。

法人として接遇委員会も設立し毎月の目標を掲げる取り組みも行いました。

ご入居者様への接遇や言葉遣い等にスタッフ全員が丁寧に接する事は当たり前の事ではありますが職位関係なくお互いが注意し合える環境作りにも重視して参ります。

#### 4 安定経営の継続

令和4年度のご退居は38名。平均稼働率は94.77%、平均生活率は90.22%でした。例年に比べご退去された方が非常に多く前年度より稼働率、生活率ともに大きく下回る結果となってしまいました。急なご退去や予測されるご退去に対してもスムーズにご入居に繋げていけるよう待機者確保に常に努めていきます。その為にも居宅のCM、近隣の病院、老健との密な情報共有を行います。

食欲不振や誤嚥性肺炎等の理由による入院からのご退去も多くみられたため、食事摂取時のポジショニング、口腔ケア等、日頃の予防を重視し多職種が連携しながら健康管理を行っていきます。

#### 5 地域の中の施設の役割

令和4年度におきましても新型コロナウイルスによる感染対策により地域での活動「ボランティアの受け入れ、施設全体の行事への参加」は全面的に中止となっていました。

ご入居者様にとって施設をご入居されましても地域の方々との交流や繋がりが活気向上や認知症の進行予防に対しても重要な要素となりえるため、新型コロナウイルスが5類となることが決定した来年度は感染対策に留意しながらも実現できる活動を模索し地域貢献も担える施設として発信していきます。

# やわらぎの里 西多田 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和5年3月末日現在)

## 年 齢

男性	83.10歳
女性	90.04歳
全体	88.59歳

最高齢者	104歳
最低齢者	65歳

## 介 護 度

1階	2階	3階	全体
3.60	3.43	3.70	3.57

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	2	8	34	37	15	96
比率	2.1%	8.3%	35.4%	38.5%	15.6%	100.0%

## 介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	6	14	12	21	43	96
比率	6.3%	14.6%	12.5%	21.9%	44.8%	100.0%

## 保険者

川西市	68人	70.8%	尼崎市	2人	2.1%
能勢町	1人	1.0%	福知山市	1人	1.0%
猪名川町	3人	3.1%	交野市	1人	1.0%
豊能町	0人	0.0%	箕面市	0人	0.0%
伊丹市	0人	0.0%	くすのき	0人	0.0%
宝塚市	7人	7.3%	明石市	1人	1.0%
池田市	3人	3.1%	大飯市	2人	2.1%
豊中市	1人	1.0%	吹田市	0人	0.0%
赤穂市	1人	1.0%	高槻市	1人	1.0%
加古川市	1人	1.0%	枚方市	0人	0.0%
西宮市	1人	1.0%	三本市	1人	1.0%
八尾市	1人	1.0%	合計	96人	100.0%

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月12日	いちごロールケーキ
実施フロア	特養1階	ロールケーキに生クリームやいちごを飾り、春らしいスイーツを楽しんでいただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	16名
ソフト食の方にはいちごプリンを用意し、みなさまに楽しんでいただけたようにしました。生のいちごを特に喜んでくださいました。		
実施日	令和4年5月15日	コーヒーゼリー
実施フロア	特養1階	コーヒーゼリーにクリームをトッピングし、召し上がっていただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	18名
いつもとは違うおやつを楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年5月24日	喫茶
実施フロア	特養3階CDユニット	喫茶カウンターを使用し、本格的なコーヒーと洋菓子店のケーキを提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	19名
主任が中心となり、お飲み物とケーキを選んでいただき提供しました。ユニットにコーヒーの良い香りが広がり、「喫茶店みたいやね」と喜ばれていました。		
実施日	令和4年6月12日	プリンアラモード
実施フロア	特養3階ABユニット	スタッフ手作りのプリンに生クリームや季節の果物で飾り付けをし、提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	18名
市販品ではなく、スタッフの手作りをとても喜んでくださいました。プリンの味も良く、飾り付けた果物も好評でした。		
実施日	令和4年6月24日	プリンアラモード
実施フロア	特養1階	プリンに生クリームやチョコレートで飾り付けをし、おやつとして提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	19名
食器や盛り付け方を工夫し、いつもとは違うおやつを楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年6月25日	喫茶
実施フロア	特養3階ABユニット	喫茶カウンターを使用し、本格的なコーヒーと洋菓子店のケーキを提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	18名
お好きなお飲み物とケーキを選んでいただき提供しました。カウンターを使用することで、喫茶店の雰囲気を味わっていただけました。		

実施日	令和4年7月24日	喫茶
実施プロア	喫茶カウンターを使用し、本格的なコーヒーと洋菓子店のケーキを提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 17名	
お好みのお飲み物とケーキを選んでいただき提供しました。お飲み物やケーキを楽しそうに選んでおられる姿がみられました。		
実施日	令和4年7月24日	ゼリーいろいろ
実施プロア	スタッフが寒天を使い、フルーツゼリー、羊羹、コーヒーゼリーを作り提供する。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
のどごしの良いデザートで、みなさま全種類を召し上がってくださいました。		
実施日	令和4年7月26日	かき氷
実施プロア	スタッフがかき氷を作るところを見ていただき、お好きなシロップをかけて召し上がってください。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
暑い季節のかき氷は好評で、おかわりされる方もおられました。		
実施日	令和4年8月10日	アイスクリーム
実施プロア	アイスクリームにチョコレート等をトッピングし召し上がってください。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
「冷たいおやつは美味しいね」と好評でした。「暑いから毎日でも食べたいわ」と言われる方もおられました。		
実施日	令和4年8月20日	喫茶
実施プロア	近隣の洋菓子店で購入したロールケーキとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでください。	
特養2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
いつものおやつと比べると大きめのロールケーキでしたが、みなさまべろりと召し上がっておられました。		
実施日	令和4年8月22日	アイスクリーム
実施プロア	アイスクリームにチョコレート等をトッピングし召し上がってください。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
「冷たいおやつは美味しいね」「懐かしいわ」と好評でした。「暑いから毎日でも食べたいわ」と言われる方もおられました。		

実施日	令和4年8月27日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したロールケーキとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養2階CDユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 19名 いつものおやつと比べると大きめのロールケーキでしたが、みなさまべろりと召し上がっておられました。	
実施日	令和4年9月14日	ホットケーキ
実施フロア	スタッフがホットケーキを作り、お好みのトッピングで召し上がっていただく。	
特養3階ABユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 19名 ユニットがホットケーキを焼く香りに包まれ、「おいしそうな匂いやね」と笑顔になっていただきました。生クリーム、果物、メープルシロップと思い思いのトッピングを楽しまれていました。	
実施日	令和4年9月17日～30日	流しそうめん
実施フロア	毎年恒例の流しそうめんをフロアごとに楽しんでいただく。	
特養	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 90名 毎年恒例となっている流しそうめんを楽しんでいただきました。本来は8月に実施予定でしたが、コロナウイルス感染のため、9月に延期となりました。	
実施日	令和4年9月22日	フルーチュ
実施フロア	季節の果物入りのフルーチュをおやつとして提供する。	
特養3階CDユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 18名 市販のフルーチュに季節の果物を入れて楽しんでいただきました。	
実施日	令和4年9月23日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したショートケーキとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養3階ABユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 18名 大ぶりのショートケーキは大好評で、「美味しかったわ」とみなさま喜んでくださいました。	
実施日	令和4年9月25日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したショートケーキとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養3階CDユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 20名 大ぶりのショートケーキは大好評で、「美味しかったわ」とみなさま喜んでくださいました。	

実施日	令和4年10月19日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したショーケースとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	20名
いつものおやつとは違うショーケースとドリップコーヒーを提供しました。主任がコーヒーを入れるとユニットがコーヒーの香りに包まれ、喫茶店の雰囲気を楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年10月21日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したショーケースとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養2階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	18名
いつものおやつとは違うショーケースとドリップコーヒーを提供しました。主任がコーヒーを入れるとユニットがコーヒーの香りに包まれ、喫茶店の雰囲気を楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年10月21日	喫茶
実施フロア	近隣の洋菓子店で購入したショーケースとお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	19名
いつものおやつとは違うショーケースとドリップコーヒーを提供しました。主任がコーヒーを入れるとユニットがコーヒーの香りに包まれ、喫茶店の雰囲気を楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年10月30日	ハロウィンデザート
実施フロア	お取り寄せしたハロウィンデザートを召し上がっていただく。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	38名
ハロウィンのデザインのスイーツを数種類ご用意し、お好みの物を選んでいただきました。みなさま笑顔で召し上がられていきました。		
実施日	令和4年11月21日	フルーツパフェ
実施フロア	プリン、フルーツ、生クリームなどでフルーツパフェを作り提供する。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	20名
スタッフが作っているところを興味深く見ておられました。味については「果物がたくさん入っていておいしい」と好評でした。		
実施日	令和4年11月23日	ご飯のおとも
実施フロア	牛しぐれ煮、アリビ、うに等のご飯のおともをお取り寄せし、お好みのおともを選んでいただき、昼食時に召し上がっていただけ。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	37名
たくさんのご飯のおともの中からお好きなものを選んでいただき、白飯といっしょに提供しました。「いろいろあって迷うわ」と笑顔で選んでおられました。きざみ食の方には、いつもよりランクアップしたソフト食をお取り寄せし、提供しました。		

実施日	令和4年11月28日	ぜんざい
実施フロア	生地に豆腐を練りこみ、食べやすくした団子とスタッフ手作りのみたらしあんを提供する。	
特養3階ABユニット	ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 10名	
豆腐を入れることでなめらかで食べやすい団子が出来上がりました。みたらしあんも美味しいと喜んで下さいました。		
実施日	令和4年12月22日～24日	クリスマス会
実施フロア	各ユニットでクリスマス会を実施する。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 97名		
各ユニットでクリスマス会を開催し、プレゼントをお渡しし、クリスマスのデザートを提供しました。スタッフがサンタクロースやトナカイに扮し、クリスマスの雰囲気を楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和4年12月28日～29日	フラワーアレンジメント
実施フロア	お正月向けの花材を準備し、ご入居者様に活けていただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 53名		
色とりどりのお花を見て「お正月らしいね」と喜んでくださいました。若い頃の華道の経験を活かして、素晴らしい作品が出来上がりました。各々の居室に飾り、良い新年を迎えることができました。		
実施日	令和5年1月1日	お屠蘇
実施フロア	施設長、副施設長、室長がみなさまにお屠蘇の振る舞いを行う。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 96名		
和装の3名がご入居者様のもとに行き、一人ずつお屠蘇を振る舞いました。ほとんどの方がお酒を召し上がり、お正月気分を味わってくださいました。記念撮影も盛り上りました。		
実施日	令和5年1月22日	出前寿司
実施フロア	出前寿司の昼食を楽しんでいただく。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 37名		
音羽寿司で出前寿司を取りよせ、茶わん蒸し、お吸い物といっしょに昼食として提供しました。お寿司のふたを開けた時には笑顔があふれ、撮影した写真をご家族様に送り、大変喜んでいただきました。		
実施日	令和5年1月23日	おしるこ
実施フロア	スタッフ手作りのおしるこを召し上がっていただく。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無 ) 参加人数 19名		
水羊羹を使っておしるこを作り提供しました。「温かいおしるこはおいしいね」とおかわりされる方もおられました。		

実施日	令和5年1月26日	おしるこ
実施フロア	スタッフ手作りのおしるこを召し上がっていただく。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 19名	
こしあんを使っておしるこを作り、白玉だんごも入れました。温かいおやつをとても喜ばれていました。		
実施日	令和5年1月26日	ミックスジュースとおやつ
実施フロア	スタッフ手作りのミックスジュースとおやつを楽しんでいただく。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
いちご、バナナ、桃、ミカンを用意し、お好きな果物を選んでいただきミックスジュースを作りました。おやつにはクッキーと、ソフト食の方にはラムネを用意し召し上がっていただきました。		
実施日	令和5年2月3日	節分豆まき
実施フロア	毎年恒例の節分行事で、季節感を味わっていただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 95名	
職員が扮した赤鬼、青鬼に紅白の玉を投げ、豆まきを楽しんでいただきました。普段はあまりお話しされない方も大きな声を出して玉を投げる姿もありました。		
実施日	令和5年2月26日	ボテオム
実施フロア	スタッフ手作りのボテオムをおやつとして提供する。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 17名	
ボテトチップス、牛乳、卵を使って、柔らかく食べやすいボテオムを作りました。いつもとは違う塩味のおやつをとても喜んでくださいました。		
実施日	令和5年2月26日	出前寿司
実施フロア	出前寿司の昼食を楽しんでいただく。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 18名	
音羽寿司で出前寿司を取りよせ、茶わん蒸し、お吸い物といっしょに昼食として提供しました。お寿司のふたを開けた時には笑顔があふれ、撮影した写真をご家族様に送り、大変喜んでいただきました。		
実施日	令和5年3月10日、22日、30日	お茶会
実施フロア	和菓子(練り切り)とお抹茶でお茶会の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 95名	
練り切りに黒文字を添え、抹茶碗でお抹茶をお出ししました。普段と違ったおやつ、雰囲気を楽しんでいました。		

## 入居計画委員会 総括 資料

### ①入居待機者数(令和5年3月31日現在)

計 161名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
13	21	58	43	26

### ②月別入退居者数

3年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	2	2	0	99.53%
		2		
5月	0	0	1	99.81%
		1		
6月	1	0	2	98.90%
		2		
7月	1	0	1	98.35%
		1		
8月	1	0	0	98.87%
		0		
9月	1	1	0	99.70%
		1		
10月	2	2	1	98.81%
		3		
11月	2	0	0	98.90%
		0		
12月	1	1	0	99.77%
		1		
1月	2	3	2	98.65%
		5		
2月	1	1	4	94.75%
		5		
3月	7	2	1	95.13%
		3		
計	21	22		
年平均	1.75	1.83		98.43%

4年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	2	2	2	97.37%
		4		
5月	3	3	2	92.94%
		5		
6月	2	1	3	91.73%
		4		
7月	8	2	0	94.32%
		2		
8月	3	0	0	98.87%
		0		
9月	0	3	2	96.10%
		5		
10月	4	5	1	94.06%
		6		
11月	4	0	2	93.77%
		2		
12月	3	1	1	95.16%
		2		
1月	2	1	1	96.06%
		2		
2月	3	1	2	96.50%
		3		
3月	3	2	1	95.71%
		3		
計	37	38		
年平均	3.08	3.16		95.22%

## 短期入所生活介護施設運営事業(ショートステイ)

### 1 感染対策の徹底

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策を徹底した一年になりました。送迎時やご利用中の検温、マスク着用、密の回避、手指消毒、アクリルボードの設置などを行い、こまめな情報発信や連絡を実施することで、ご家族様やケアマネジャー様からの信頼も獲得することができました。その中にあっても、ご利用者様に笑顔になっていただけるようなレクリエーションやイベントを企画、実施したこと、「楽しかった」「また来たい」とのお声もいただくことができました。令和5年5月8日にはコロナウイルス感染症が5類に引き下げられることにより、ご利用者様、ご家族様のご要望にも変化が出ると思われますが、感染対策は継続しつつ安心してご利用いただける事業所を目指します。

### 2 住まいと変わらぬ生活の継続

在宅生活を基盤とするご利用者様にとって、ショートステイでの過ごし方が普段の生活と変わらず継続されることは、一日でも長く住み慣れた我が家で暮らすことにつながります。生活相談員が中心となり事前のアセスメントやケアマネジャーとの連携による情報収集によりその方のニーズを捉え、日々のケアにつなげることでショートステイ利用に対する不安の払拭に努めました。最近では男性のご利用者様が増えてきており、ご家族様も含めた支援が必要なケースも多く、ケアマネジャーとの更なる連携強化の必要性を感じております。来年度もお一人おひとりの個性やリズムに合ったサービスを提供し、集団機能訓練やレクリエーションを通じてお楽しみやできる喜びを感じていただけるよう取り組みます。

### 3 チーム力の強化

今年度は副フロア長、リーダーが中心となり業務やケアの組み立てを行い、それぞれの方に合ったサービスの提供に努めました。スタッフ間の情報共有を確実なものにするための手段を検討し実行したことで、ショートステイ利用に不安を感じておられるご利用者様、ご家族様からも「安心して任せられる」事業所として認めさせていただいております。来年度はスタッフ個々の力を更に伸ばしチーム力を更に強化することで、今年度以上に地域の中の信頼される事業所として認められるよう努めます。

### 4 安定した経営の維持、継続

今年度の年間平均稼働率は昨年度と比較し約5%上昇する結果となりました。何とか目標は達成できましたが来年度は更に上昇させるべく、空室情報の発信や緊急利用、定期利用、長期利用などの積極的な受け入れを行い、ご利用者様、ご家族様、ケアマネジャーとの信頼関係をより強固なものとしながら、ニーズに合わせた柔軟かつスピーディーな対応を行います。目標稼働率を達成することで、安定した経営の維持、継続を目指します。

○ショートステイご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月21日	たこ焼き
実施フロア	スタッフ手作りのたこ焼きをおやつとして提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 17名	
スタッフが焼いていると手伝ってくださるご利用者様もおられました。熱々のたこ焼きを食べながら、笑顔で交流されている場面が見られました。		
実施日	令和4年5月19日	焼きそば
実施フロア	昼食の一品として、スタッフ手作りの焼きそばを召し上がっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 17名	
昼食の一品として焼きそばを提供しました。「おいしい」と好評でおかわりされる方もおられました。		
実施日	令和4年6月15日	デザートプレート
実施フロア	ケーキを飾りつけし、デザートプレートにして提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 20名	
ケーキ、いちご、アイスクリーム、ホイップクリームでデザートプレートを作り、お飲み物と一緒に召し上がっていただきました。「きれいで食べるのもったいないわ」と喜んでくださいました。		
実施日	令和4年7月28日	出前寿司
実施フロア	音羽寿司の出前寿司を召し上がっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 16名	
あらかじめ選んでいただいた出前寿司を昼食としてお出ししました。いつもは食事量の少ない方も、べろりと召し上がっておられました。		
実施日	令和4年8月10日	盆踊り大会
実施フロア	スタッフが浴衣姿になり、ご利用者様と一緒に盆踊りで夏のイベントを楽しむ。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 13名	
スタッフの浴衣姿を見て、「夏らしいね」と喜んでくださいました。盆踊りにはみなさま積極的に参加され、大いに盛り上がりました。最後にはかき氷を召し上がっていただき、スタッフ手作りのうちわは記念品としてお渡しました。		
実施日	令和4年9月22日	流しそうめん
実施フロア	毎年恒例の流しそうめんを楽しんでいただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 15名	
毎年恒例となっている流しそうめんで、みなさまお箸を使って上手にすくってくださいました。すくったそうめんは昼食の一品として召し上がっていただきました。8月開催予定でしたが、コロナ感染のため9月に実施となりました。		

実施日	令和4年10月19日	糖質カットケーキ
実施プロア	ショートステイ	糖質カットケーキを用意し、おやつとして提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	17名
洋菓子店で糖質カットケーキを購入し、みなさまに召し上がっていただきました。ボリュームがありましたが、「おいしい」と好評でした。		
実施日	令和4年11月17日	炊き込みご飯とお味噌汁
実施プロア	ショートステイ	昼食時に炊き込みご飯を作り、フリーズドライのお味噌汁と一緒に提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	14名
フリーズドライのお味噌汁は数種類用意し、お好みのものを選んでいただきました。炊き込みご飯、お味噌汁とも「おいしい」と喜んでいただけました。		
実施日	令和5年1月1日	お屠蘇
実施プロア	ショートステイ	施設長、副施設長、室長がみなさまにお屠蘇の振る舞いを行う。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	15名
和装の3名がご入居者様のもとに行き、一人ずつお屠蘇を振る舞いました。ほとんどの方がお酒を召し上がり、お正月気分を味わってくださいました。記念撮影も盛り上がりいました。		
実施日	令和5年1月23日	じゃんけん大会
実施プロア	ショートステイ	スタッフを含めた全員でじゃんけん大会を行い、勝った方からお好きな入浴剤を選んでいただく。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	17名
じゃんけんという簡単なゲームでしたが、とても盛り上がり、楽しんでいただくことができました。プレゼントした入浴剤をご利用中に使用される方もおられました。		
実施日	令和5年2月16日	おしるこ
実施プロア	ショートステイ	あんこと白玉を使ってスタッフがおしるこを作り、おやつとして提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	20名
御座候のあんこを使っておしるこを作りました。白玉を入れてお出しすると「温かくておいしい」と喜ばれていました。		
実施日	令和5年3月14日	ハンドベルと喫茶
実施プロア	ショートステイ	クリスマス会で予定していたスタッフによるハンドベルを披露し、おやつにはケーキを提供する。
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	18名
コロナ感染で中止になつたクリスマス会をこの日に開催しました。ハンドベルの演奏ではご利用者様が一緒に歌ってくださいました。		

## 通所介護運営事業(デイサービス)

### 1 感染対策の徹底

昨年度も引き続き感染対策を徹底しご利用者様、ご家族様に安心して利用していただけるよう努めました。送迎時やご利用中の検温、マスク着用、密の回避、手指消毒、アクリルボード設置など、ご利用者様にご負担をかけることとなりましたが、「安心して利用できる」とのお声もいただくことができました。令和4年8月にはご利用者様、スタッフのコロナウイルス感染がありましたが、感染対策に留意しながら営業は継続し、必要な方に必要なサービスを提供することができました。令和5年5月8日にはコロナウイルス感染症が5類に引き下げられることにより、ご利用者様、ご家族様のご要望にも変化が出ると思われますが、感染対策は継続しつつ安心してご利用いただける事業所を目指します。

### 2 在宅生活の継続を目指して

一日でも長く住み慣れた我が家で暮らしたいというご利用者様の思いを実現するため、施設内の各職種だけでなく他事業所とも連携し、それぞれの方に合ったサービスの提供に努めました。認知症の方、医療的ケアが必要な方、ご家族様やケアマネジャー様と連携し生活面でのプラスアルファの支援が必要な方などニーズが多様化しています。チームケアに関わるすべてのメンバーとの情報共有を密にしながらケアプランに基づいた通所介護計画書を作成し、変わらぬ暮らしを継続できるよう支援していきます。

### 3 活気ある生活のための機能訓練

昨年度に引き続き、様々な疾患をお持ちのご利用者様の身体状況やニーズを把握した上で個別機能訓練計画書を作成し、活き活きとした在宅生活が継続できるようなメニューの提案に努めました。定期的な居宅訪問を行うことでそれぞれのご利用者様が在宅生活において必要な訓練内容を見極め、より効果的なメニューの選定を行い、できることが増える喜びを体感していただけるように取り組みました。体験に来られた方からの「レッドコードや歩行浴がよかつた」という声を活かし、西多田の強みである「機能訓練」をアピールして行きます。来年度もご利用者様が生きがいを感じながら、健康な「からだ」「こころ」が持てるようにサポートしていきます。

### 4 安定した経営の維持、継続

今年度の平均稼働率は昨年度と比較し約3%上昇しましたが、未だ目標は達成されていません。来年度もご利用者様、ご家族様、ケアマネジャー様との信頼関係をより強固なものにすることを目標とし、それぞれの方のニーズに合わせて柔軟かつスピーディーな対応を継続することで更なる稼働率の上昇を目指します。そのためにはチーム力の強化は必須であり、リーダーや生活相談員を中心として専門職としての知識・技術を向上させケアの質を高めることでご利用者様、ご家族様とより強い信頼関係が構築できるよう努めます。

○デイサービスご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和4年4月12日	たこせんべい
実施プロア	たこ焼きをえびせんべいにのせ、夜店風のおやつを提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	28名
お祭りの夜店で売られているおやつと説明し提供しました。たこ焼きのアレンジに「珍しいおやつやね」と喜んでいただけました。		
実施日	令和4年5月11日、12日	コーヒーゼリー・パフェ
実施プロア	コーヒーゼリー、バームクーヘン、ビスケット、アイスクリーム等でパフェを作り召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	56名
スタッフが盛り付けていると「おいしそうやれ」と興味津々で見ておられました。ボリュームのあるパフェでしたが、みなさま完食されていました。		
実施日	令和4年6月17日	スターダストチョコケーキ
実施プロア	洋菓子店で購入したスターダストチョコケーキをおやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	24名
いつもとは違うおやつを喜んでいただけました。「またちがうケーキ、食べさせてね」と好評でした。		
実施日	令和4年7月16日	フライドポテト
実施プロア	冷凍ポテトを揚げて、ふりふりパウダーをかけ召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	28名
いつもの甘味ではなく塩味のおやつをとても喜んでくださいました。「珍しいおやつやね」「塩味がきておいしいわ」との声が聞かれました。		
実施日	令和4年9月12日	たまごせんべい
実施プロア	えびせんに目玉焼きをのせたたまごせんべいを作り、おやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	25名
屋台メニューのたまごせんべいをスタッフが手作りし召し上がっていただきました。「初めて食べたけどおいしいわ」と喜んでいただけました。		
実施日	令和4年10月18日	秋祭り
実施プロア	数種類のゲームを準備し、ご利用者様に順番に楽しんでいただき、秋祭りの雰囲気を味わっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数	25名
輪投げ、魚釣り、ストラックアウト、駄菓子バイキングを準備し順番にまわっていただきました。最後はおやつのたこ焼きを召し上がり、全員で炭坑節を踊って盛り上がりました。		

実施日	令和4年11月25日	出前弁当
実施フロア	昼食に会席のふる川で頼んだ仕出し弁当を召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 24名	
事前にメニューの中から選ばれていたお好みの弁当を召し上がっていただきました。ボリュームのある弁当でしたが、みなさま完食されていました。		
実施日	令和4年12月13日、14日	ピザ作り
実施フロア	ピザ釜を利用しマルゲリータ、デザートピザを作り、おやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 51名	
いつもの円型ではなく星形のピザ生地を使用し、マルゲリータとデザートピザを提供しました。生地が柔らかく形も食べやすかったので、いつもにもまして好評でした。		
実施日	令和4年12月22日	クリスマス会
実施フロア	スタッフの出し物や歌合戦でクリスマス会を楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 26名	
ハンドベル、ダンス、人間紙ずもう、懐メロ歌合戦、bingo大会で楽しんでいただき、クリスマスケーキを提供しました。出し物は盛り上がり「楽しかったわ」との声が聞かれました。		
実施日	令和5年1月4日、5日	新年の甘酒の振る舞い
実施フロア	毎年恒例の甘酒を、新年に振る舞う。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 55名	
新年のお屠蘇の代わりとして甘酒を振る舞いました。毎年恒例の行事で「今年も美味しいただけたわ」と喜ばれていました。		
実施日	令和5年2月3日	節分豆まき
実施フロア	毎年恒例の節分行事で、季節感を味わっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 26名	
職員が扮した赤鬼、青鬼に紅白の玉を投げ、豆まきを楽しんでいただきました。お元気な方は立ち上がり、大きな声を出しながら玉を投げる姿もありました。		
実施日	令和5年2月17日	クレープの移動販売
実施フロア	元スタッフによるキッチンカーでのクレープの販売でお好みのクレープを召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)	参加人数 25名	
事前にメニューの中から選ばれていたお好みのクレープを召し上がっていただきました。元スタッフが来てくれたことで再会を喜ばれるご利用者様もおられました。		

実施日	令和5年3月8日	プライドボテト
実施フロア	冷凍ボテトを揚げて、ふりふりハウダーをかけ召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 27名
以前と同様にいつもの甘味ではなく塩味のおやつをとても喜んでくださいました。「珍しいおやつやね」「塩味がきいておいしいわ」「また作ってね」との声が聞かれました。		

やわらぎの里・西多田 医務室

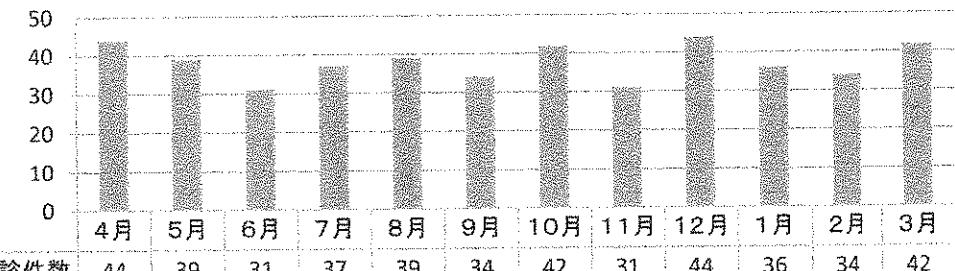
令和4年度 総括

医療状況

月別受診件数

受診件数	
4月	44
5月	39
6月	31
7月	37
8月	39
9月	34
10月	42
11月	31
12月	44
1月	36
2月	34
3月	42
合計	453

受診件数(453件)

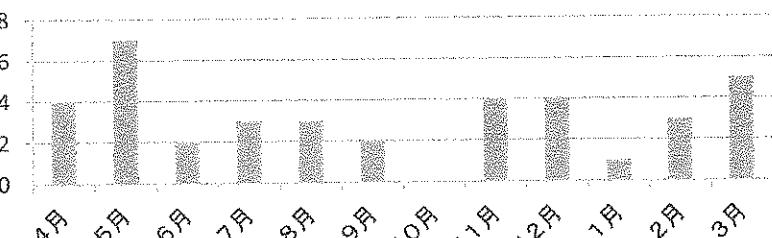


月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃腸交換	その他
4月	3	14	2	9	2	0	3	10	1	0	0
5月	0	13	0	12	2	0	1	7	2	1	1
6月	1	13	1	6	1	0	1	6	1	0	1
7月	0	11	4	5	1	0	2	12	1	1	0
8月	0	13	5	7	1	0	3	8	2	0	0
9月	0	13	3	2	0	0	4	11	0	0	1
10月	0	18	2	3	2	0	6	8	2	0	1
11月	0	6	0	6	2	0	6	6	4	1	0
12月	0	21	5	5	0	0	4	7	1	0	1
1月	2	15	2	4	1	1	5	3	1	1	1
2月	0	13	3	4	0	0	6	4	2	0	2
3月	0	16	5	2	1	0	7	6	2	0	3
合計	6	166	32	65	13	1	48	88	19	4	11

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	4
5月	7
6月	2
7月	3
8月	3
9月	2
10月	0
11月	4
12月	4
1月	1
2月	3
3月	5
合計	38

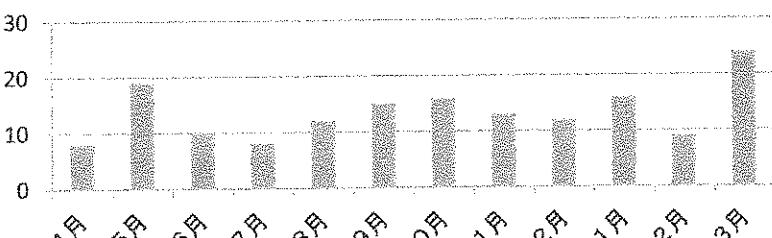
救急搬送件数(38件)



救急搬送内訳	
熱発	5
吐血	0
転倒(骨折・外傷)	4
脳梗塞	1
呼吸・意識不良	22
痙攣	1
心肺停止	3
低血糖	0
嘔吐・下痢	2

オンコール件数	
4月	8
5月	19
6月	10
7月	8
8月	12
9月	15
10月	16
11月	13
12月	12
1月	16
2月	9
3月	24
合計	162

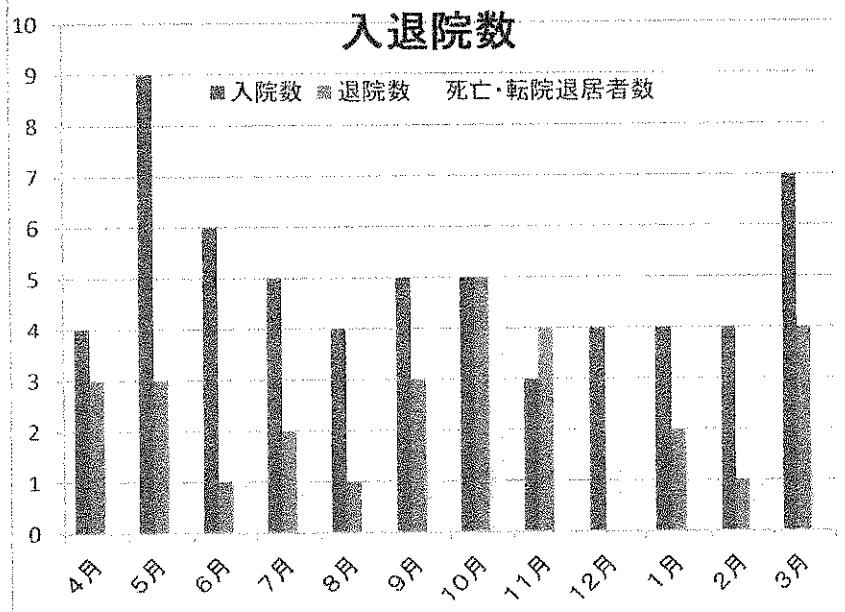
オンコール件数(162件)



オンコール件数内訳	
転倒	44
薬関係	2
熱発	29
その他	87
合計	162

	入院数	退院数	死亡・転院退居
4月	4	3	4
5月	9	3	5
6月	6	1	4
7月	5	2	1
8月	4	1	0
9月	5	3	5
10月	5	5	6
11月	3	4	2
12月	4	0	2
1月	4	2	2
2月	4	1	3
3月	7	4	3
合計	60	29	37

医療処置対象者	
胃瘻	3
尿バルン	1
在宅酸素	0
インスリン	2



#### 医療状況 前年度・今年度の比

	R3年度	R4年度
受診	441	453
オンコール	108	162
入院	54	60
退院	32	29
退居	21	37
心肺停止	1	3
診療情報提供書	91	78
歯科往診件数	665	568

#### <総括>

##### 1. 受診件数について

受診総数は、昨年度と比較して12件減少しています。月平均では、大差はありませんが、5月に泌尿器科受診が増えているのは、バルンカテーテル留置の方が5名に増え定期受診が増えた為と皮膚科受診に関し隔週受診から毎週定期受診となられた方がおり、32件増えています。その他の定期受診に関しては、コロナ禍続きでご家族様が、更に受診を控える傾向が続き施設での処方を希望された結果だと推察します。換気・手指消毒などの感染対策を徹底した取り組みを行っていましたが、発熱件数は、昨年度34件に対し、今年度は、63件と大幅な増加となりました。これは、新型コロナウイルス感染に職員・特養ご入居者様・ショートご利用者様共に数回に渡り罹患してしまった結果が大きな要因と考えます。

##### 2. 救急搬送について

総数では、昨年度より12件の増加となっていますが、酸素濃度・意識レベルの低下による搬送が、昨年度より5件増えているのは、新型コロナウイルス感染による酸素濃度低下が5件あった影響と考えます。昨年、9月より川西市立総合医療センターが開院し、川西市内の病院が2つとなり、病床数も減った事と、新型コロナウイルス感染拡大の影響にて、救急搬送時、受け入れ先が更に遠方になったり病院に到着から入院が決まるまでに数時間かかったケースもあり大変な状況でした。また、残念なことに、コロナ感染した方が入院中にご逝去もありました。今後も、異常な早期発見・早期対応、受診のタイミングなど家族様へのタイムリーな情報提供を一層心がけていきます。

### 3. オンコールについて

昨年度より54件増えています。これは、ユニットよりblock長・フロア長への報告も全て把握するようにした事での増加と、コロナ感染症対策による居室対応中の発熱・転倒件数などの増加・その他では、夜間に吸引の必要な方が 増えた影響と考えます。

### 4. 入退院数・ご逝去について

入院・退院については昨年度より入院が6件増えていますが、退院は、3件減っています。5月に入院件数が9件と増えているのは、特養でコロナクラスターが発生しコロナ陽性者3名、SPO2低下者2名の入院などの影響です。ご退居に関しては、16件増えています。退居37件中、17件がご逝去(内看取り対応2名含む)摂食不良目的の入院に関しては、長期になっており、経口摂取での栄養補給が難しくご退居されるケースが、10件ありましたが、胃ろう造設し帰設されたご入居者様が3名もおられました。看取りでご逝去された2名様は、最期まで発熱・褥瘡発生なく自然な経過でお見送りすることができました。

### 5. 感染症発生について

全国的な新型コロナウイルス感染の広がりを受け、換気・手指消毒・正しいマスク着用・職員の健康チェック・免疫力アップ・コロナワクチンの有効性などを啓蒙した取り組みをしていましたが、残念なことに特養内で新型コロナウイルス感染症を数回発生させてしまいました。施設内での感染症発生は、感染源の持ち込みと思われる為、職員が感染に対する意識を更に向上した行動が定着できるような活動に努めています。

### 6. 人員などその他

人員は、昨年5月に新規採用が1名でき、7月に1名他施設看護師との異動を行いました。異動で来た看護師も慣れてきて戦力になっています。家庭の事情で退職希望があったデイ担当看護師は、10月より半日勤務の時間短縮で留まってくれたり退職者をだすことなく比較的安定した1年でした。  
今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、集合での研修ができない状況が続いておりますが川西歯科センターの口腔衛生の研修に参加、オンライン研修などで新しい知識を共有しました。介護を支えるためのより良い生活支援ができるよう医務の役割達成に今後も努力を積み重ねていきたいと考えています。

## 感染対策委員会 総括

### 1. 事業内容

#### 委員会開催と内容

第1回：令和4年6月22日 新型コロナウイルス感染対策について

西多田施設内のコロナ陽性者の感染状況の経過(5/6～5/23)

コロナワクチン4回目接種について

標準予防策アンケート実施について

新入職者の吸引指導について

第2回：令和4年9月28日 標準予防策アンケート結果について

インフルエンザ予防接種予定

オミクロン対応のコロナワクチン接種について

ESBL(尿)・CDトキシン(便)など保菌者の接触感染予防

ユニット環境管理表について

第3回：令和4年12月28日 冬場の感染症予防対策について

インフルエンザ発生状況

オミクロン対応コロナワクチン接種状況

感染対策の基本について

第4回：令和5年3月22日 感染症予防対策について

新入居時のMRSA検査について

ノロウイルス感染防止学習

インフルエンザ発生状況

新型コロナウイルス対策について

### 2. 総括

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を継続、感染対策発信に合わせ注意喚起を行いました。

5月に3階ご入居者様が発熱で受診し、コロナ陽性の診断を受けました。3階ご入居者様・3階に関わる職員の抗原検査を実施し、3名のご入居者様、3名の職員が陽性にてゾーン

ニングに従って感染対応を実施しましたが、次々感染が拡大し3階全ユニットに拡がってしまいました。ご入居者様21名、職員10名が罹患してしまい在宅酸素使用していたご入居者様1名が入院中にご逝去されました。陽性のご入居者様は全介助の方が多く密着した介護中に職員が3名罹患してしまいコロナの猛威との戦いで日々緊張の連続でした。

感染管理認定看護師の来訪を受け、N95マスク・サージカルマスクの交換について陽性の方の居室を横並びにまとめる等、ご指導いただき改善しました。8月にロングでショートご利用者様のコロナ陽性がわかつショートで介護しましたが、他への感染は防ぐことができました。デイ・ショートご利用者様・職員などの陽性もありましたが、ご利用中の皆様への拡大なく防止できたのは、日々の感染対策行動が定着できていると考えます。11月に1階ご入居者様4名、職員4名のコロナ陽性者がでしたが、拡がりを防止できました。

令和5年1月末から2月にかけ2階フロアでご入居者様19名・職員7名が、コロナ陽性になりました。今回は、外部受診に行かれたご入居者様からの持ち込みと考えられます。結果的には、多数の罹患となりましたが、令和4年5月のコロナ罹患時は、不安いっぱいでしたが、今での教訓を元に冷静な対応がとれていたと感じます。

「感染症に負けないカラダづくり」の調査において、免疫に対する知識は、97%以上の方が知っているという結果でした。免疫に対する意識、行動について、直近1年で71%の方は、関心が強くなっています。コロナウイルスが変異を繰り返す中で一度罹患した方が再度罹患するケースもあり、免疫を高める体づくりの大切さへの意識も強くなっていると考えます。今年度は、コロナの猛威にさらされ大変な一年でしたが、感染対策に対する行動、体調管理の意識づけができました。

家庭内での感染対策・免疫力向上などに関しては、環境が様々にて更なる働きかけが必要と考えています。

冬の感染対策として、ノロウイルス、胃腸炎などについては、発症なく経過できておりキッチン周りの環境整備・手指消毒などが定着していると言えます。

## 事故報告及び出来事報告(R4年4月～R5年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	1		1						1				3
	経過観察													0
打撲・捻挫・脱臼	受診		1							1			1	3
	経過観察	3	8	1	3	2	2	5	5	3	4	5	4	45
切傷・擦過傷	受診		1						1			2		2
	経過観察				1			1					2	6
異食・誤嚥	受診													0
	経過観察		1		1						1			3
やけど	受診													0
	経過観察													0
その他の外傷	受診		1							1			1	3
	経過観察	1			1	2		3	1		2	1		11
食中毒	受診													0
	経過観察													0
感染症・結核の伝播	受診													0
	経過観察													0
医療行為の看護欠陥、手作業	受診													0
	経過観察													0
誤薬・服薬忘れ	受診													0
	経過観察	2	1		2	2	1	3	5	2	2		3	23
その他(外傷なし)	受診													0
	経過観察	3	10	3	2	5	6	12	10	3	8	4	6	72
発生後、受診総数		1	3	1	0	0	0	0	2	1	0	0	2	10
	発生後、経過観察総数	9	20	5	9	11	9	24	21	9	19	10	15	161
計		10	23	6	9	11	9	24	23	10	19	10	17	171

### 次年度に向けて

昨年度事故総件数126件に対して本年度事故総件数は171件と事故総件数としては45件以上の増加となりました。骨折など受診を伴う大きな事故に関しては昨年度の12件に対して10件と2件の微減となっております。事故総件数増加の主たる原因としては、本年度に特養(5月、11月、1～2月)やショートステイ(8月)で発生したコロナウイルスのクラスター感染による隔離対応や介護スタッフの離脱で十分な見守りが行えなかった期間に事故が多発した事が挙げられます。また、毎年度の課題である薬関係の事故も23件発生しており、現在講じている予防策が効果的に機能していない結果となっています。

次年度では、集団感染時の事故予防策の構築とそれらを迅速に実施出来るように手順の明確化を図り、そのような環境下でも事故を増やさない取り組みを進めて参ります。

また、薬関係の事故についても追加の予防策を講じて「誤薬、飲ませ忘れゼロ」に向けて今後も努めて参ります。

## 身体拘束防止委員会 総括

身体拘束という行為は、ご入居者様の人権擁護の観点からも問題があるだけでなく、QOL(生活の質)を著しく損ない、精神的及び身体的機能を低下させてしまう危険性があり、決して容易に実施してはならないという共通認識を施設全体として有しております。しかしながら、ご入居者様の生命又は身体が危険にさらされる場合など、「身体拘束ゼロへの手引き」(厚生労働省 身体拘束ゼロ作戦推進会議)にある「緊急やむを得ない場合」に該当するものについては、本人様もしくはご家族様より同意書を頂き拘束を実施している状況にあります。本年度はコロナウイルスのクラスター感染による隔離対応などにより、やむを得ず一時的に身体拘束を実施する機会もあり、件数が増加傾向となりましたが、必要最低限度の使用に止める様に配慮致しました。

現在でも「身体拘束防止委員会」を中心として安易に身体拘束を行わない取り組みや現在実施中の身体拘束についても解除を実現していく事を常に念頭に置き、拘束という手段を用いない代替案を月単位で開催しているカンファレンスで検討しており、徐々にではありますが、減少傾向に転じて來ております。

今後も引き続き身体拘束ゼロを目標として、施設一丸となり取り組んで参ります。

令和4年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベルトによる拘束	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
ミトンによる拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柵の固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抑制ベルト	4	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
つなぎ服着用	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	1
総合計	6	9	5	7	7	6	5	5	5	5	5	4

